理学療法白書

2016

公益社団法人 日本理学療法士協会

理学療法白書

2016

公益社団法人 日本理学療法士協会

理学療法白書 2016 年版
発刊にあたって

本会は会員数が 10 万人を超える公益団体となりました。理学療法士の専門職団体として、関係団体と協同し国民の福祉や安寧のため責務を果たし、国民からの負託に応えていかなければなりません。

そのためには、時期を失せず、時代を先取りする有益な施策を、積極的に発信・提言する社会的使命を果たすことが期待されています。

そのような状況のもと、理学療法白書も、「時代」、「公益」、「広報」をキーワードに白書の在り方を検討し、内容を刷新いたしました。会員一人ひとりの貴重な経験や叡知を結集させ、質の高い情報を収集、蓄積、分析をして、いつでも活用できるように、データベース機能を大幅に取り入れました。

新しいコンセプトによる理学療法白書に対し、ご指導ご叱責をいただき、引き続きご高覧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

公益社団法人日本理学療法士協会
白書小委員会　委員長
仙波　浩幸

理学療法士を取り巻く現状について



公益社団法人
日本理学療法士協会
会長　半田　一登

現在、厚生労働省関係の諸会議が７つ同時進行しています。理学療法士需給検討会、理学療法士養成カリキュラム検討会等があります。加えて理学療法士及び作業療法士法の改定がようやく動き始めたところです。また、文部科学省でも理学療法士の大学教育をめぐって慌ただしい状況がみられるようになりました。このように理学療法士の周辺は、これまでとは違って非常に目まぐるしい状況となってきました。

1965 年に身分法が制定され、1966 年には第１回国家試験が行われ、そして同年には日本理学療法士協会が誕生しました。その後、1971 年には厚生省から「将来の高齢社会を想定してリハビリテーション医療と介護を強化する必要がある」という談話が出され、これを発端として診療報酬改定ではリハビリテーション料の大胆な引き上げが続けられました。近年では、診療報酬も横ばい状態となり、理学療法士バブル時代は終わりを迎えようとしています。

これからは理学療法士の質が求められることになります。「質を高める」ことは決して容易な事ではありません。臨床実習前教育・臨床実習・卒後研修のそれぞれにおいて、自覚と危機感をもって臨まなければなりません。診療報酬のリハビリテーション料の項目では、リハビリテーション医療は「理学療法・作業療法・言語聴覚療法等の治療法によって構成され」とされています。理学療法は治療なのです。理学療法は治療であれば理学療法士は治療者と言えます。臨床実習前教育では治療者を育てていますか、臨床実習でも治療者を育てていますか、卒後研修では質の高い理学療法士を誕生させていますか、ということが問われているのです。

治療者には高いレベルの知識や技術は当たり前で倫理や誇り等までが求められます。日本理学療法士協会として総力を挙げて、質の高い理学療法士を輩出して、社会の様々な要請に応えようではありませんか。

目　次

理学療法白書 2016 年版発刊にあたって
理学療法士を取り巻く現状について

第 1 部　理学療法士に関するデータ

第 1 節）基本データ

1　国家試験受験者・合格者・合格率の推移…… 8
2　会員数の変遷…… 8
3　会員の年齢分布…… 9
4　会員の施設別分布数…… 9
5　最終学歴……11
6　学位・称号……11
7　認定理学療法士分野別の取得者……12
8　専門理学療法士の分野別の取得者……12

第 2 節）理学療法士の職場環境

1）施設の概況

1　施設の許可病床数別割合……13
2　取得している施設基準の割合（複数回答）……13
3　所属する診療科別割合……14
4　施設の常勤従業員数別割合……14
5　理学療法部門の責任者の性別……15

2）勤務・業務実態

1　現在の就業有無……16
　現在の就業形態……16
2　１週間の勤務時間……17
3　職制上の地位（教育機関以外）……17
　職制上の地位（教育機関）……18
4　患者の治療・指導の時間（１週間平均）……18
5　義肢・装具（ブレースクリニック・チェックアウト・副子作製等）の時間（１週間平均）……19
6　記録・報告書作成の時間（１週間平均）……19
7　カンファレンス（ミニカンファレンス）の時間（１週間平均）……20
8　研究の時間（１週間平均）……20
9　管理・運営のための時間（１週間平均）……21
10　学生教育のための時間（１週間平均）……21
11　OJT の時間（１週間平均）……22
12　残業時間（1 ヶ月平均）……22
13　残業時間に対する手当の支給比率……23
14　理学療法実施場所……23
15　勤務体制（複数回答）……24
16　在宅における理学療法サービスの実施日数（１週間平均）……24
17　事業所内における他職種とのチーム構成割合（複数回答）……25
18　主たる職場における機能別実践割合（複数回答）……25
　ICU、CCU または NICU での理学療法業務実施有無……26
　受持患者のうち、ICU、CCU または NICU で理学療法業務を実施する患者数の割合……26
19　クリニカルパスの使用有無……27
　クリニカルパスを使用している対象疾患（複数回答）……27
20　電子カルテの導入有無……28
21　臨床実習生の受入有無……28
　臨床実習生の担当予定学生数……29
22　臨床実習を中断した学生有無……29
23　介護認定の調査業務を行っているか……30
24　介護認定の認定調査員を行っているか……30
25　理学療法士として医療保険以外で関わる範囲……31
26　在学中の学校有無……31
　在学理由……32
　在学中の学校における専攻領域……32

3）労働背景
1　通勤時間（往復）……33
2　有給休暇の取得日数（1年平均）……33
3　無給休暇の取得日数（1年平均）……34
4　勤務施設内の保育施設の有無……34
5　育児休業の取得可能期間……35
6　主たる職場以外からの給与・報酬の有無……35
7　退職回数……36
退職理由（複数回答）……36
8　同一法人内での転勤（ローテーション）の有無……37
9　性別による昇給・昇格の差……37
性別による仕事の質の差……38
性別による仕事量の差……38

第3節）理学療法士としての職業と生活
1　職業選択のきっかけ（複数回答）……39
2　理学療法士はやりがいのある仕事かどうか……39
3　理学療法士を一生続けたいか……40
4　ストレスの有無……40
5　自分のことをどの程度幸せと感じているか……41
6　仕事と余暇のあり方……41

第4節）理学療法士の教育
1）養成の実態
1　養成校数と入学定員数……42
2　卒業直後の理学療法士の臨床能力をどの程度であると感じるか……42
3　理学療法学生の学力についてどのように感じるか……43
4　理学療法学生の学力の二極化についてどのように感じるか……43
5　理学療法学生の社会人としての態度面についてどのように感じるか……44
6　将来の理学療法士養成校制度のあり方をどのように考えるか……44
2）学術活動への参加
1　学会・研修会参加に対する出張・公休の許可有無……45
2　学会・研修会参加に対する職場からの旅費・参加費等の負担有無……45
3　本会以外の団体への所属有無……46
本会以外に所属する団体（複数回答）……46
4　日本理学療法士協会全国学術研修大会の参加者数……47
5　日本理学療法学術大会の参加者数……47
日本理学療法学術大会の登録演題数、採択数、採択率……48
第51回日本理学療法学術大会の登録演題数、採択数……48

第2部　資　料　編

第1節）理学療法士に関する基礎資料
1）理学療法関連承認施設数……50
2）般病院に従事する理学療法士数の年次推移……51
3）社会福祉施設に従事する理学療法士数の年次推移……51
4）施設別理学療法士の就業比率……52
5）職場構成員による施設数……54
6）職種別、年齢層別平均給与月額……55

第2節）アンケート調査内容（2015年度実施）

この度の「理学療法白書2016年版」は、本会の統計資料および白書小委員会でのアンケート調査結果（2010年実施、2015年実施）をもとに構成している。2015年度の調査概要は以下のとおりである。

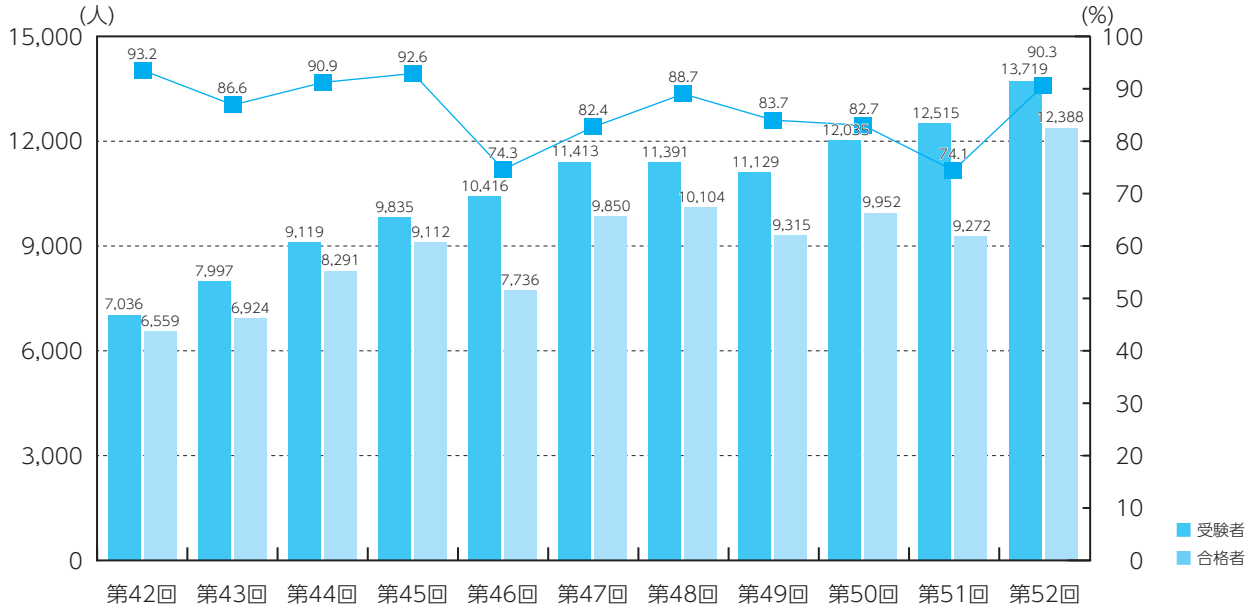
白書小委員会アンケート調査（2015年度）の概要	
1．調査の目的	理学療法士の現状を把握するための基礎資料を得ることを目的とする。
2．調査の対象	本会会員から層別無作為に4万人を抽出し、調査協力依頼をメールにて打診し、調査協力の承諾を得られた8,298人を対象とした。
3．調査内容	アンケートはWEB調査とし無記名で行った。 平成28年3月17日～3月31日までに回答が完了したものを対象とし、回答数5,662、回収率68.2%であった。 アンケートの回収、単純集計は株式会社インテージへ委託し実施した。

第１部
理学療法士に関するデータ

公益社団法人 日本理学療法士協会

第１節　基本データ

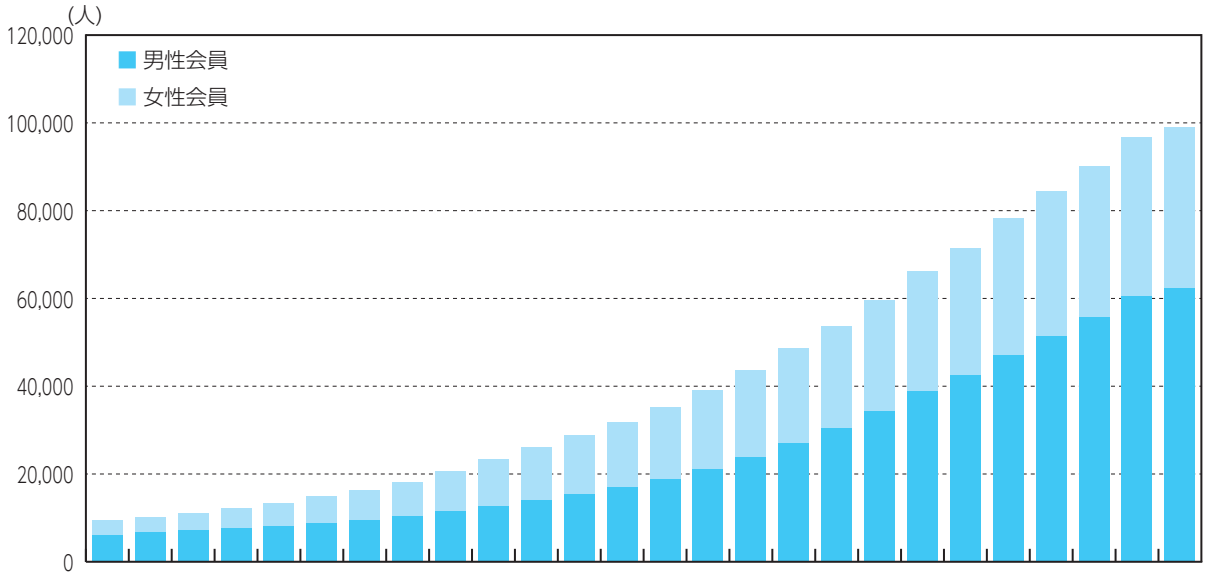
1　国家試験受験者・合格者・合格率の推移



資料：公益社団法人日本理学療法士協会　統計情報

過去においては国家試験の合格率は毎年90%を超えていたが近年80%前後で推移している。また、受験者も堅調に伸び続けているが、過年度受験生の増加もみられる。

2　会員数の変遷

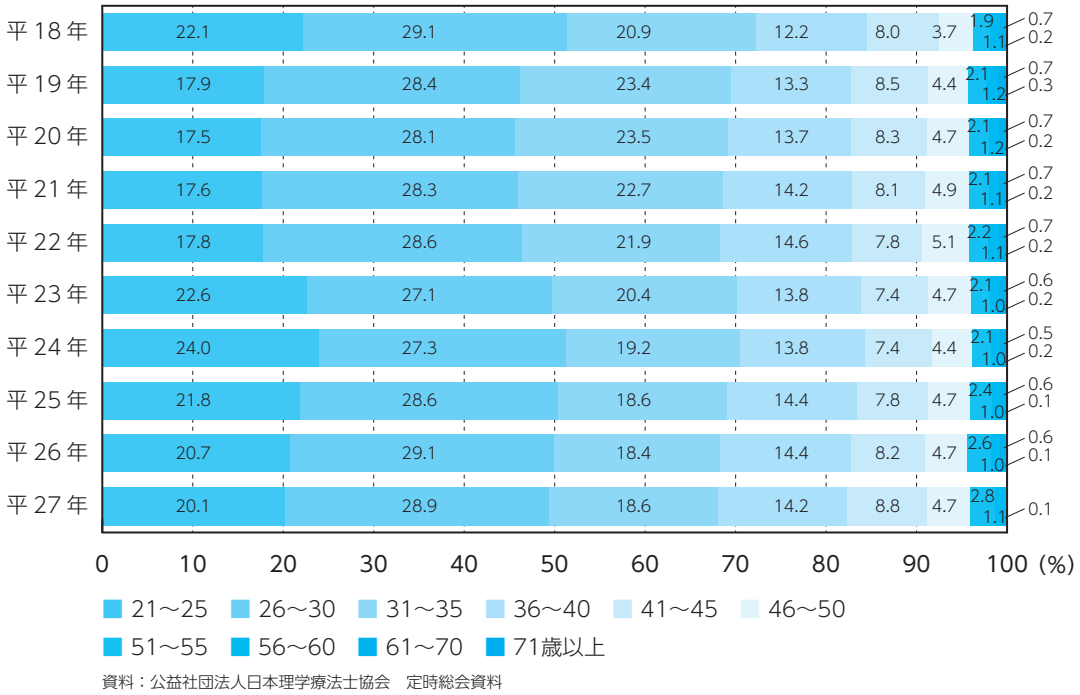


	平3年	平4年	平5年	平6年	平7年	平8年	平9年	平10年	平11年	平12年	平13年	平14年	平15年	平16年	平17年	平18年	平19年	平20年	平21年	平22年	平23年	平24年	平25年	平26年	平27年	平28年
女性会員数	3,238	3,642	4,057	4,533	5,152	5,933	6,825	7,904	9,266	10,625	12,004	13,405	14,855	16,387	18,018	19,805	21,704	23,444	25,371	27,517	29,001	31,385	33,168	34,374	36,124	36,504
男性会員数	6,113	6,608	7,115	7,635	8,191	8,856	9,567	10,335	11,448	12,678	14,026	15,381	16,954	18,785	21,005	23,801	26,886	30,307	34,215	38,739	42,515	47,012	51,302	55,681	60,524	62,386

注：休会者を除く
資料：公益社団法人日本理学療法士協会　定時総会資料

会員数は年々増加傾向にあり、男女比は２：１前後で推移している。

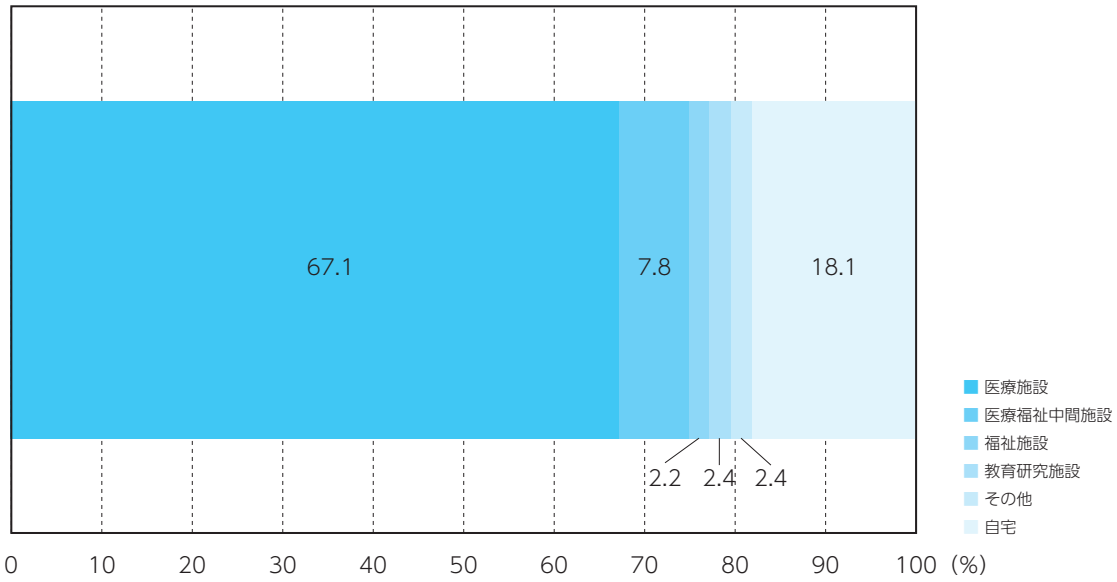
3　会員の年齢分布



資料：公益社団法人日本理学療法士協会　定時総会資料

会員の50%前後が30歳以下の会員となっている。年齢構成割合は近年さほど大きな変化はない。

4　会員の施設別分布数



注：医療福祉中間施設とは、介護老人保健施設・老人訪問看護ステーション・老人デイサービス・老人デイケアを指している
資料：公益社団法人日本理学療法士協会　定時総会資料

医療施設に所属する会員が67.1%と最も多く、続いて医療福祉中間施設が多くなっている。

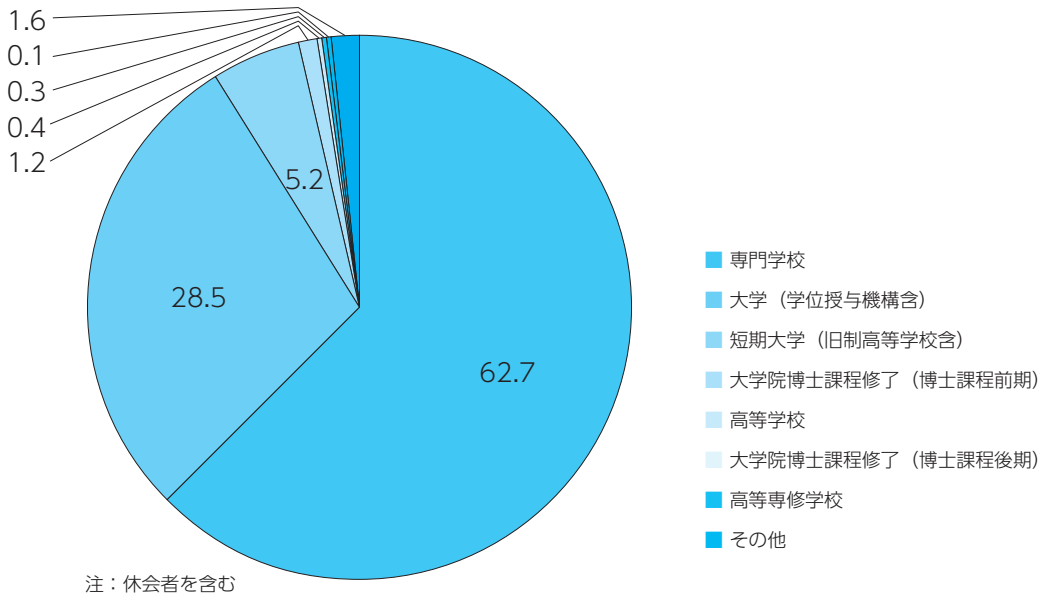
会員の施設別分布数

(平成 28 年 3 月 31 日)

			会員数	施設数
医療施設	病院	大学病院	1,965	165
		総合病院	14,235	1,199
		老人病院	2,490	265
		小児病院	345	56
		一般病院(上記以外) 一般病床	37,897	4,169
		一般病院(上記以外) 療養型病床	1,417	152
		感染症病院	0	0
		精神病院	97	34
		結核病院	0	0
		ハンセン病病院	21	11
		地域支援病院	86	8
		その他	2,324	253
	診療所	有床診療所	6,369	1,982
		無床診療所	1,316	606
		療養型病床群	12	2
		その他	323	132
	不明	その他	42	28
医療福祉中間施設	医療福祉中間施設	介護老人保健施設	5,708	2,431
		老人訪問看護ステーション	1,502	718
		老人デイサービス	304	203
		老人デイケア	77	52
		その他	380	203
老人福祉施設	老人福祉施設	養護老人ホーム	139	112
		特別養護老人ホーム	379	331
		軽費老人ホーム	10	7
		老人デイサービス	542	433
		老人福祉センター	32	15
		老人短期入所施設	12	9
		有料老人ホーム	27	24
		介護付き有料老人ホーム	34	32
		在宅介護支援センター	6	3
		高齢者総合相談センター	1	1
		その他	220	126
介護保険法関連施設	介護保険法関連施設	地域包括支援センター	298	184
身体障害者福祉施設	身体障害者更正養護施設	肢体不自由者更生施設	16	12
		重度身体障害者更生養護施設	0	0
		重度障害者授産施設	6	3
	身体障害者療護施設	身体障害者療護施設	125	98
	重度身体障害者授産施設	重度身体障害者授産施設	11	9
	身体障害者福祉センター	身体障害者福祉センター A型	49	39
		身体障害者福祉センター B型	1	1
		在宅障害者デイ・サービス施設	3	2
	身体障害者更生相談所	身体障害者更生相談所	19	15
児童福祉施設	知的障害児施設	知的障害児施設	2	2
	知的障害児通園施設	知的障害児通園施設	23	16
	肢体不自由児施設	肢体不自由児施設	270	55
		肢体不自由児通園施設	95	34
		肢体不自由児療護施設	0	0
	重症心身障害児施設	重症心身障害児施設	258	75
	情緒障害児短期治療施設	情緒障害児短期治療施設	0	0
	児童相談所 心身障害児総合通園センター	児童相談所 心身障害児総合通園センター	3 20	3 12

			会員数	施設数
精神障害者社会復帰施設	精神障害者生活訓練施設	精神障害者生活訓練施設	1	1
		精神障害者授産施設	0	0
		精神障害者地域生活支援センター	0	0
	精神保健福祉センター	精神保健福祉センター	1	1
	精神障害者社会復帰促進センター	精神障害者社会復帰促進センター	0	0
	精神障害者グループホーム	精神障害者グループホーム	0	0
	精神障害者小規模作業所	精神障害者小規模作業所	0	0
知的障害者福祉施設	知的障害援護施設	知的障害者更生施設	4	4
		知的障害者授産施設	1	1
	知的障害者更生相談所	知的障害者更生相談所	0	0
障害者自立支援施設	指定障害者福祉サービス事業所	生活介護事業所	7	6
		自立訓練(機能訓練)事業所	5	2
		多機能型事業所	5	5
	指定障害者支援事業所	生活介護支援事業所	14	11
		自立訓練(機能訓練)支援事業所	8	5
	指定相談支援事業所	指定相談支援事業所	0	0
	指定地域活動支援センター	指定地域活動支援センター	6	5
教育・研究施設	特別支援学校	肢体不自由児	26	18
		知的障害児	0	0
		その他	30	25
	教育・研究施設	理学療法3年制専門学校教員	604	82
		理学療法4年制専門学校教員	489	71
		理学療法短期大学教員	64	7
		理学療法大学教員	1,043	105
		理学療法以外の大学教員	46	40
		研究施設	115	53
		その他	28	16
行政関係施設	行政	保健所	26	22
		市町村保健センター	50	40
		国	2	2
		都道府県	14	12
		市	69	58
		町	7	5
		村	1	1
		社会福祉協議会	3	3
		身体障害者福祉協議会	0	0
		その他	182	137
健康産業	健康産業	スポーツ関係施設	45	27
		フィットネス施設	21	18
その他	その他	職業センター	13	8
		リハ関連企業	70	46
		一般企業	137	73
		補装具作成施設	0	0
		訪問看護ステーション(老人訪問看護ステーション)	614	370
		介護サービス企業	155	108
		自営・開業	132	101
		自宅(勤務しているが自宅会員登録)	10	8
		休業中(会員だが休業しているもの)	0	0
		その他	415	228
		海外	0	0
不明		不明	17	10
海外	海外	海外	95	95
自宅	自宅	自宅	18,681	18,681
総計			102,767	34,833

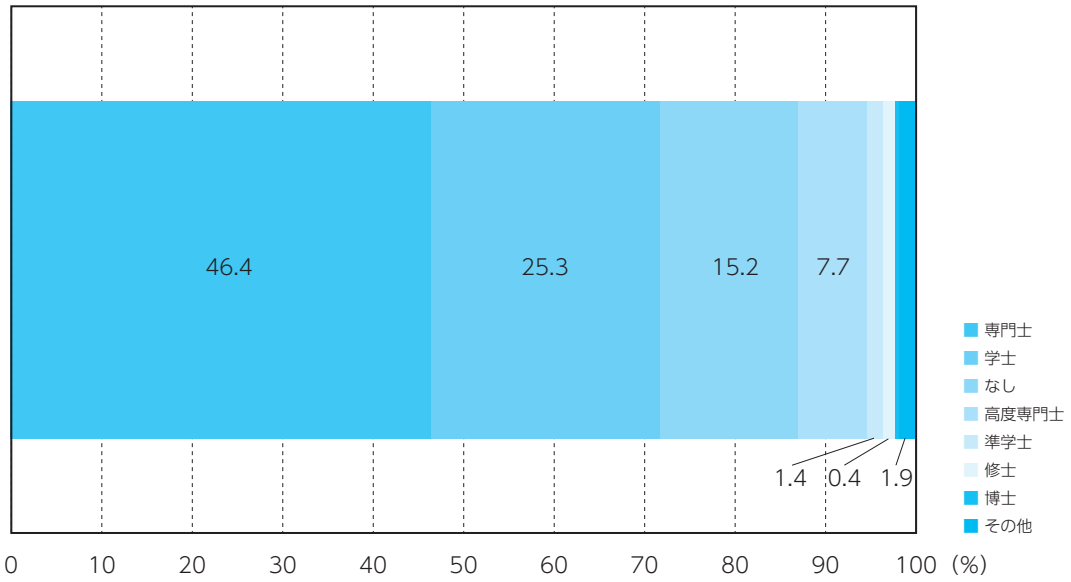
5　最終学歴



注：休会者を含む
資料：公益社団法人日本理学療法士協会　会員管理システムより抽出

専門学校出身が62.7%であり、大学卒業の28.5%が続いている。

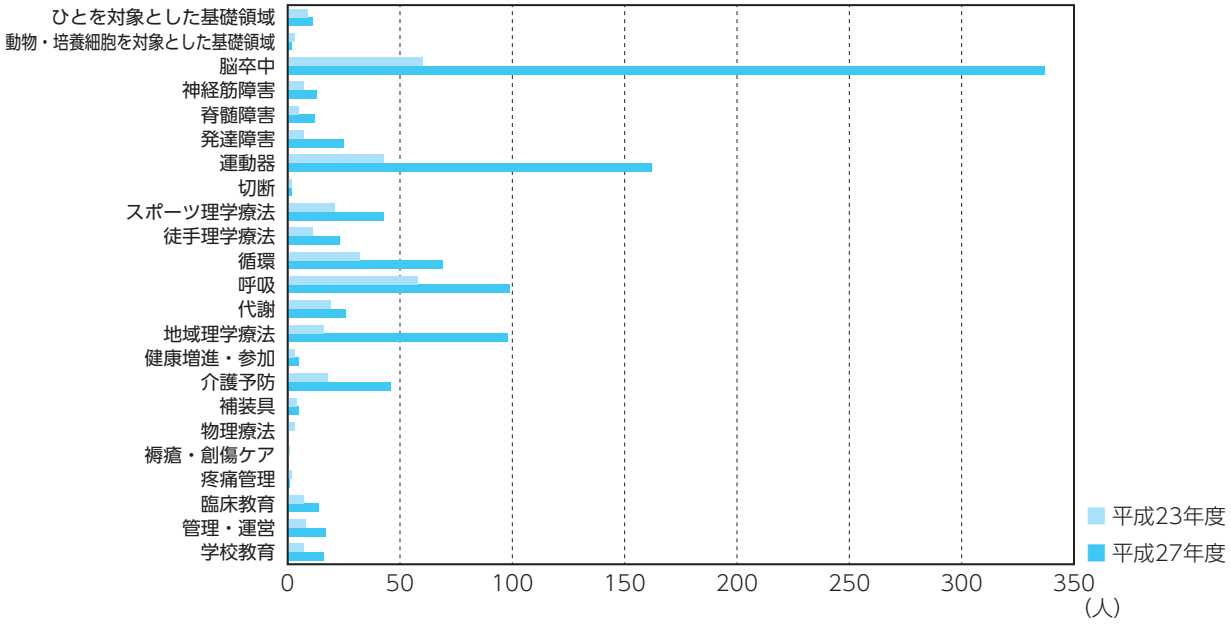
6　学位・称号



注：休会者を含む
資料：公益社団法人日本理学療法士協会　会員管理システムより抽出

大学卒業である学士が25%を超えるようになってきた。相対割合で多いのは専門士の46.4%である。

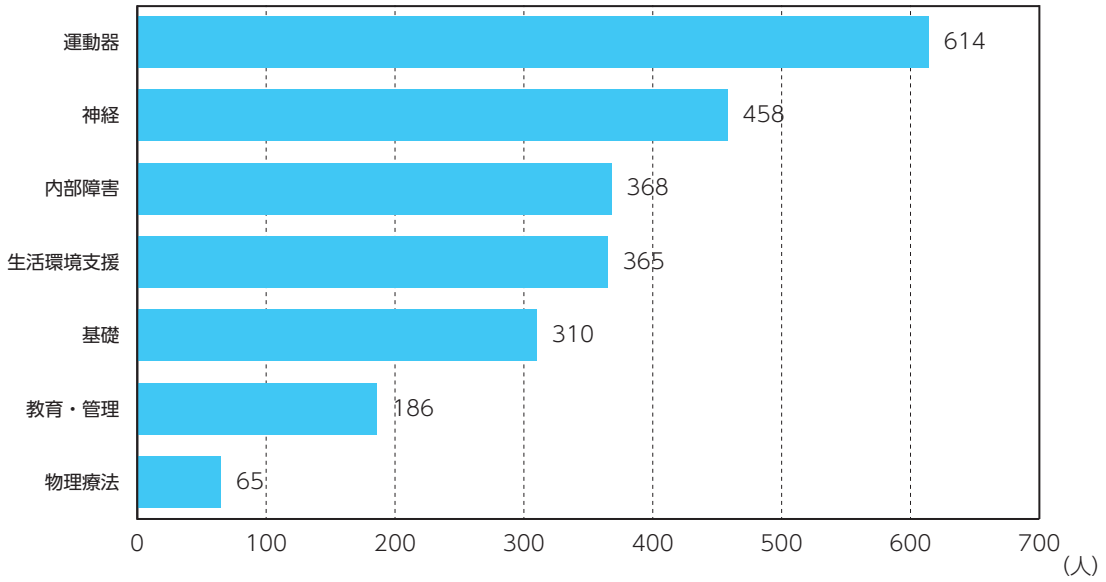
7　認定理学療法士分野別の取得者



資料：公益社団法人日本理学療法士協会　統計情報

臨床像を反映して脳卒中や運動器の認定理学療法士が多数を占めている。一方、地域理学療法や介護予防等が時代を反映して増加している。

8　専門理学療法士の分野別の取得者



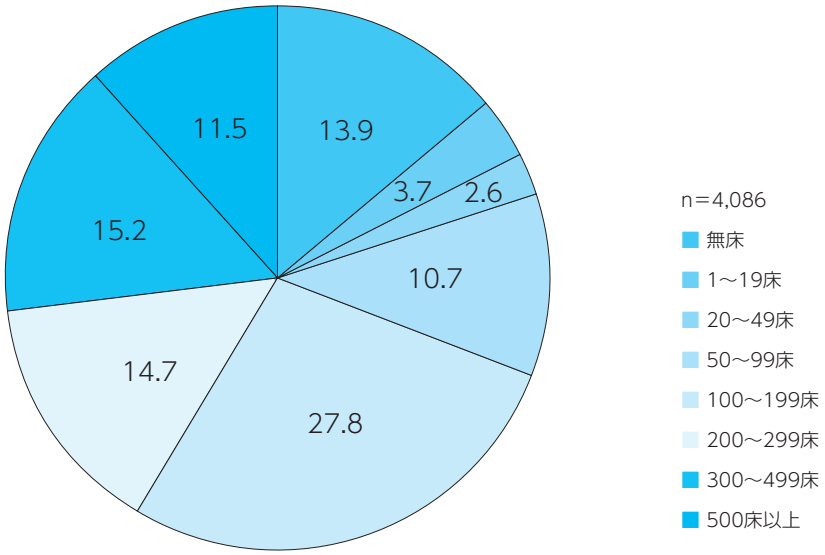
注：年度表記は取得（申請）年度
資料：公益社団法人日本理学療法士協会　会員管理システムより抽出

合計取得者数は、運動器、神経、内部障害の順に多い。

第 2 節　理学療法士の職場環境

1　施設の概況

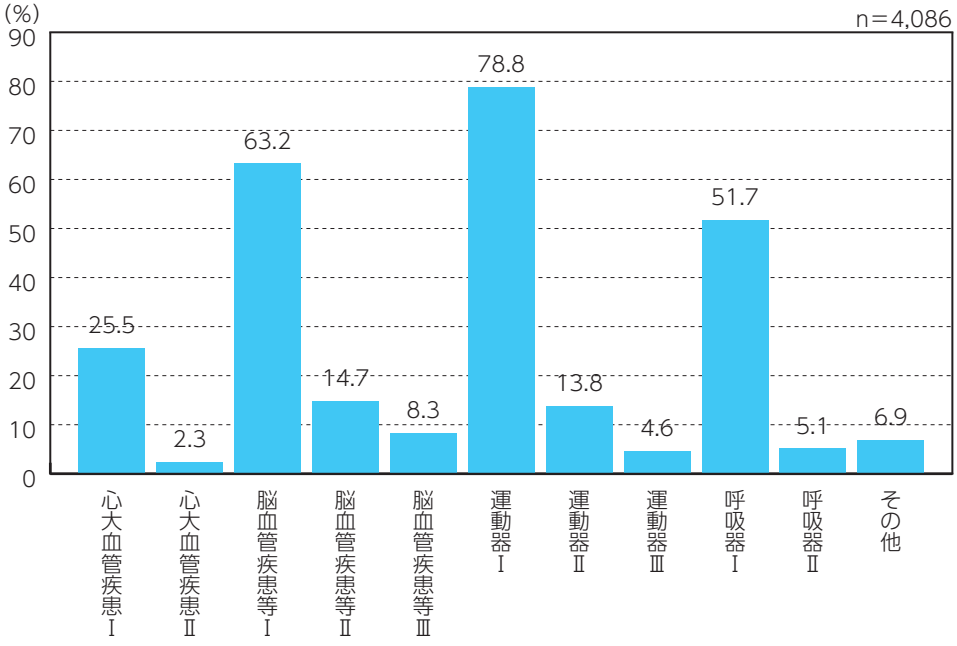
1　施設の許可病床数別割合



資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2015年度実施）

医療機関勤務の理学療法士のうち、200 床以上の大規模病院に所属しているものは 41.4%、中小規模病院に所属しているものは 41.1% であった。また、無床あるいは有床診療所に所属しているものは 17.6% であった

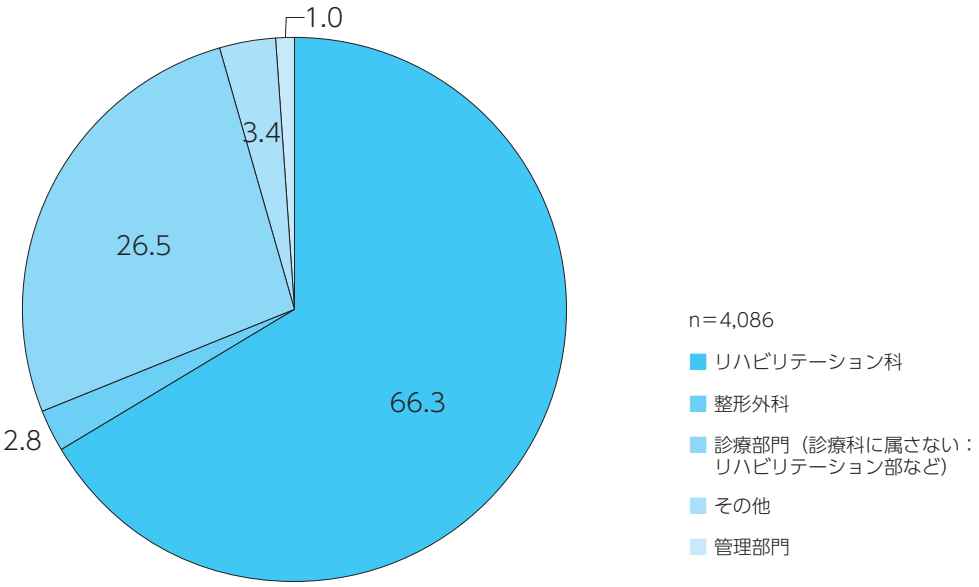
2　取得している施設基準の割合（複数回答）



資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2015 年度実施）

医療機関が取得している施設基準は、多い順に運動器リハビリテーション（Ⅰ）78.8%、脳血管疾患等リハビリテーション（Ⅰ）63.2%、呼吸器リハビリテーション（Ⅰ）51.2% であった。

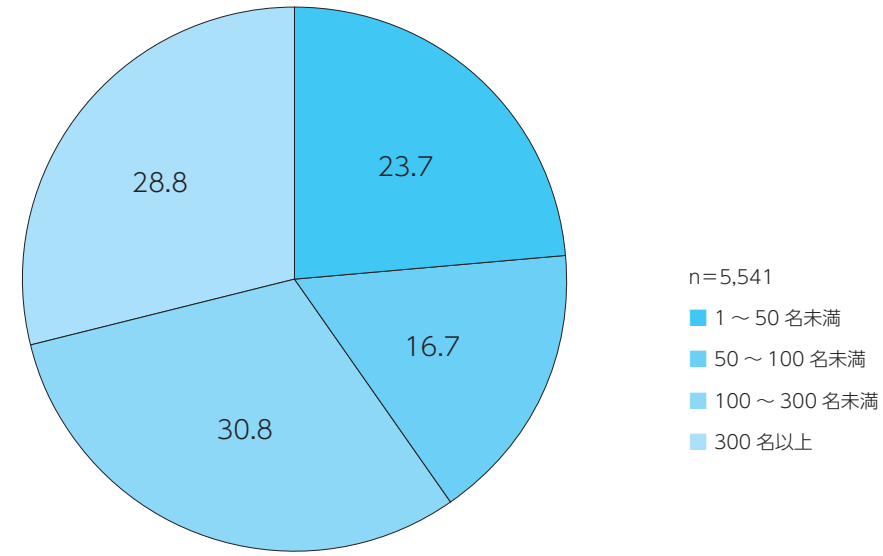
3　所属する診療科別割合



資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2015年度実施）

理学療法士が所属する診療科は、リハビリテーション科が66.3%であった。診療科には属さず、リハビリテーション部などの診療部門は、26.5%であった。

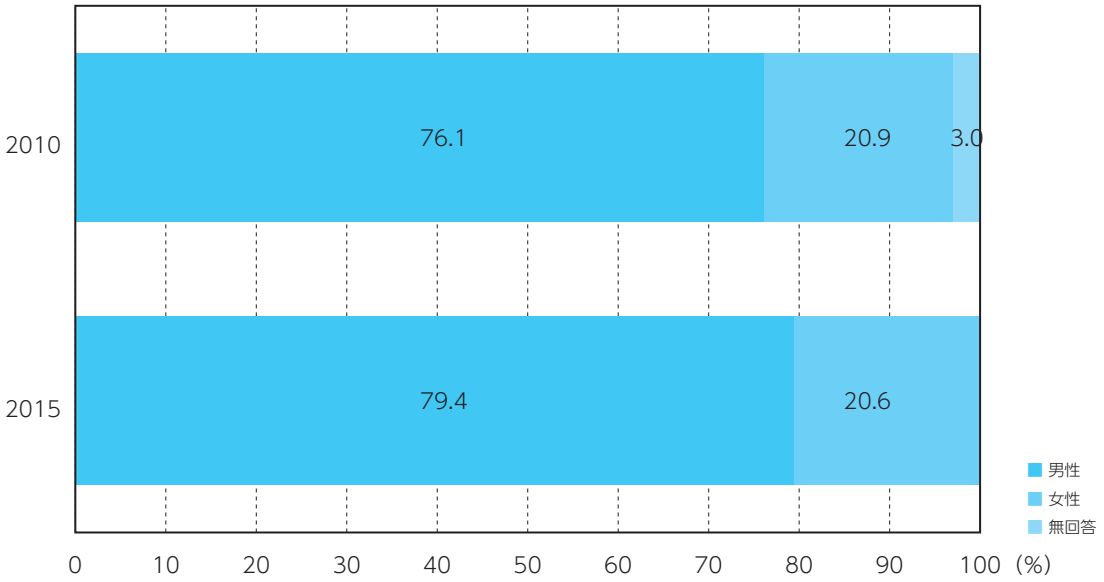
4　施設の常勤従業員数別割合



注：会員への個別の調査であり、従業員数の多い施設では、同施設内で複数の会員が回答した可能性があり、注意する必要がある。
資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2015年度実施）

50名未満の少人数の施設も23.7%あれば、300人以上の大人数の施設も28.8%あり、広く理学療法士の雇用がなされている。

5　理学療法部門の責任者の性別

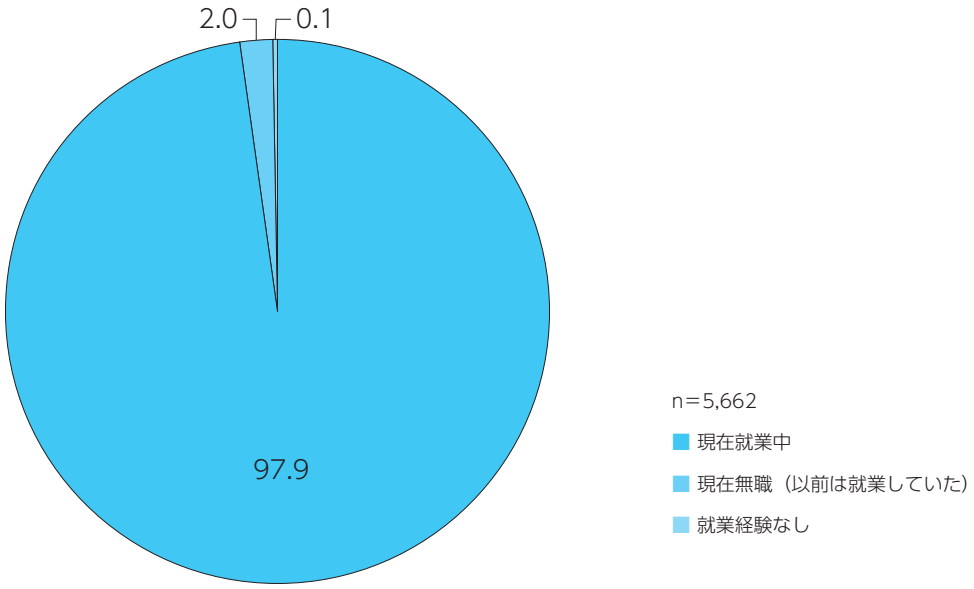


注：2010 年調査時は、質問紙調査のため、未記入の回答を「無回答」としたが、2015 年調査時は、WEB 調査のため、「無回答」は存在しない
資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2010 年・2015 年度実施）

理学療法部門の責任者は男性が約８割を占めている。

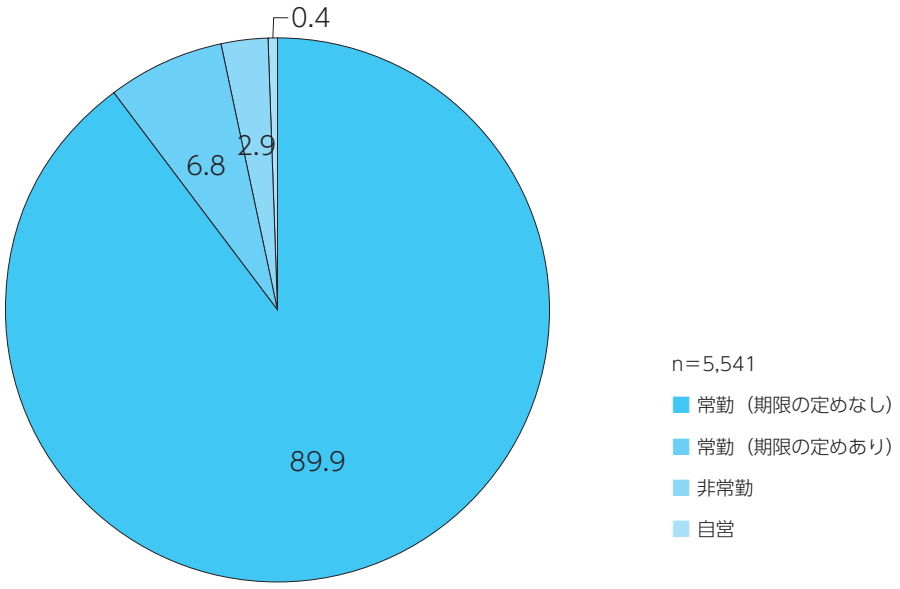
2 勤務・業務実態

1 現在の就業有無



資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2015年度実施）

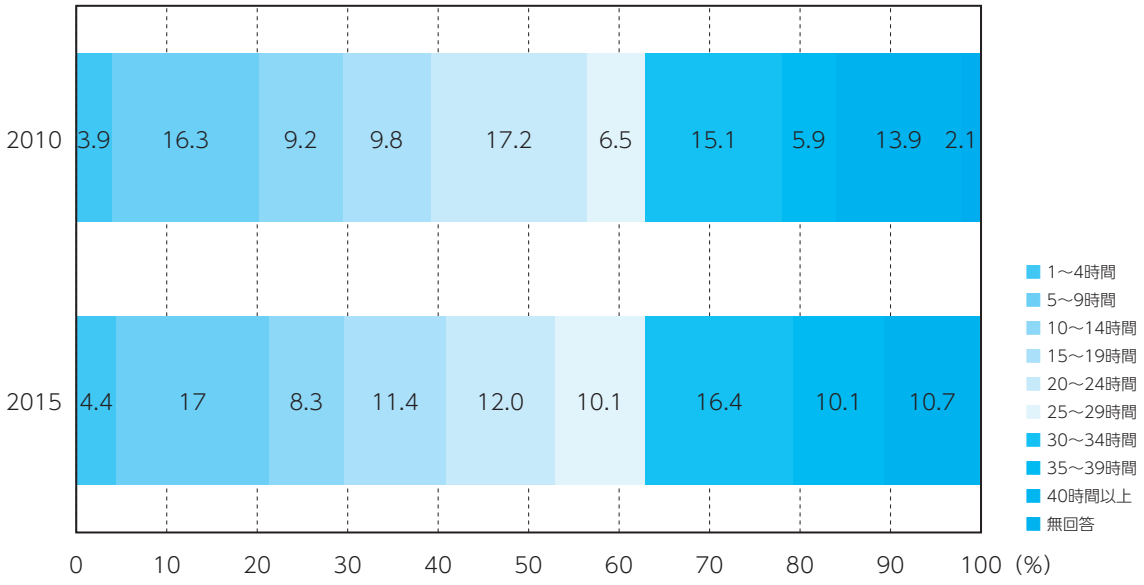
現在の就業形態



資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2015年度実施）

大半のものが現在就業中であり、そのうちの約９割は、期限の定めのない常勤職員として勤務している。

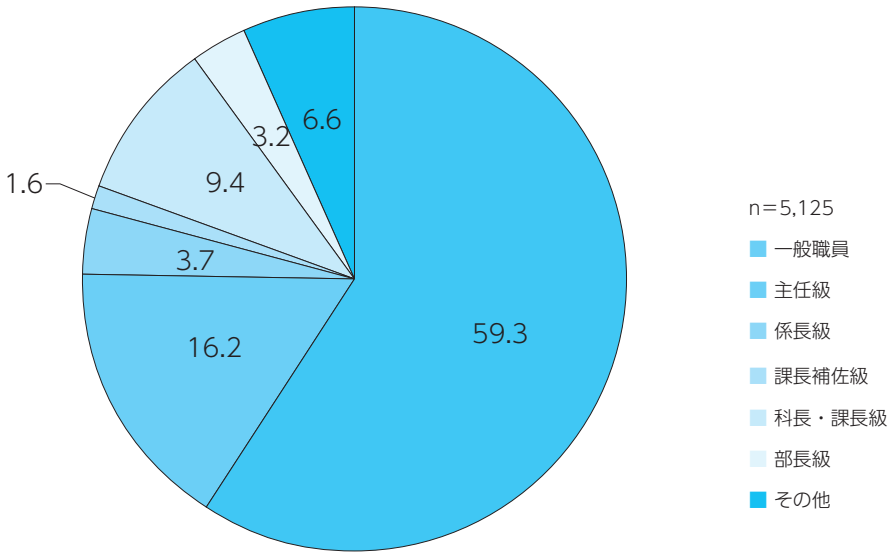
2　1週間の勤務時間



注：2010年調査時は、質問紙調査のため、未記入の回答を「無回答」としたが、2015年調査時は、WEB調査のため、「無回答」は存在しない
資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2010年・2015年度実施）

1週間の勤務時間は、1桁のものもいれば、40時間以上勤務しているものもいて、バラつきが見られ、理学療法士の働き方の多様性がみられる。

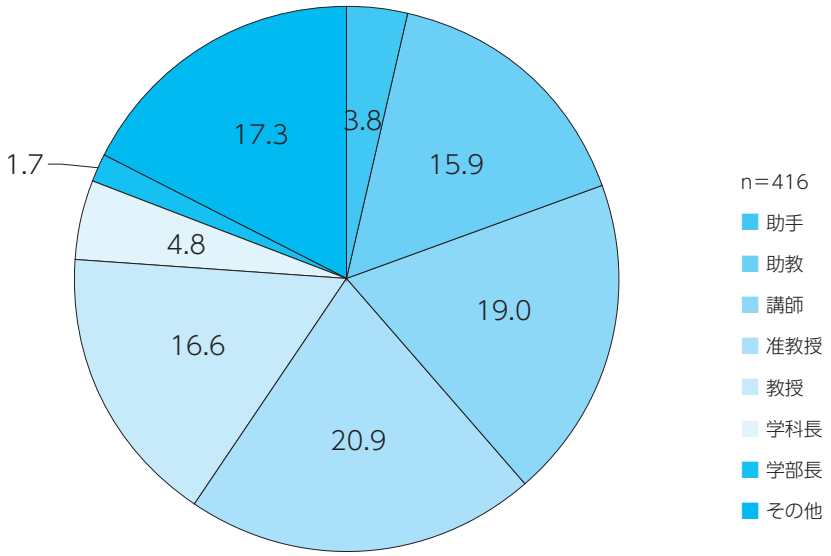
3　職制上の地位（教育機関以外）



資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2015年度実施）

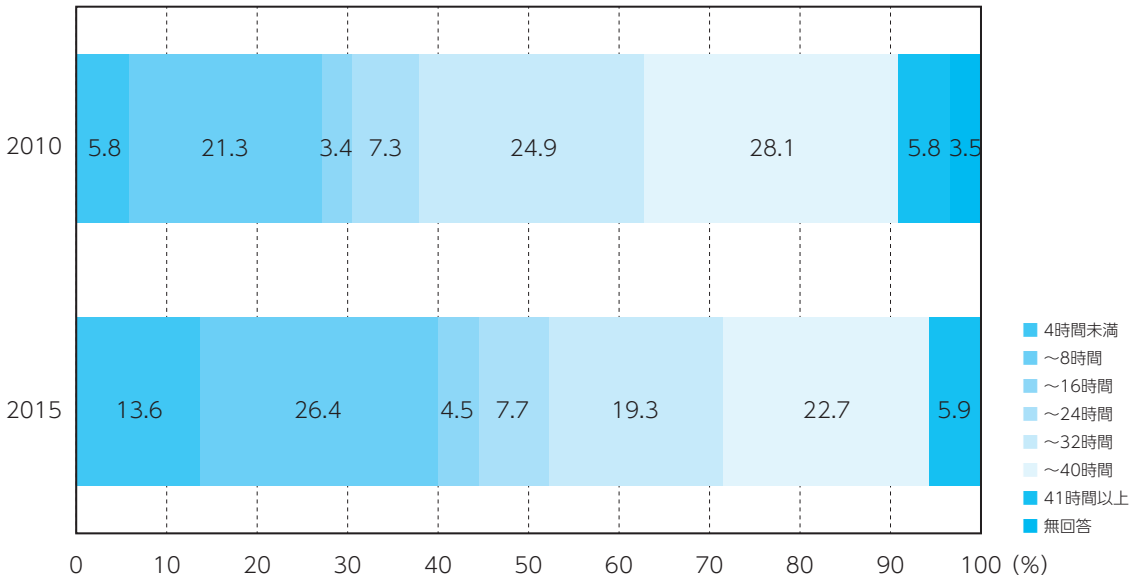
教育機関以外の職場においては、全体の約45%が何らかの地位を得ていることがわかった。

職制上の地位（教育機関）



資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2015年度実施）

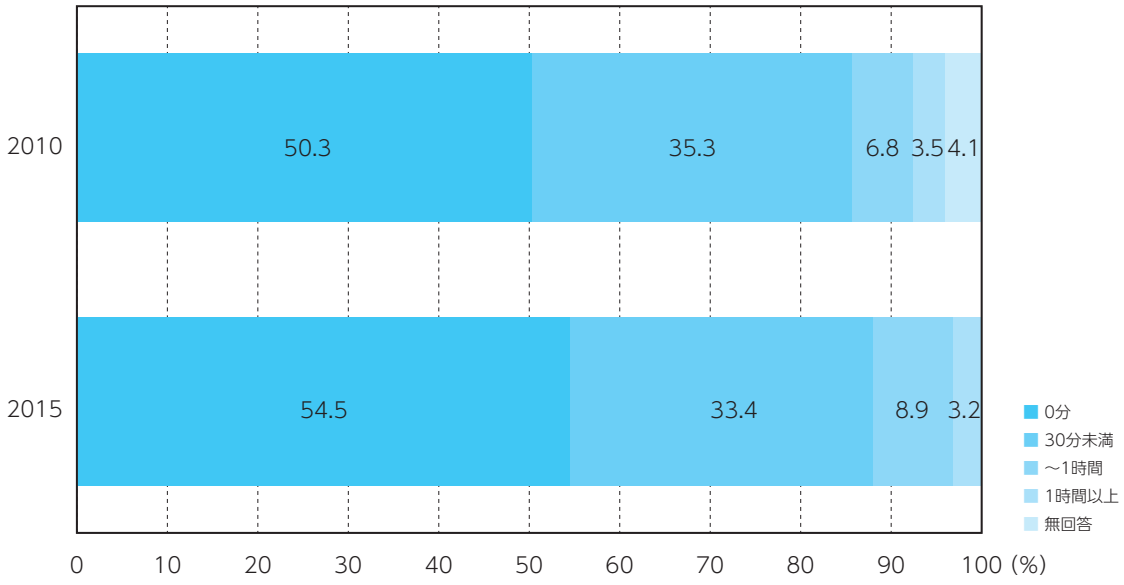
4　患者の治療・指導の時間（1 週間平均）



注：2010 年：n＝11,900、2015 年：n＝5,541
注：2010 年調査時は、質問紙調査のため、未記入の回答を「無回答」としたが、2015 年調査時は、WEB 調査のため、「無回答」は存在しない
資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2010 年・2015 年度実施）

2015 年は 2010 年と比較して、患者の治療・指導時間が短くなる傾向がみられる。

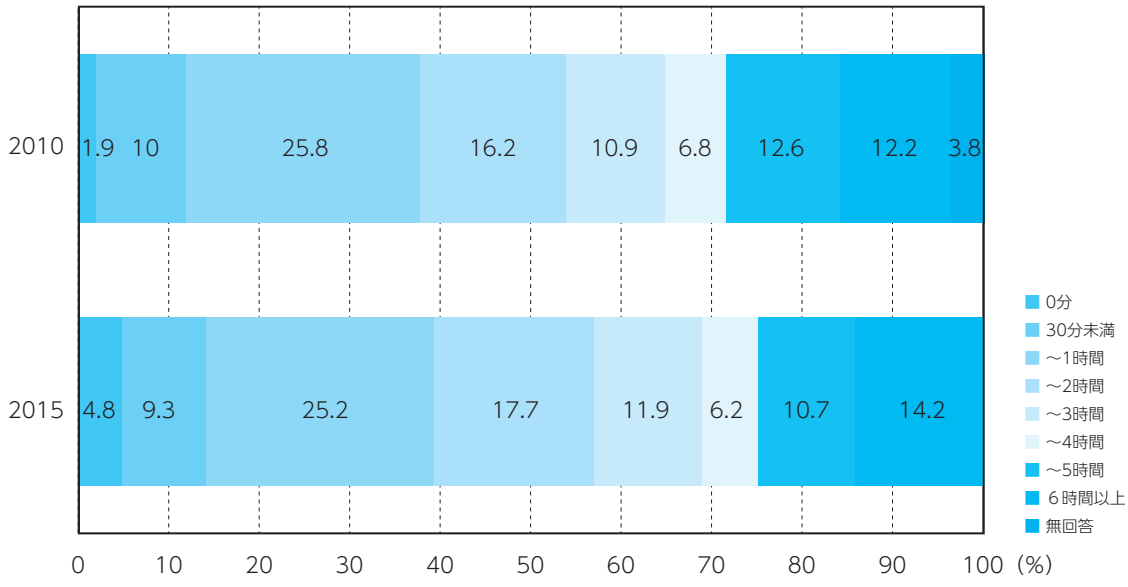
5　義肢・装具（ブレースクリニック・チェックアウト・副子作製等）の時間（1 週間平均）



注：2010 年：n＝11,900、2015 年：n＝5,541
注：2010 年調査時は、質問紙調査のため、未記入の回答を「無回答」としたが、2015 年調査時は、WEB 調査のため、「無回答」は存在しない
注：義肢・装具には、「ブレースクリーニング・チェックアウト・副子作製等」の時間も含む
資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2010 年・2015 年度実施）

2010年と比較して、2015年は、さらに時間が短くなっている。

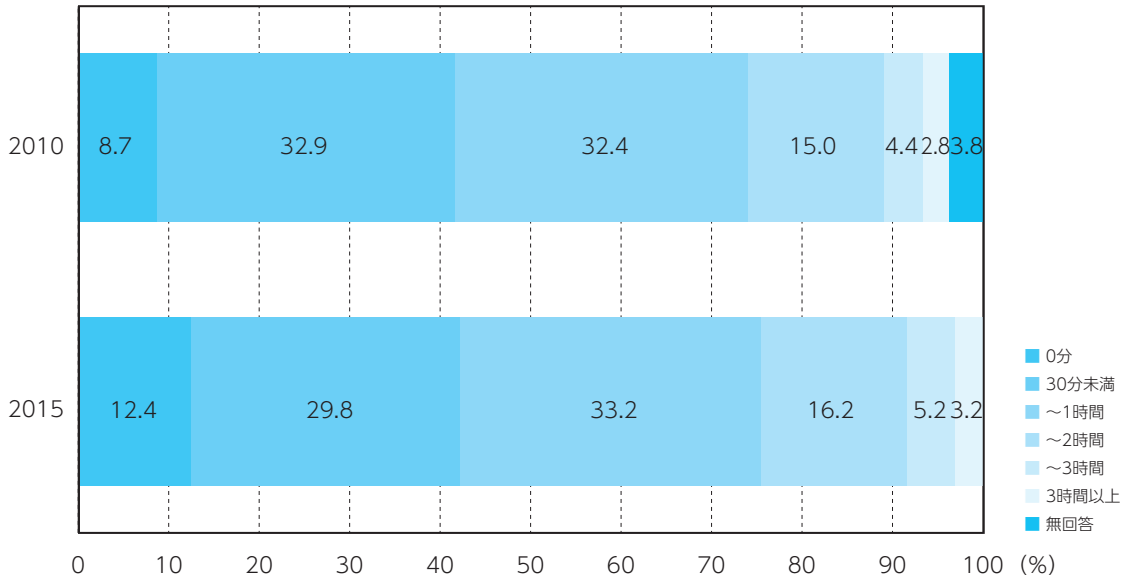
6　記録・報告書作成の時間（1 週間平均）



注：2010 年：n＝11,900、2015 年：n＝5,541
注：2010 年調査時は、質問紙調査のため、未記入の回答を「無回答」としたが、2015 年調査時は、WEB 調査のため、「無回答」は存在しない
資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2010 年・2015 年度実施）

2015年は2010年と比較して、7割のものが記録・報告書作成の時間が3時間未満である。また、大きな変動はないが、0分の割合が増加している。

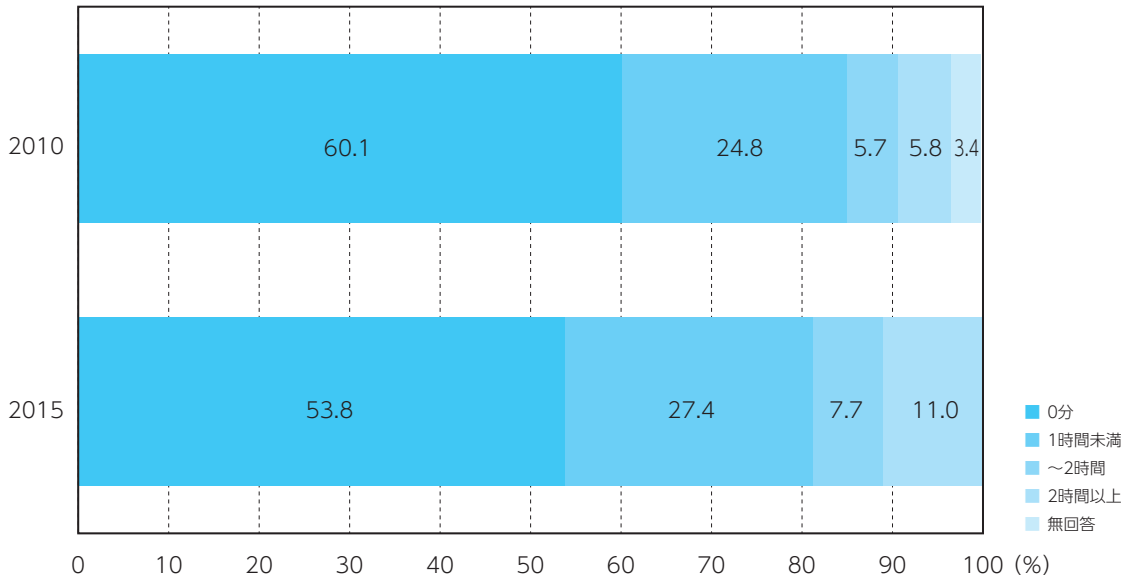
7　カンファレンス（ミニカンファレンス）の時間（1 週間平均）



注：2010 年：n=11,900、2015 年：n=5,541
注：2010 年調査時は、質問紙調査のため、未記入の回答を「無回答」としたが、2015 年調査時は、WEB 調査のため、「無回答」は存在しない
資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果 2010 年・2015 年度実施）

9割のものがカンファレンスの時間が0分～ 2時間未満であった。2010年と比較して、0分の割合が増加している。

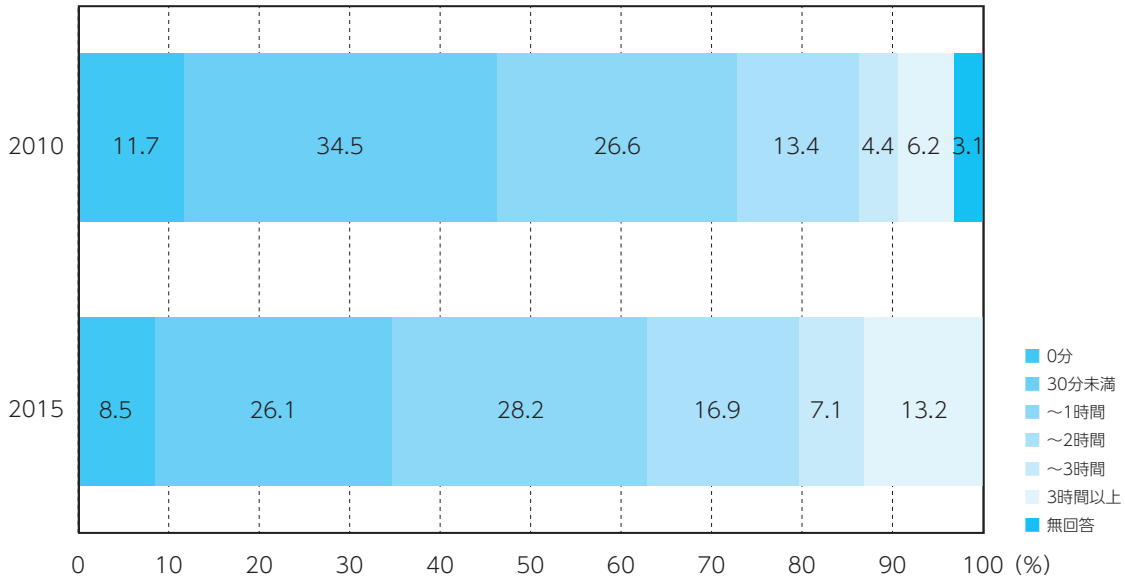
8　研究の時間（1 週間平均）



注：2010 年：n=11,900、2015 年：n=5,541
注：2010 年調査時は、質問紙調査のため、未記入の回答を「無回答」としたが、2015 年調査時は、WEB 調査のため、「無回答」は存在しない
資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2010 年・2015 年度実施）

2015年は2010年と比較して、約半数のものが研究時間は0分であるが、研究時間は増加傾向にある。

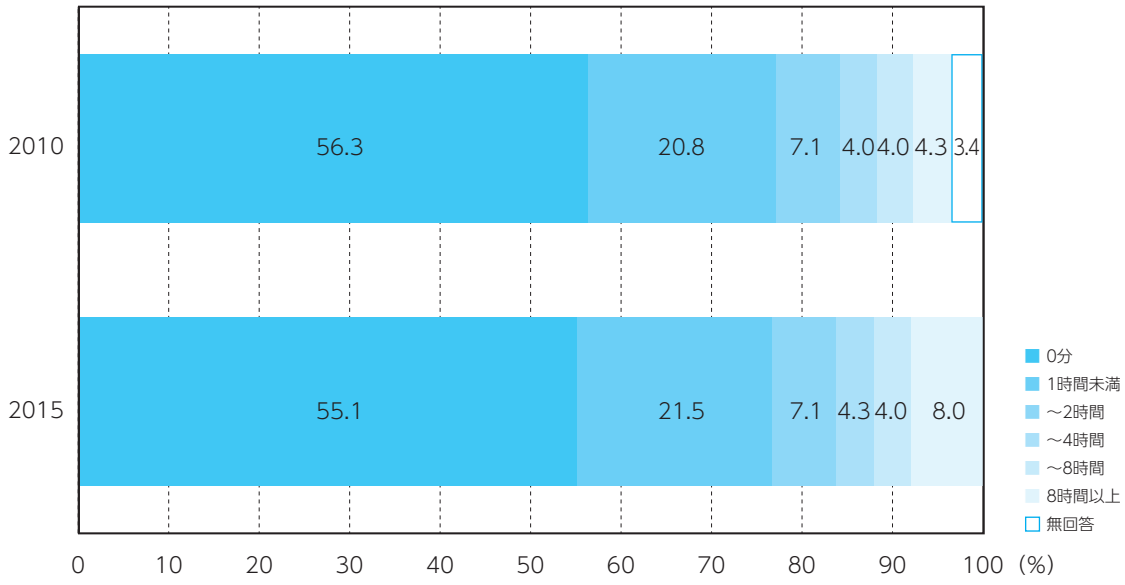
9　管理・運営のための時間（1週間平均）



注：2010年：n=11,900、2015年：n=5,541
注：管理・運営には、連絡会議・ミーティング等も含む
注：2010年調査時は、質問紙調査のため、未記入の回答を「無回答」としたが、2015年調査時は、WEB調査のため、「無回答」は存在しない
資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2010年・2015年度実施）

管理・運営に多くの時間を要しているものが増えている。

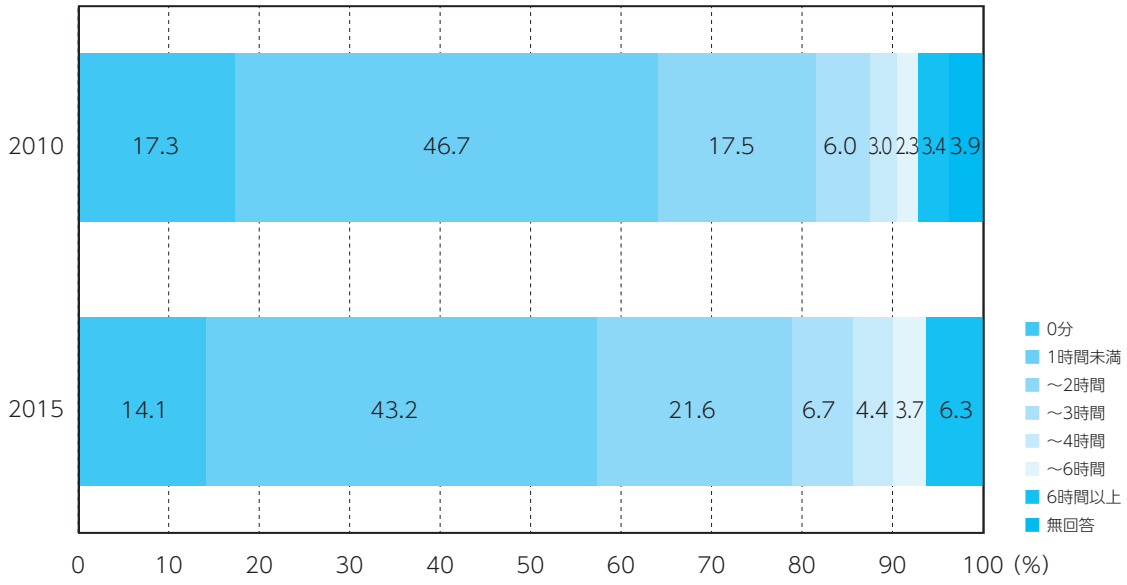
10　学生教育のための時間（1週間平均）



注：2010年：n=11,900、2015年：n=5,541
注：2010年調査時は、質問紙調査のため、未記入の回答を「無回答」としたが、2015年調査時は、WEB調査のため、「無回答」は存在しない
資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2010年・2015年度実施）

過半数のものが学生の指導を行っておらず、指導を行っているものの過半数は、2時間以内である。

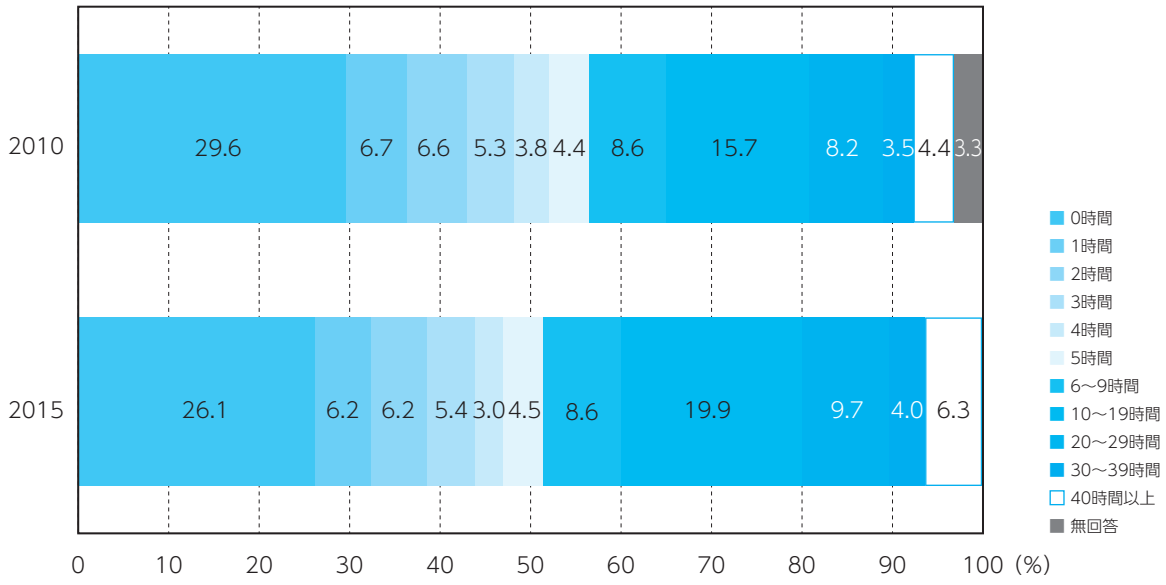
11　OJT の時間（1 週間平均）



注：2010 年：n＝11,900、2015 年：n＝5,541
注：2010 年調査時は、質問紙調査のため、未記入の回答を「無回答」としたが、2015 年調査時は、WEB 調査のため、「無回答」は存在しない
　　調査では「勉強のための時間」として調査
資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2010 年・2015 年度実施）

2010年と比較して1時間未満の割合が減少し、1時間以上の割合が増加している。

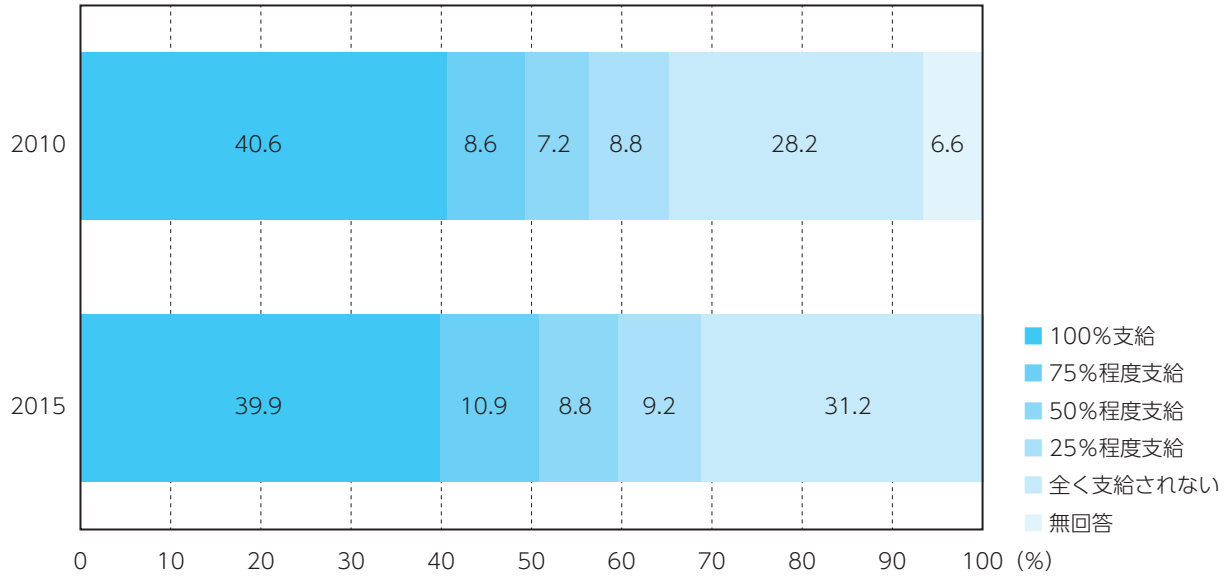
12　残業時間（1 ヶ月平均）



注：2010 年：n＝11,900、2015 年：n=5,541
注：調査開始月の前月 1 か月間の残業時間
注：業務命令による実残業時間
注：2010 年調査時は、質問紙調査のため、未記入の回答を「無回答」としたが、2015 年調査時は、WEB 調査のため、「無回答」は存在しない
資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2010 年・2015 年度実施）

2015年は2010年と比較して5時間以内が過半数であるが、約2割が20時間以上残業を行っている。0分の割合が減少し、10時間以上の割合が増加している。

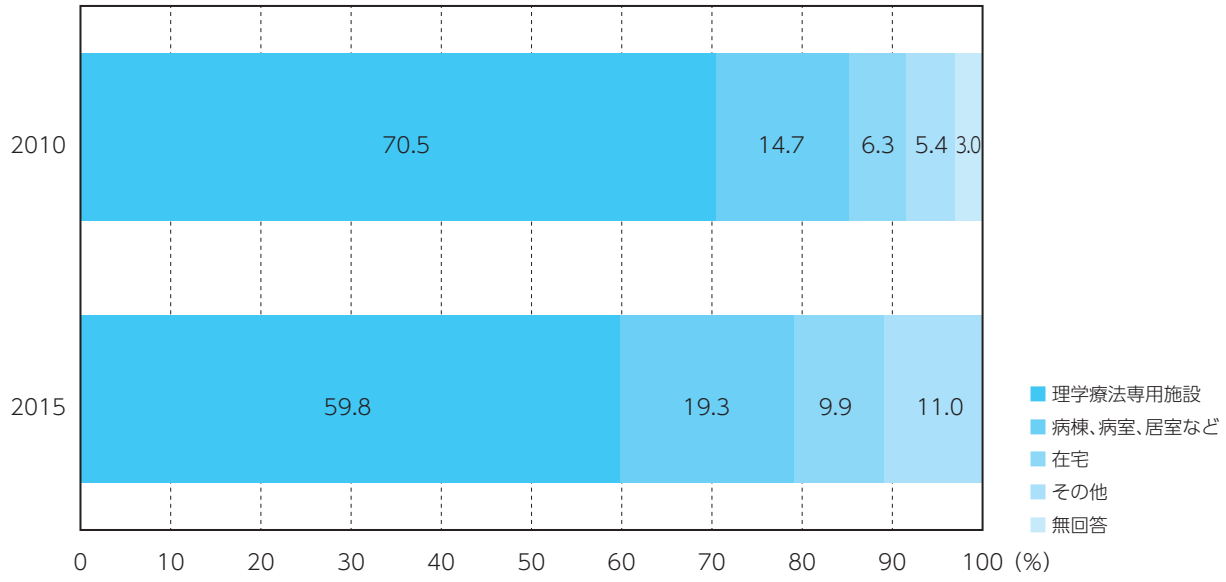
13　残業時間に対する手当の支給比率



注：2010 年：n=11,900、2015 年：n=5,541
注：2010 年調査時は、質問紙調査のため、未記入の回答を「無回答」としたが、2015 年調査時は、WEB 調査のため、「無回答」は存在しない
資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2010 年・2015 年度実施）

100%支給されているものが４割いる反面、全く支給されていないものが３割いる。2010年と比較して手当の支給比率に大きな変動は認められない。

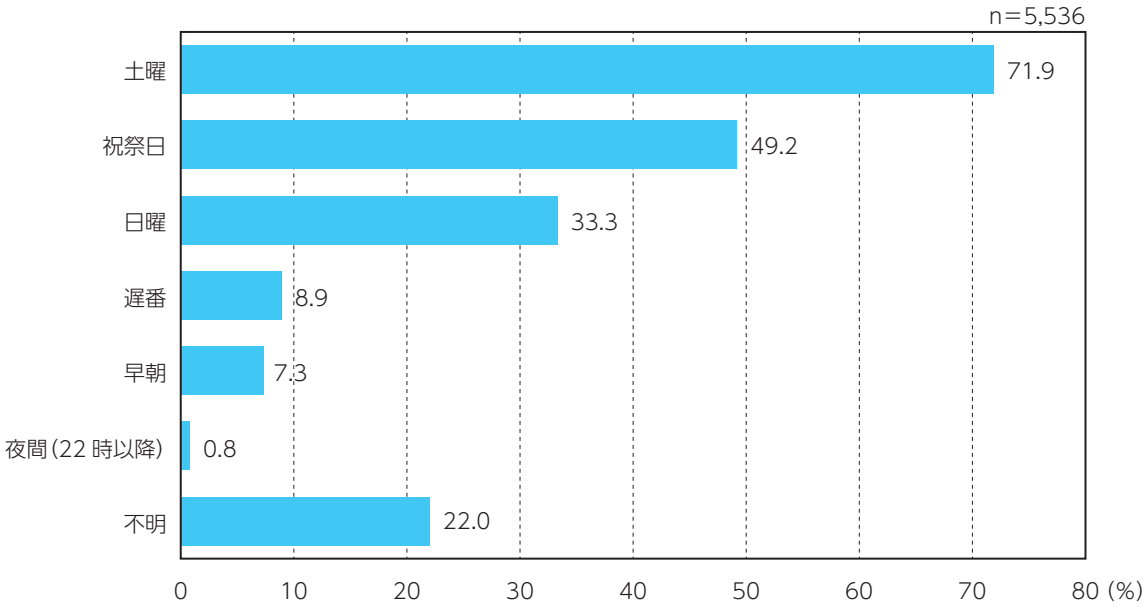
14　理学療法実施場所



注：2010 年：n=11,900、2015 年：n=5,541
注：2010 年調査時は、質問紙調査のため、未記入の回答を「無回答」としたが、2015 年調査時は、WEB 調査のため、「無回答」は存在しない
資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2010 年・2015 年度実施）

2015年は2010年と比較し、理学療法専用施設の割合が減少しており、病棟や在宅、その他の割合が大きく増加している。

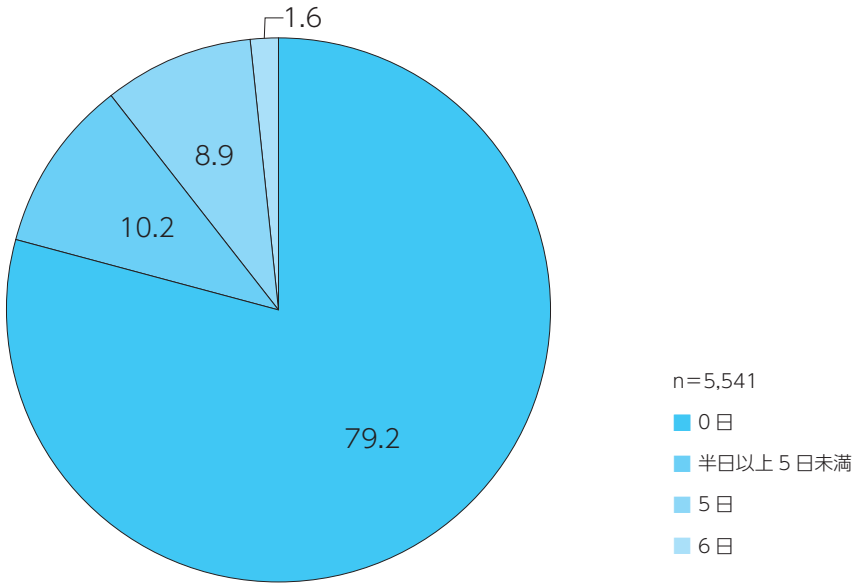
15　勤務体制（複数回答）



資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2015 年度実施）

土曜出勤は７割、日曜出勤は３割、祝祭日は５割である。

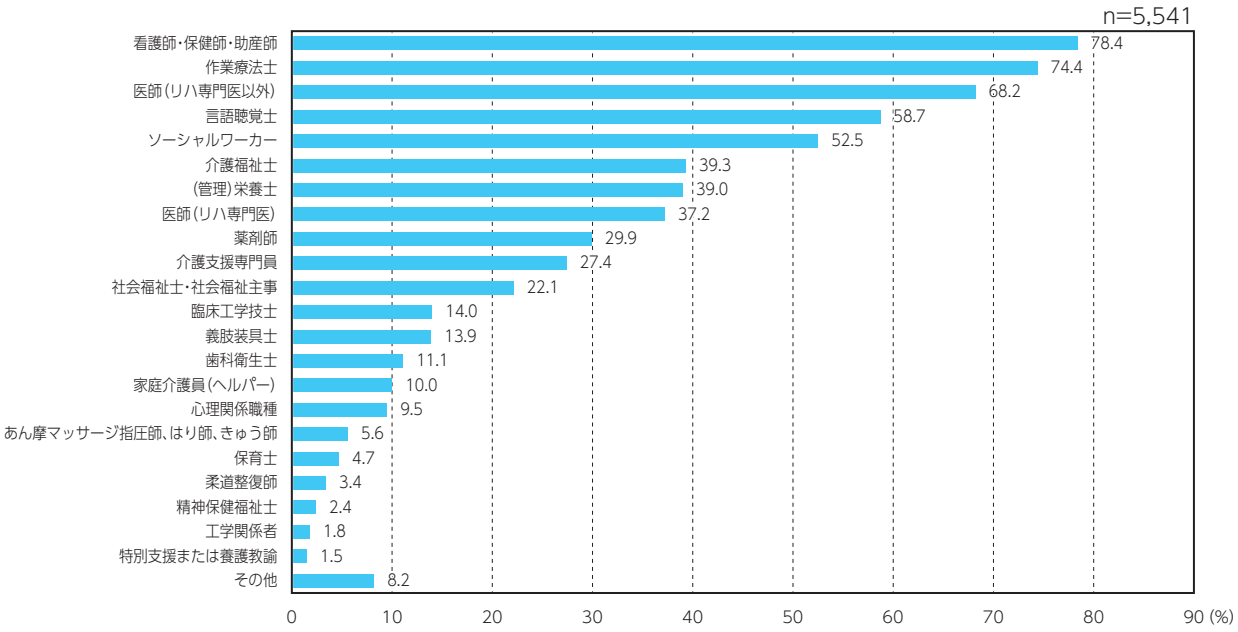
16　在宅における理学療法サービスの実施日数（1 週間平均）



資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2015年度実施）

在宅における理学療法サービスは８割のものが関わっておらず、ほぼ毎日在宅サービスを実施しているものは約９％である。

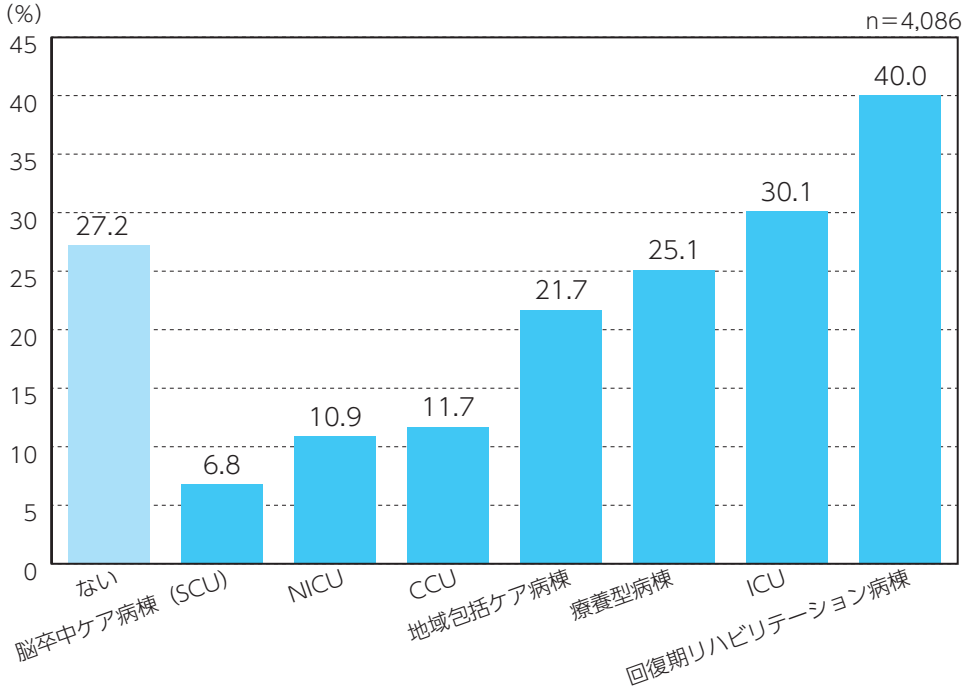
17　事業所内における他職種とのチーム構成割合（複数回答）



資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2015年度実施）

チーム構成の割合で最も多いのは看護師・保健師・助産師であり、次いで、作業療法士、医師（リハ専門医以外）、言語聴覚士、ソーシャルワーカーという結果になった。

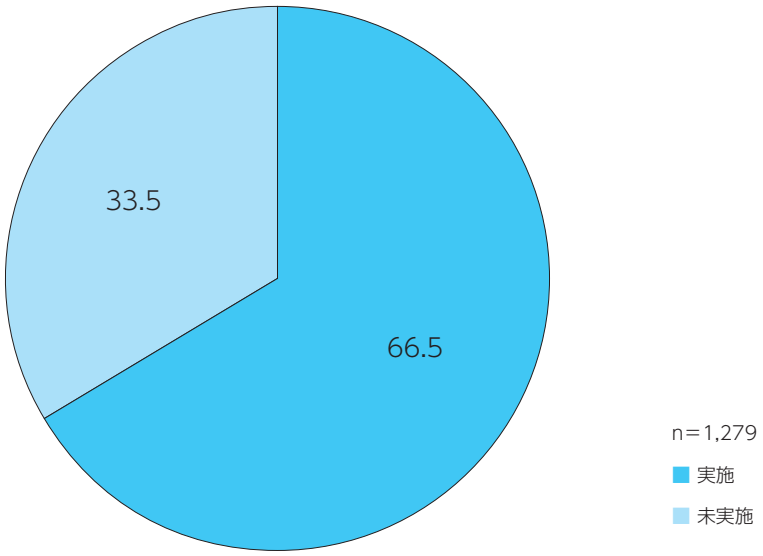
18　主たる職場における機能別実践割合（複数回答）



資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2015年度実施）

主たる職場にある病室・病棟は、多い順に回復期リハビリテーション病棟、ICU、療養型病棟、地域包括ケア病棟であった。7割の理学療法士が有床医療機関で働いている。

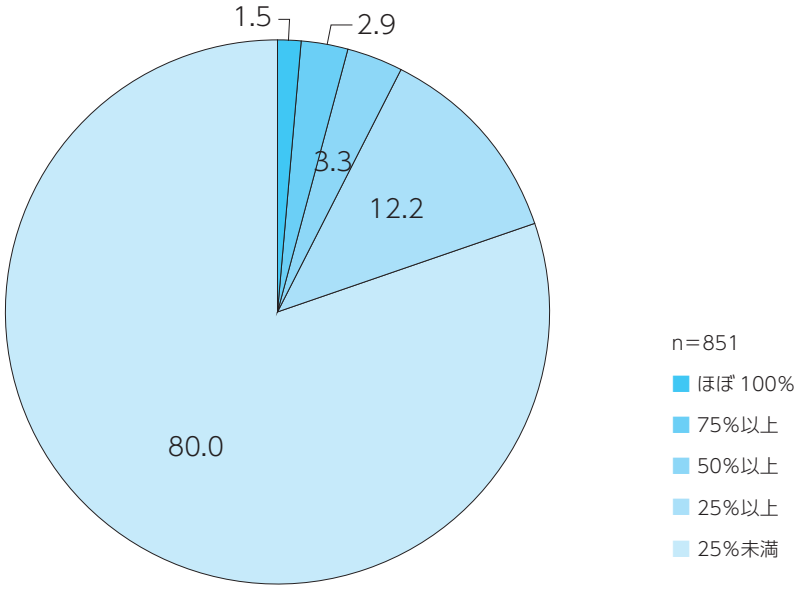
ICU、CCU または NICU での理学療法業務実施有無



資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2015年度実施）

急性期病院に勤務する理学療法士の約66%が、ICU・CCU・NICUでの理学療法業務を実施したと回答した。

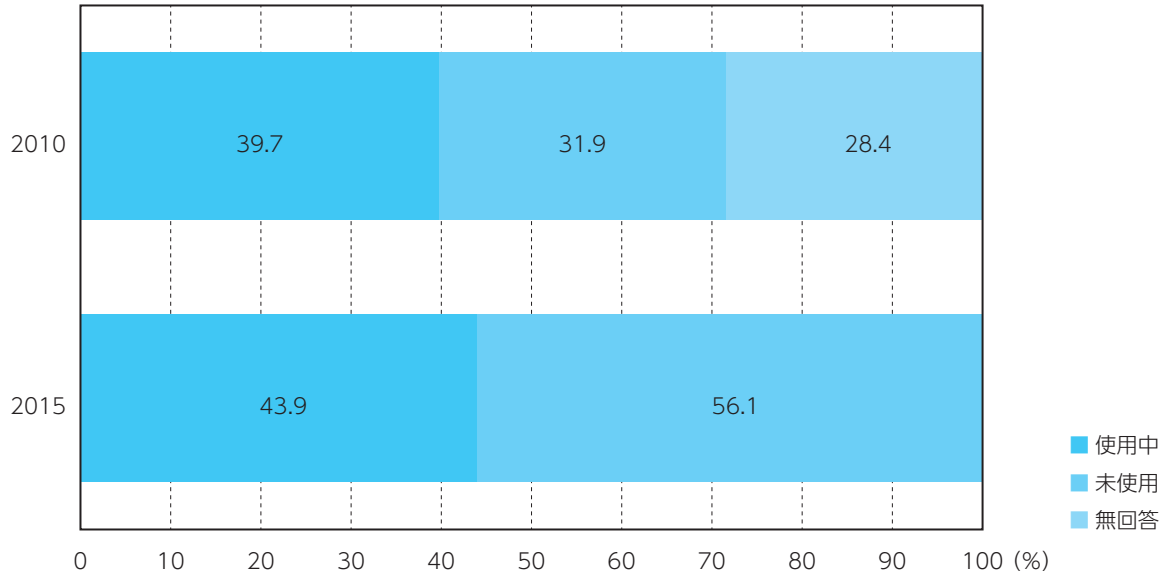
受持患者のうち、ICU、CCU または NICU で理学療法業務を実施する患者数の割合



資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2015年度実施）

受持患者全体に占める該当病棟患者の割合は、25%未満と答えた者が80%（681人）であったが、半数以上を占めると答えた者も7.7%（66人）おり、専従・専任で超急性期の業務にあたる理学療法士の存在を確認できた。

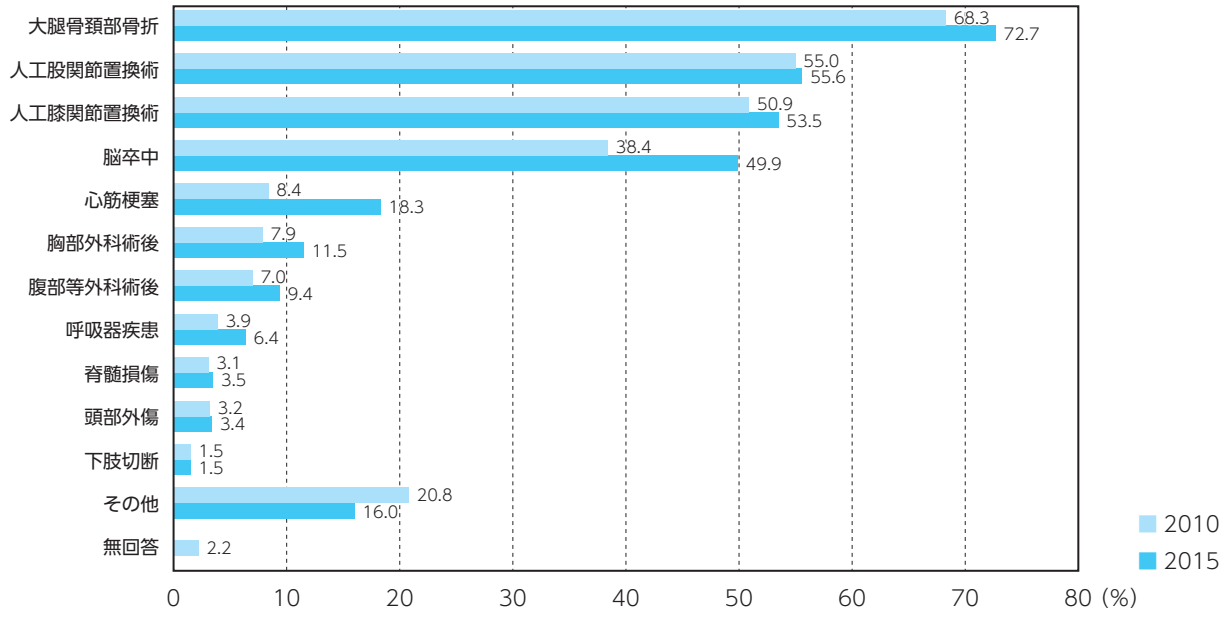
19　クリニカルパスの使用有無



注：2010 年：n=11,900、2015 年：n=4,086
注：2010 年調査時は、質問紙調査のため、未記入の回答を「無回答」としたが、2015 年調査時は、WEB 調査のため、「無回答」は存在しない
資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2010 年・2015 年度実施）

理学療法のクリニカルパスの使用割合は、約４割程度であった。

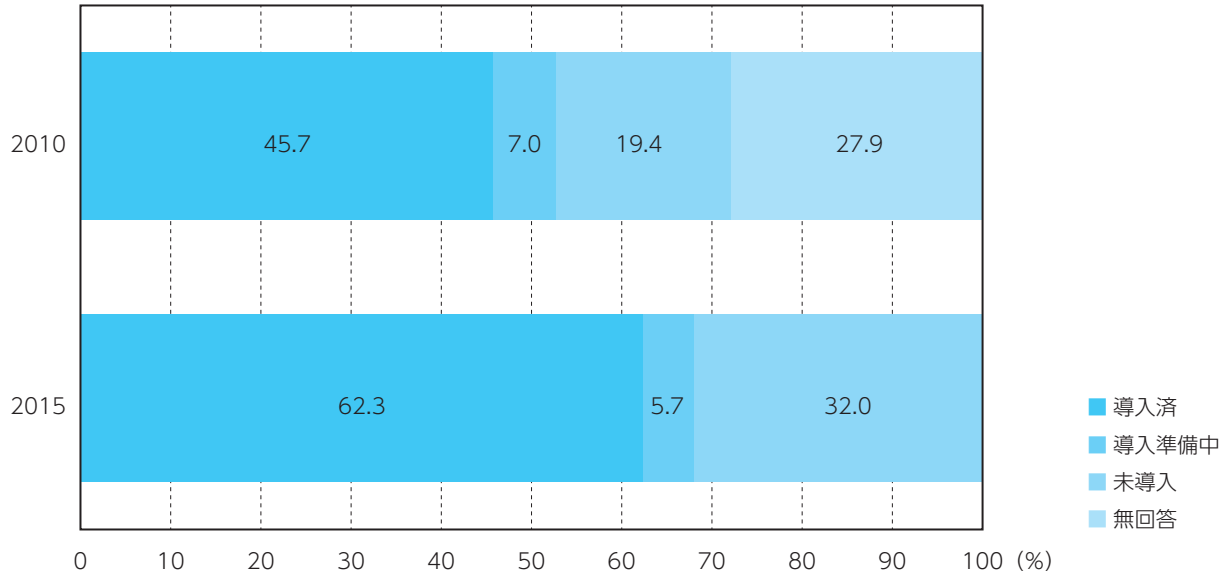
クリニカルパスを使用している対象疾患（複数回答）



注：2010 年：n=3,794、2015 年：n=1,792
注：2010 年調査時は、質問紙調査のため、未記入の回答を「無回答」としたが、2015 年調査時は、WEB 調査のため、「無回答」は存在しない
資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2010 年・2015 年度実施）

クリニカルパスで多く用いられている対象疾患は、大腿骨頚部骨折、人工股関節置換術、人工膝関節置換術、脳卒中の順であった。クリニカルパスの使用割合は、増加傾向であった。

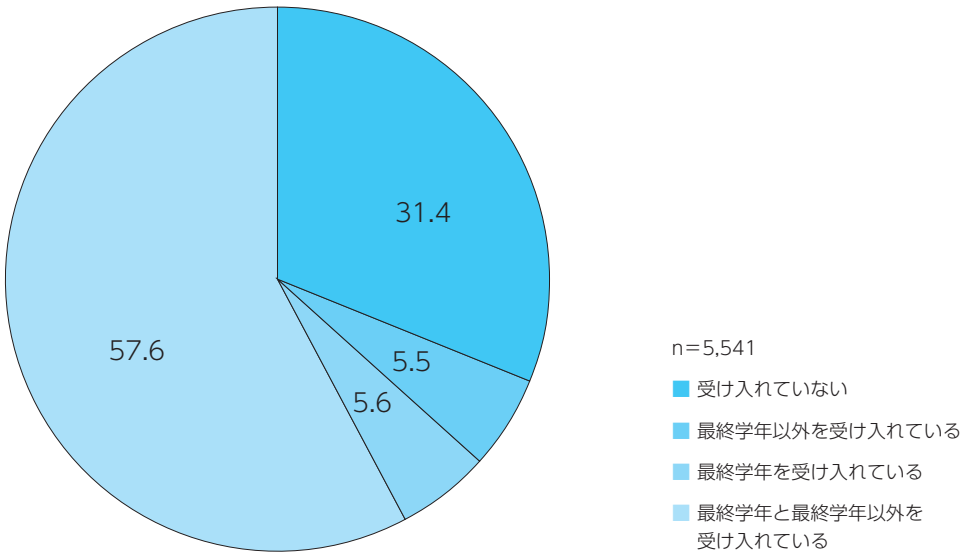
20　電子カルテの導入有無



注：2010 年：n＝11,900、2015 年：n＝4,086
注：2010 年調査時は、質問紙調査のため、未記入の回答を「無回答」としたが、2015 年調査時は、WEB 調査のため、「無回答」は存在しない
資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2010 年・2015 年度実施）

電子カルテの導入は、2010 年には 45% であったが、2015 年には 62% と大幅に増加している。

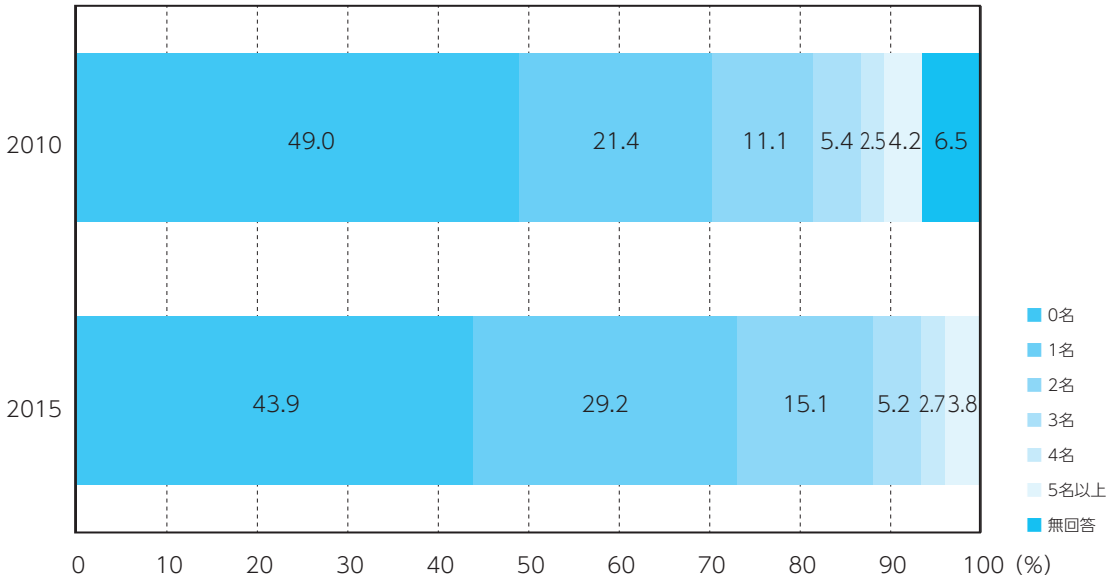
21　臨床実習生の受入有無



注：理学療法学科の臨床実習生が対象
資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2015年度実施）

臨床実習の受入状況は、約 70% で何らかの形で受け入れている。一方、実習生の受け入れを行っていない施設も 30% を超えている。

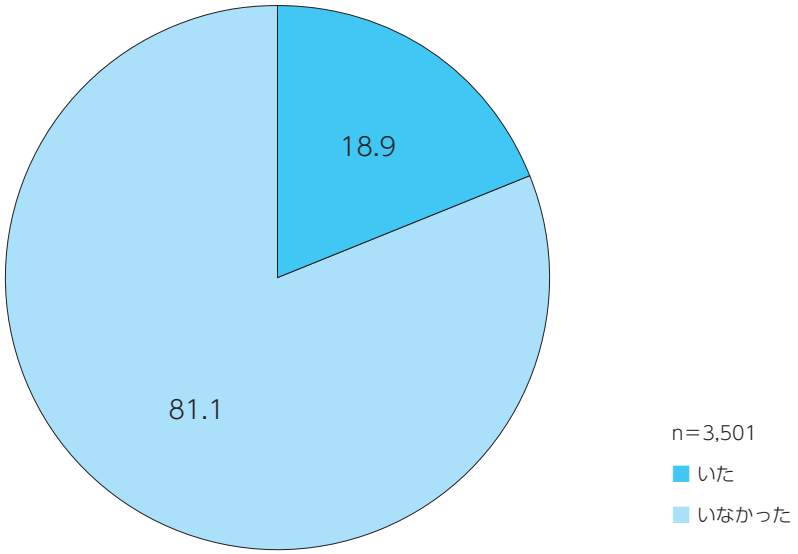
臨床実習生の担当予定学生数



注：2010 年：n＝11,900、2015 年：n＝3,803
注：実習指導補助者としての指導は除く
注：2010 年調査時は、質問紙調査のため、未記入の回答を「無回答」としたが、2015 年調査時は、WEB 調査のため、「無回答」は存在しない
資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査（2010 年・2015 年度実施）

何らかの形で実習生を担当するものが過半数を超えている。臨床実習指導者として担当する学生は０人と答えたものが2010年は49%であったが2015年では43.9%と低下している。実習生の担当の多くは１名、もしくは２名と答えたものが合わせて44.3%を占めた。

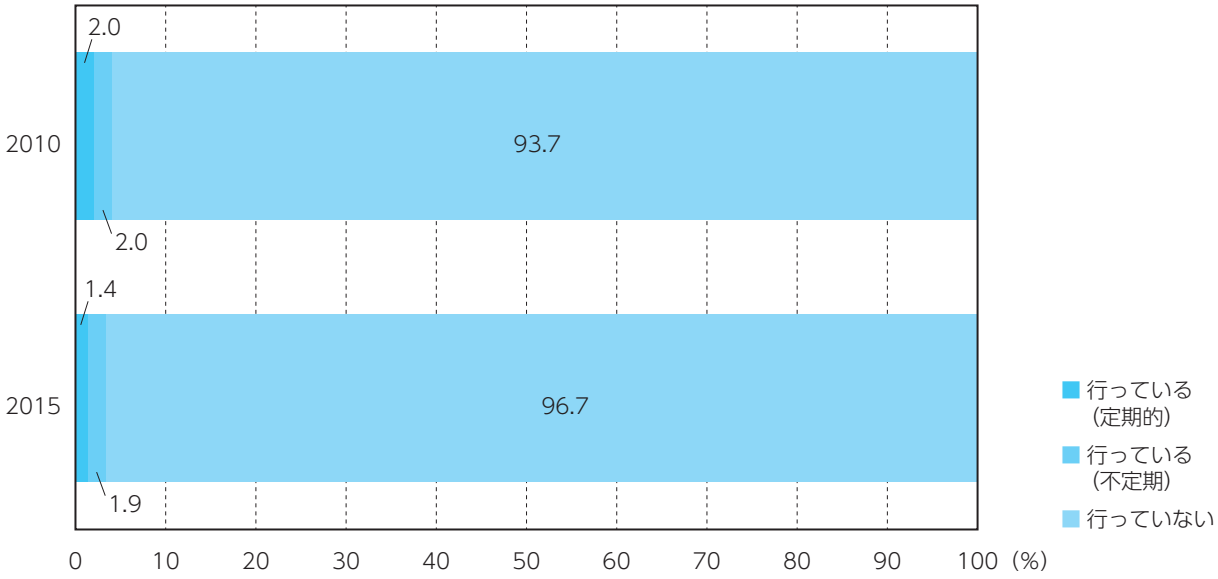
22　臨床実習を中断した学生有無



注：今年度実習生を受け入れて、身体的、精神的理由から実習を途中で中断せざるを得えなかった学生の有無について調査を行った
注：最終学年の実習生の数
資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2015年度実施）

18.9%のものが中断となった学生がいた経験があるという結果であった。

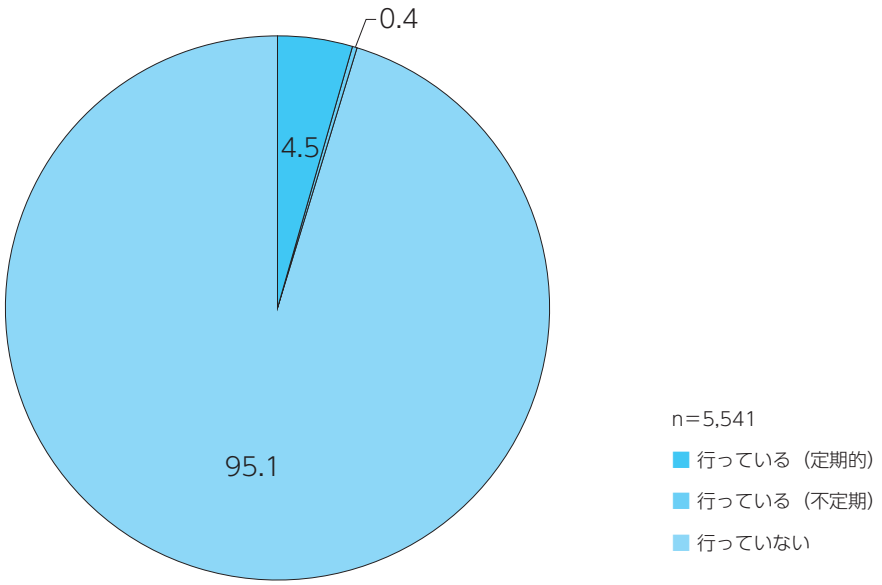
23　介護認定の調査業務を行っているか



注：2010 年：n=11,900、2015 年：n=5,541
注：2010 年調査時は、質問紙調査のため、未記入の回答を「無回答」としたが、2015 年調査時は、WEB 調査のため、「無回答」は存在しない
資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2010 年・2015 年度実施）

行っているものが減少傾向にある。

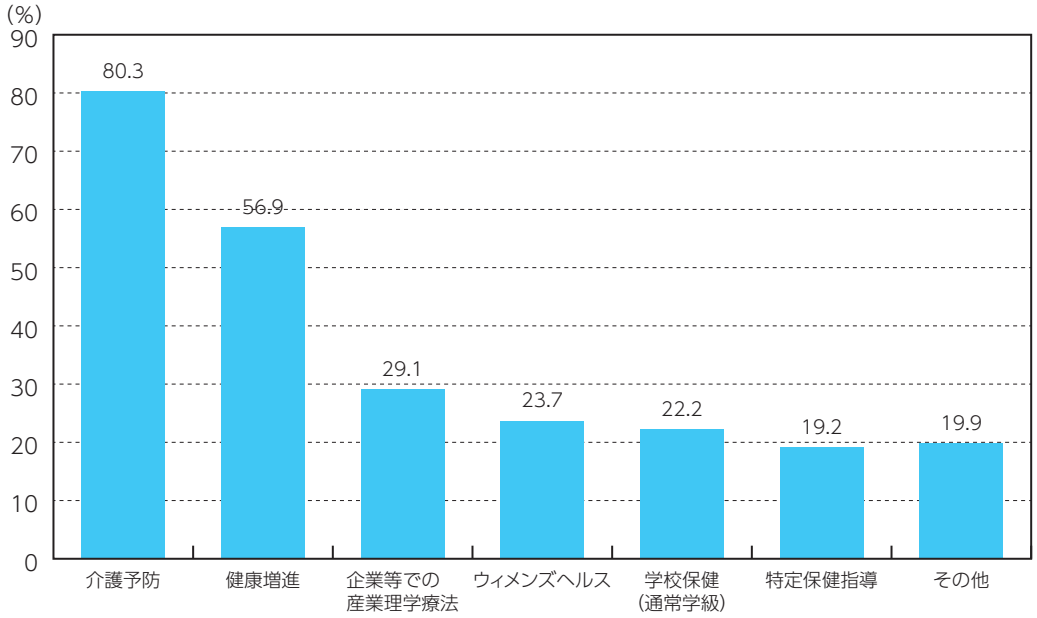
24　介護認定の認定調査員を行っているか



資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2015年度実施）

大半のものが行っていないという結果になった。定期的に行っているのは約 5% であった。

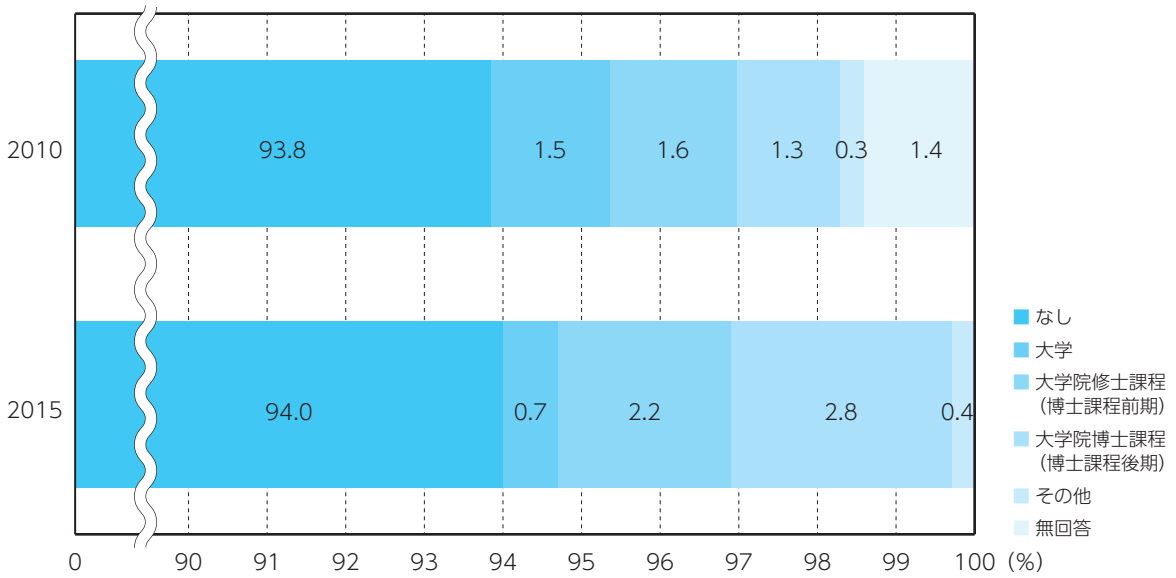
25　理学療法士として医療保険以外で関わる範囲



資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2015 年度実施）

約８割のものが介護予防に関わっている。特定保健指導、学校保健、ウィメンズヘルスは約２割のものが関わっている結果となった。

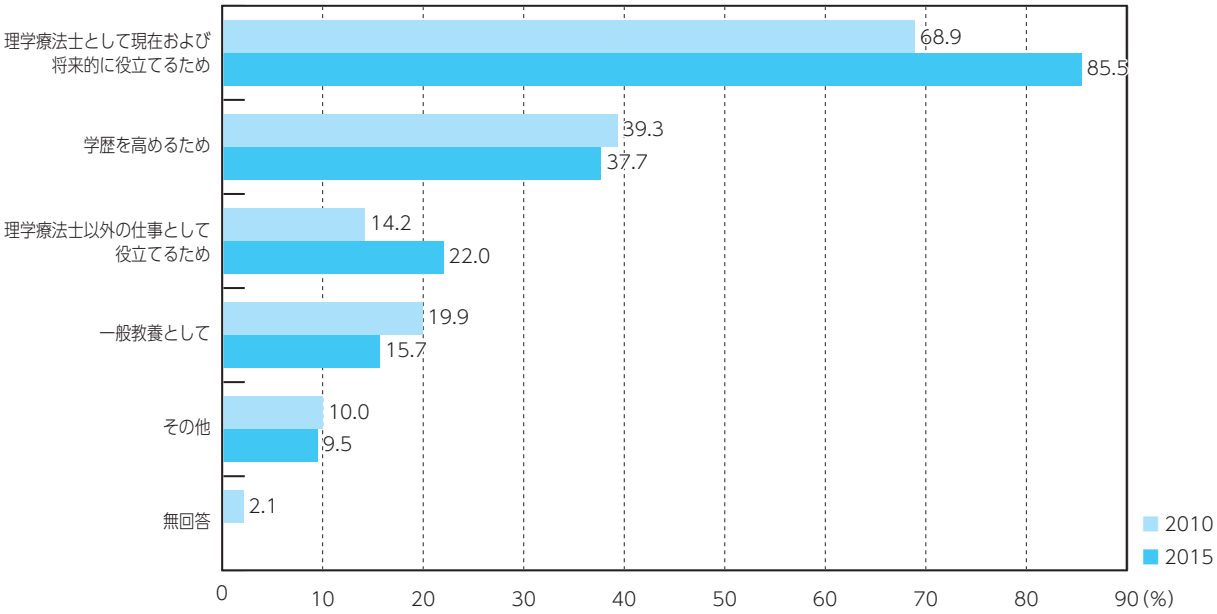
26　在学中の学校有無



注：2010 年：n＝11,900、2015 年：n=5,662
注：2010 年調査時は、質問紙調査のため、未記入の回答を「無回答」としたが、2015 年調査時は、WEB 調査のため、「無回答」は存在しない
資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2010 年・2015 年度実施）

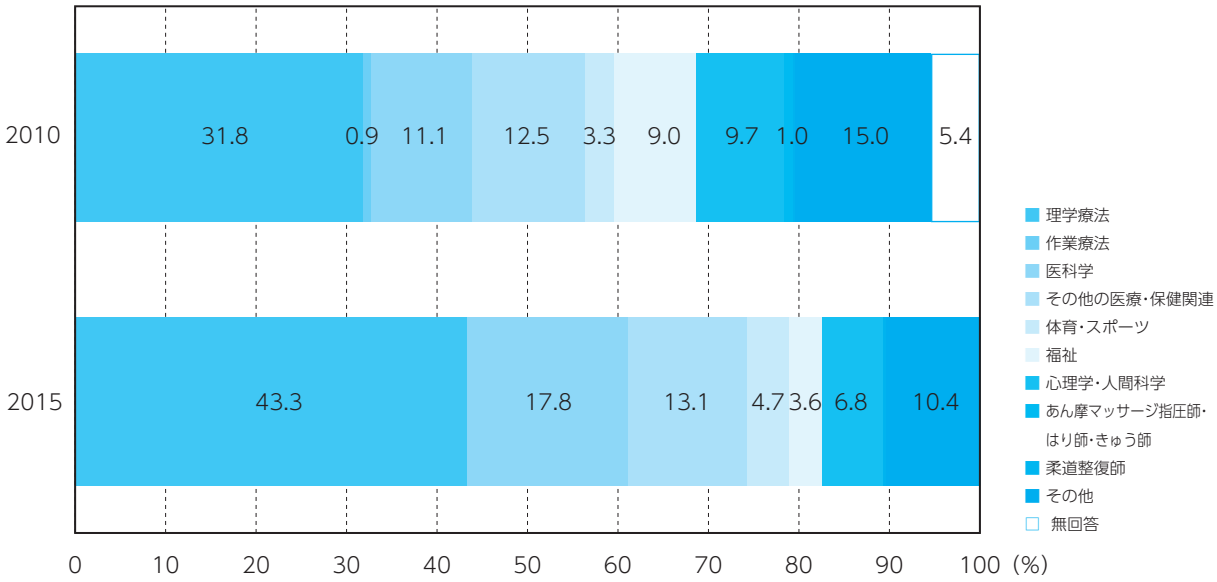
2015 年は 2010 年と比較して、大学院修士課程、博士課程に在学中のものが増加しており、専攻する専門領域も理学療法の割合が増加している。

在学理由



注：2010 年：n=578、2015 年：n=337
注：2010 年調査時は、質問紙調査のため、未記入の回答を「無回答」としたが、2015 年調査時は、WEB 調査のため、「無回答」は存在しない
資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2010 年・2015 年度実施）

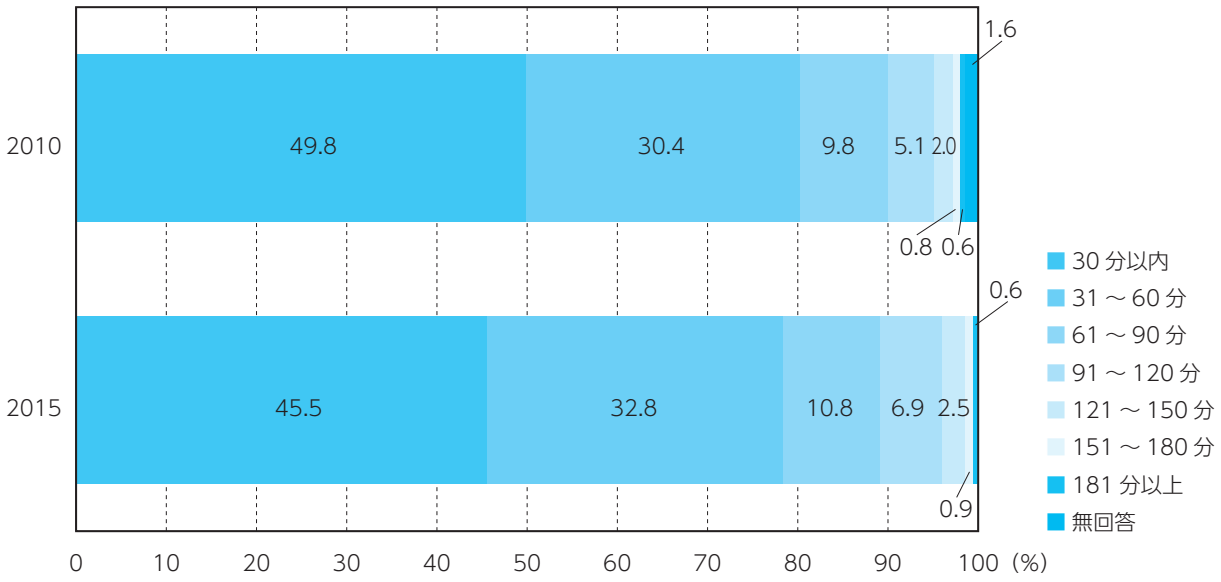
在学中の学校における専攻領域



注：2010 年：n=578、2015 年：n=337
注：2010 年調査時は、質問紙調査のため、未記入の回答を「無回答」としたが、2015 年調査時は、WEB 調査のため、「無回答」は存在しない
資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2010 年・2015 年度実施）

3 労働背景

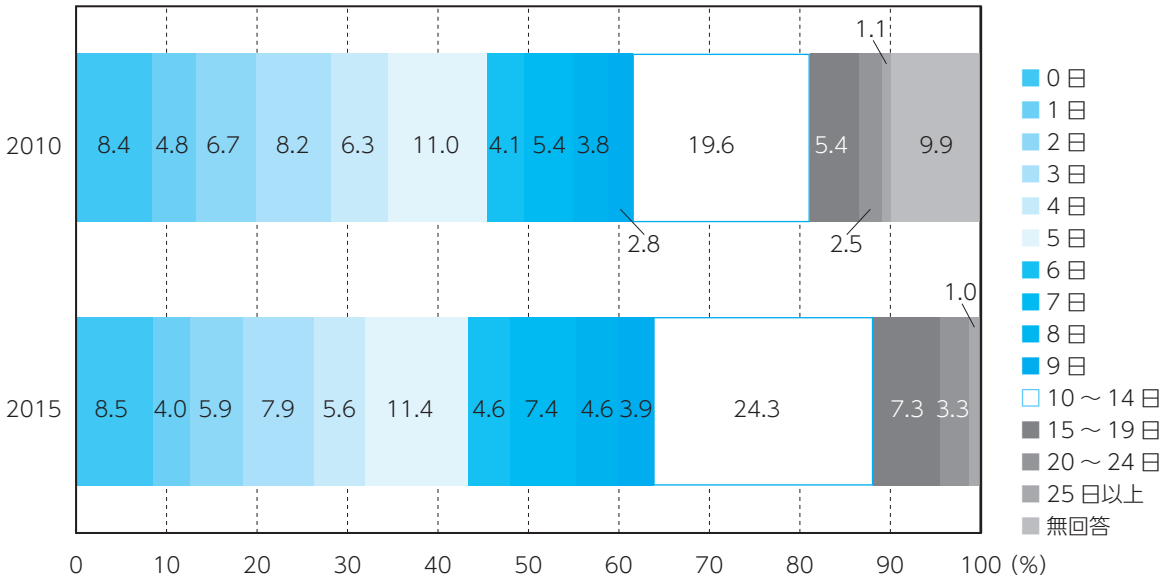
1 通勤時間（往復）



注：2010年：n=11,900、2015年：n=5,541
注：2010年調査時は、質問紙調査のため、未記入の回答を「無回答」としたが、2015年調査時は、WEB調査のため、「無回答」は存在しない
資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2010年・2015年度実施）

通勤時間は30分以内、31～60分以内の順に多いが、若干減少している。61分以上に長い割合は2010年より若干増えている。

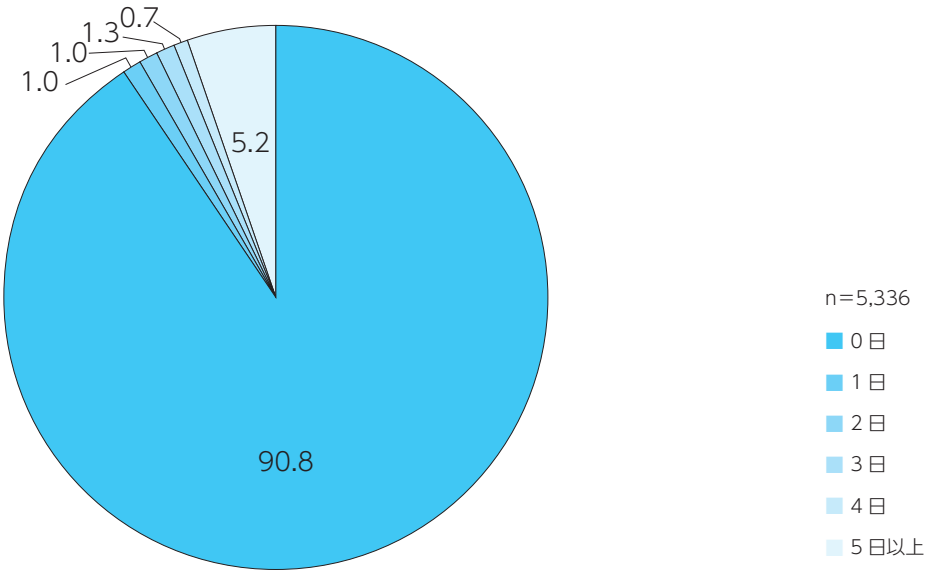
2 有給休暇の取得日数（1年平均）



注：2010年：n=11,900、2015年：n=5,336
注：2010年調査時は、質問紙調査のため、未記入の回答を「無回答」としたが、2015年調査時は、WEB調査のため、「無回答」は存在しない
資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2010年・2015年度実施）

有休休暇取得日数は10～14日が最も多く、次いで5日である。0～3日以内という回答も25%以上ある。

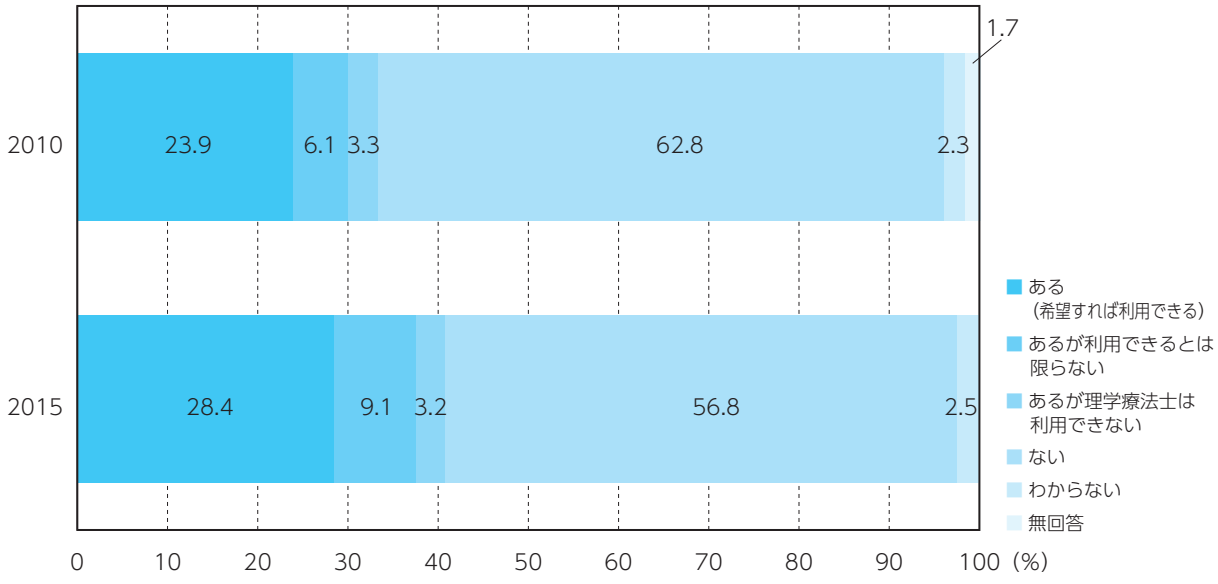
3　無給休暇の取得日数（1年平均）



注：無休休暇（例：生理休暇等）
資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2015年度実施）

大半のものが無給休暇を取得していない状況である。

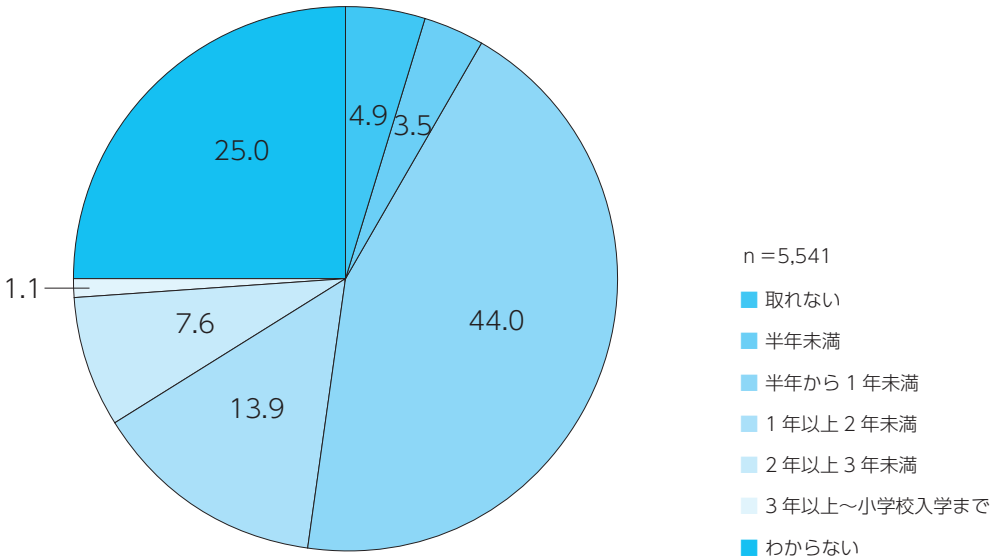
4　勤務施設内の保育施設の有無



注：2010年：n=11,900、2015年：n=5,541
注：2010年調査時は、質問紙調査のため、未記入の回答を「無回答」としたが、2015年調査時は、WEB調査のため、「無回答」は存在しない
資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2010年・2015年度実施）

理学療法士が利用できる保育施設がある施設は2010年と比較し増えている。

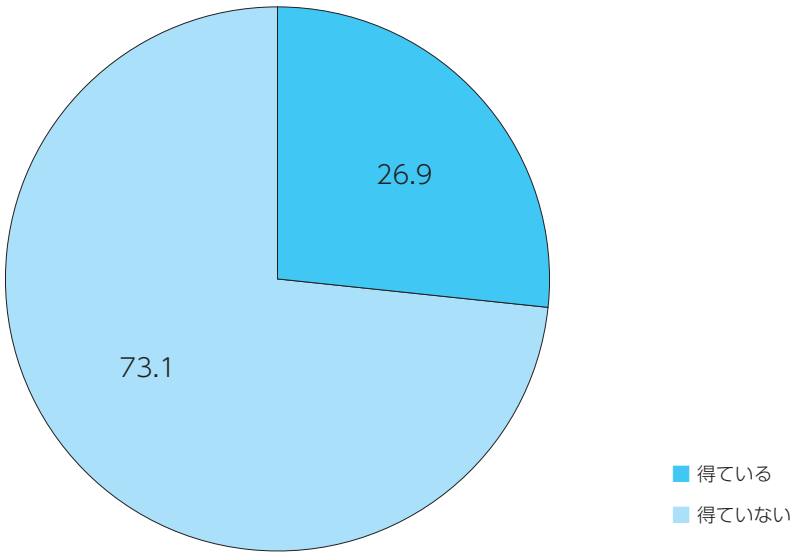
5　育児休業の取得可能期間



注：就業規則上定められた育児休業取得可能期間
資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2015年度実施）

育児休業の取得可能期間は半年～１年以内が最も多く、次いで１年～２年未満である。

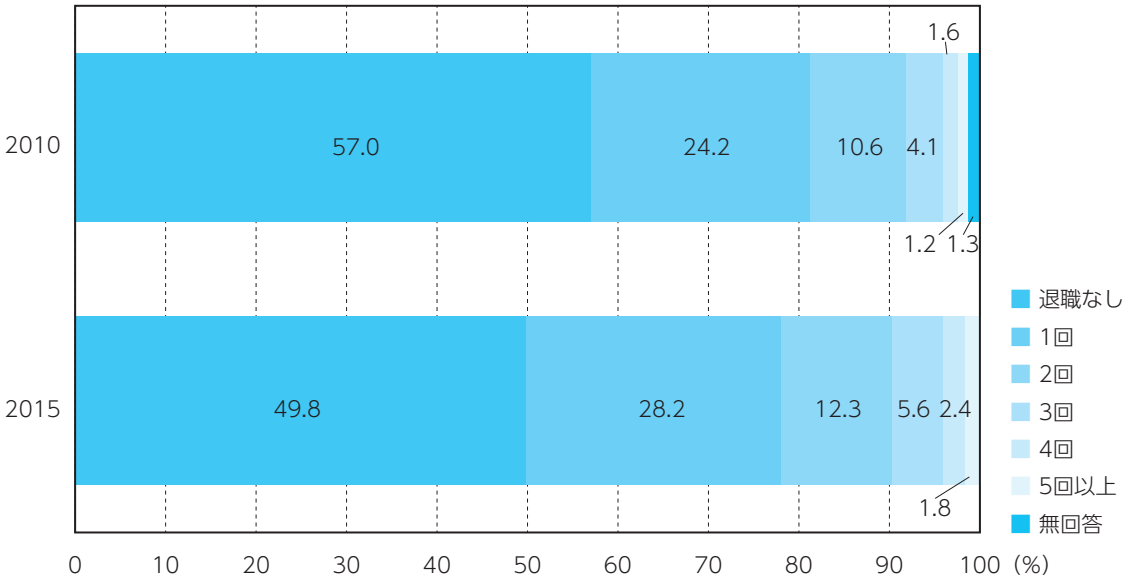
6　主たる職場以外からの給与・報酬の有無



資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2015年度実施）

主たる職場以外からの給与、報酬はない割合が多かったが、２割以上であると回答している。

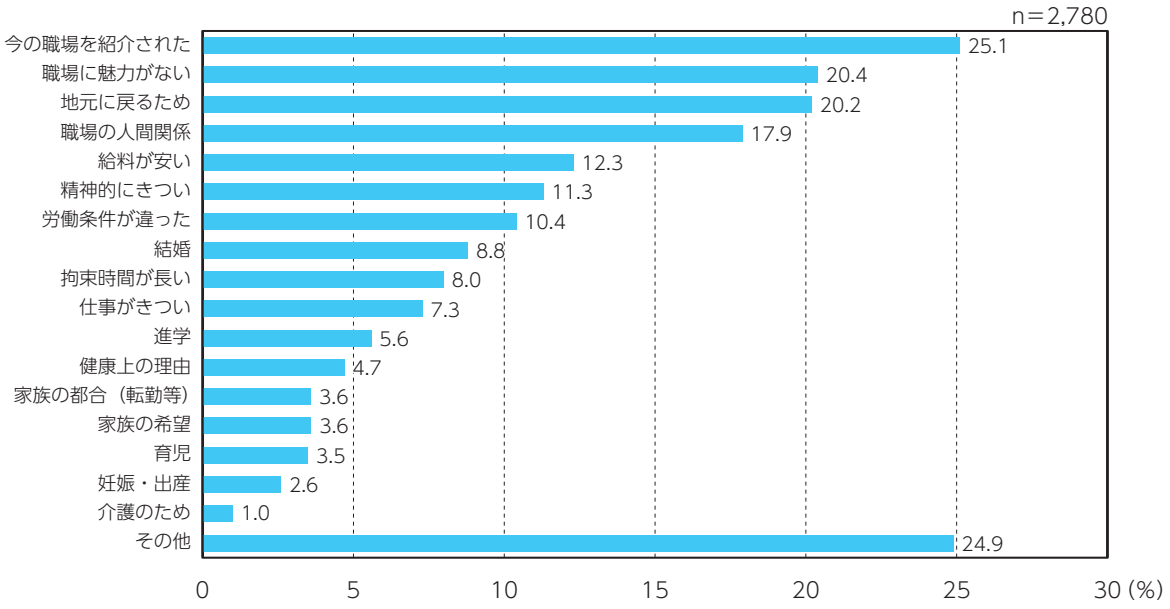
7　退職回数



注：2010 年：n=11,900、2015 年：n=5,541
注：自己都合による退職
注：2010 年調査時は、質問紙調査のため、未記入の回答を「無回答」としたが、2015 年調査時は、WEB 調査のため、「無回答」は存在しない
資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2010 年・2015 年度実施）

退職回数は０回が半数となり、１回、２回の割合が全体の４割を占めている。

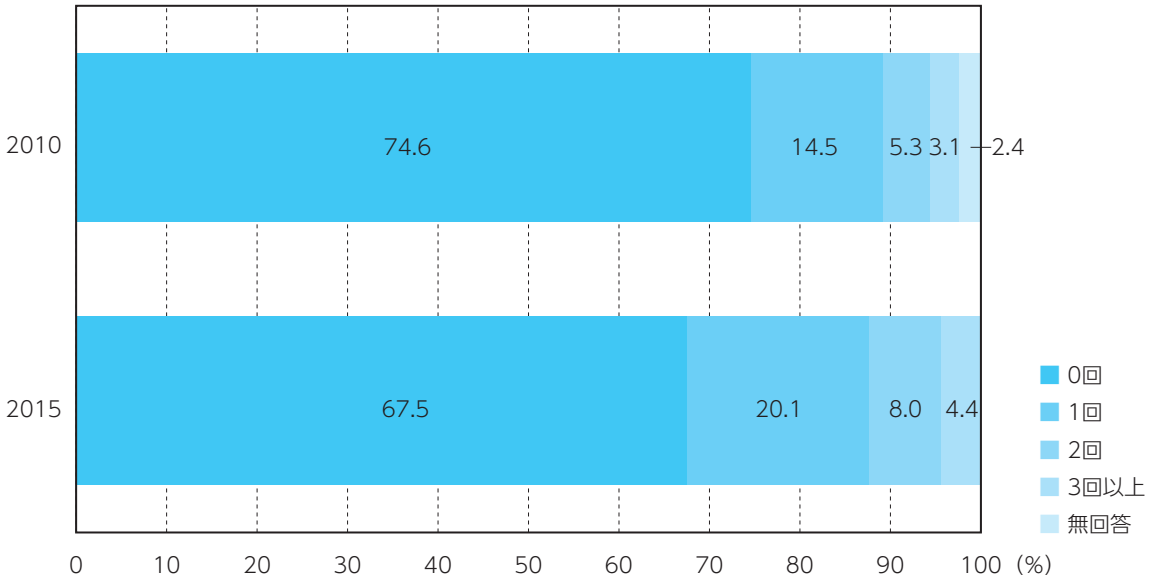
退職理由（複数回答）



注：退職理由は最も直近の退職時の理由
資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2015 年度実施）

退職理由は紹介、職場に魅力がない、地元に戻るための順に多く、次いで職場の労働環境、条件に関する理由が多くなっている。

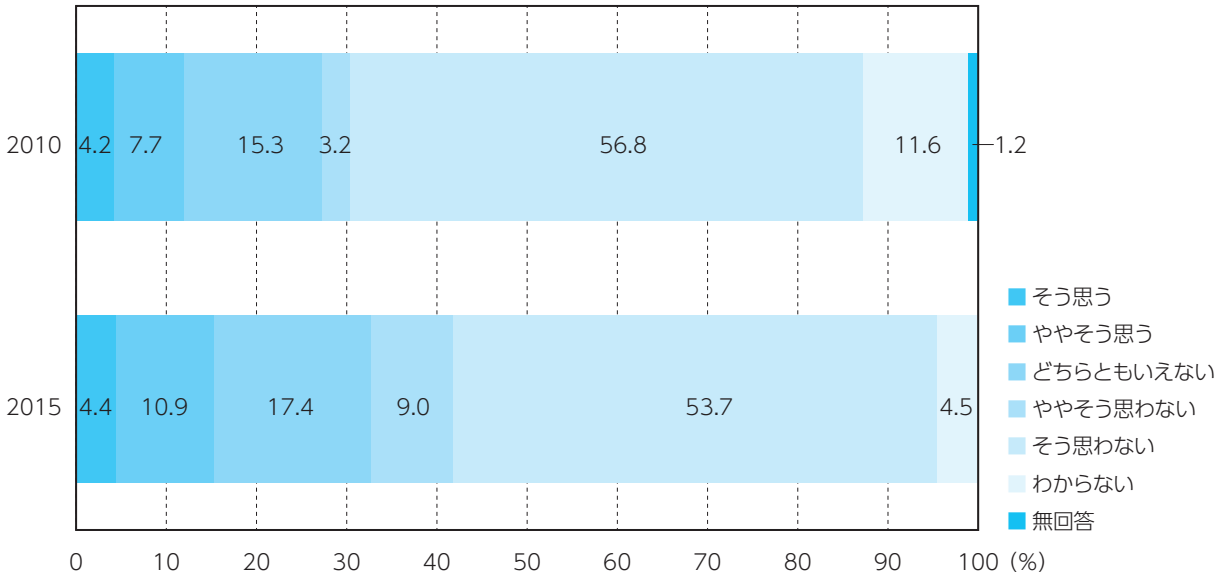
8　同一法人内での転勤（ローテーション）の有無



注：2010 年：n=11,900、2015 年：n=5,541
注：2010 年調査時は、質問紙調査のため、未記入の回答を「無回答」としたが、2015 年調査時は、WEB 調査のため、「無回答」は存在しない
資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2010 年・2015 年度実施）

転勤（ローテーション）なしが67.5%、1回が20.1%、2回以上は8.0%である。2010年と比較して転勤（ローテーション）が有ると回答した割合が増加している。

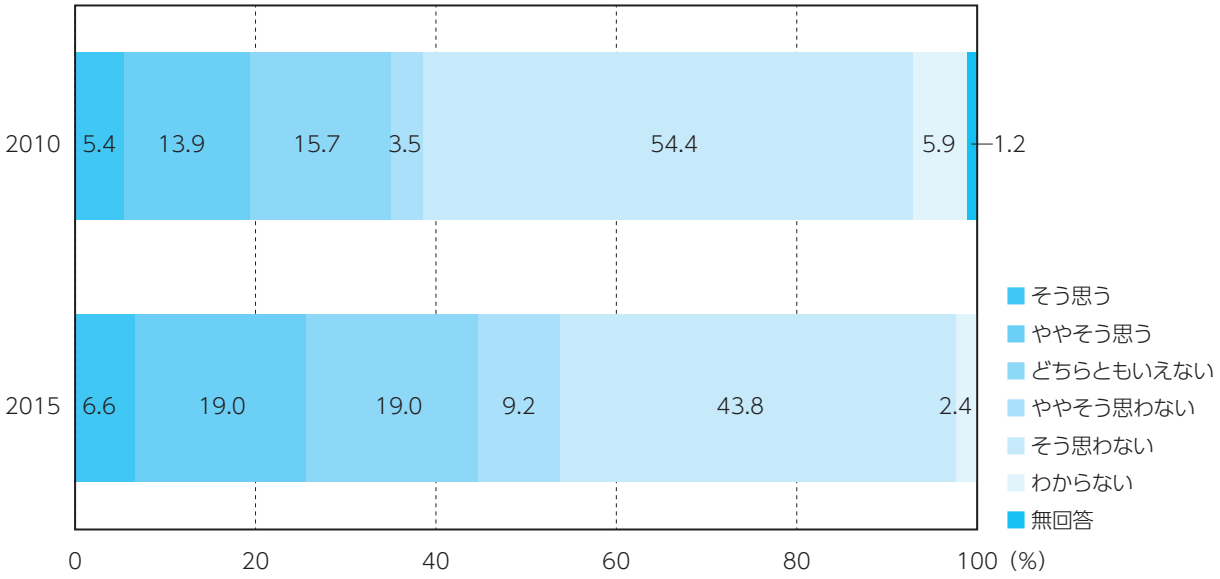
9　性別による昇給・昇格の差



注：2010 年：n=11,900、2015 年：n=5,541
注：2010 年調査時は、質問紙調査のため、未記入の回答を「無回答」としたが、2015 年調査時は、WEB 調査のため、「無回答」は存在しない
資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2010 年・2015 年度実施）

職場における性別による昇給・昇格の差を感じるものは約15%であった。

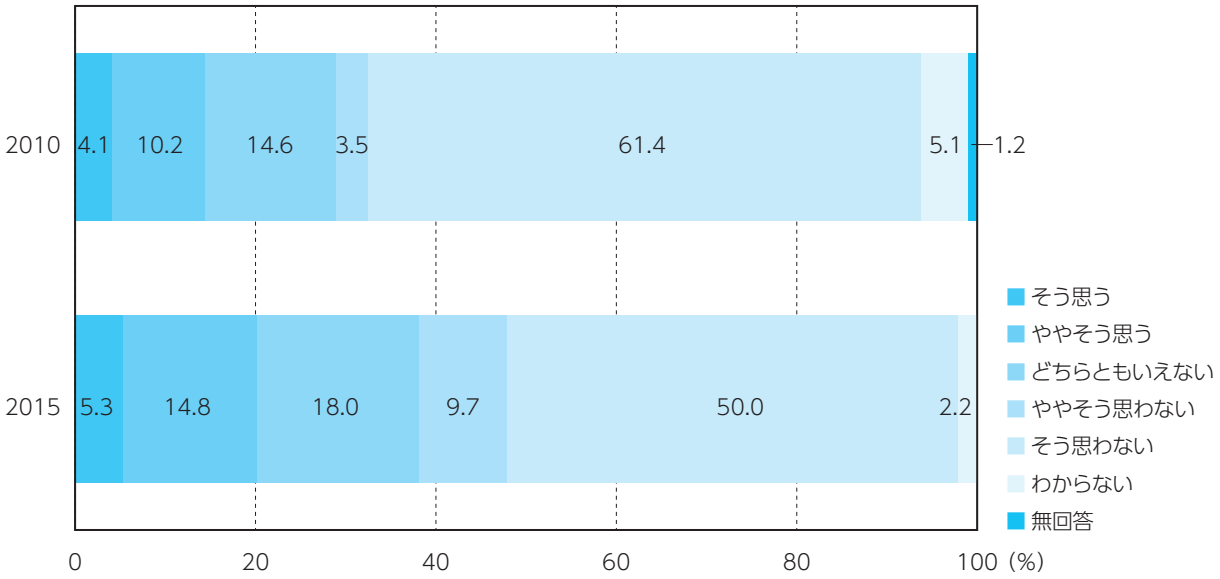
性別による仕事の質の差



注：2010 年：n=11,900、2015 年：n=5,541
注：2010 年調査時は、質問紙調査のため、未記入の回答を「無回答」としたが、2015 年調査時は、WEB 調査のため、「無回答」は存在しない
資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2010 年・2015 年度実施）

職場における性別による仕事の質の差を感じるものは、約 25％であった。

性別による仕事量の差

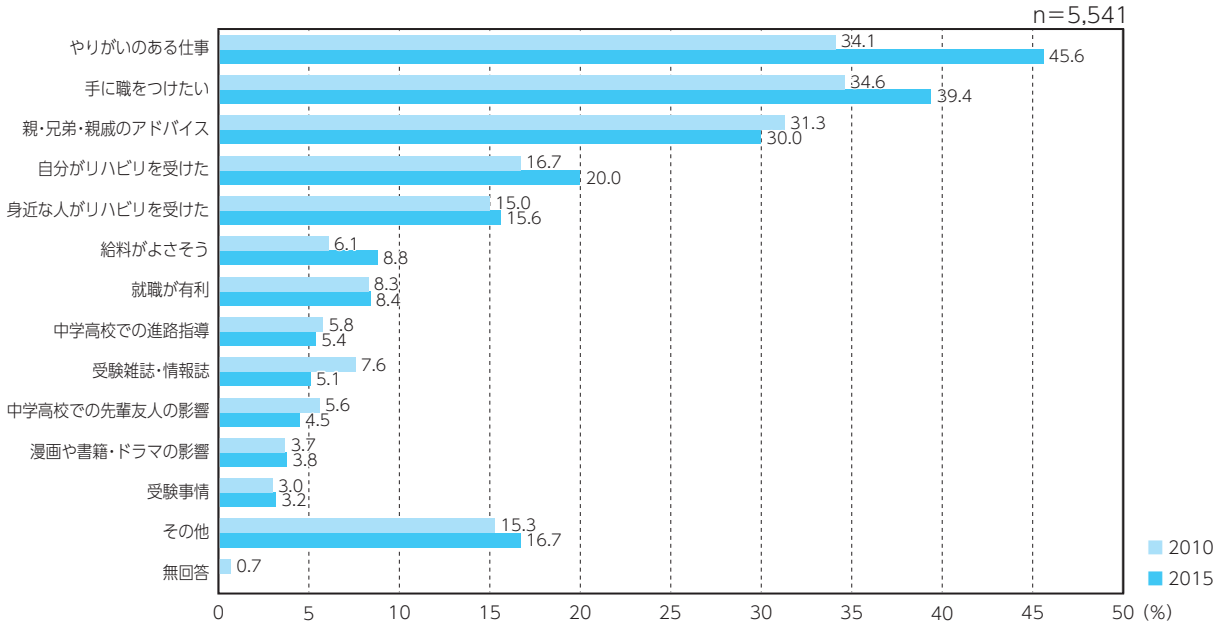


注：2010 年：n=11,900、2015 年：n=5,541
注：2010 年調査時は、質問紙調査のため、未記入の回答を「無回答」としたが、2015 年調査時は、WEB 調査のため、「無回答」は存在しない
資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2010 年・2015 年度実施）

性別による仕事量の差を感じるものは、約 20％であった。

第 3 節 理学療法士としての職業と生活

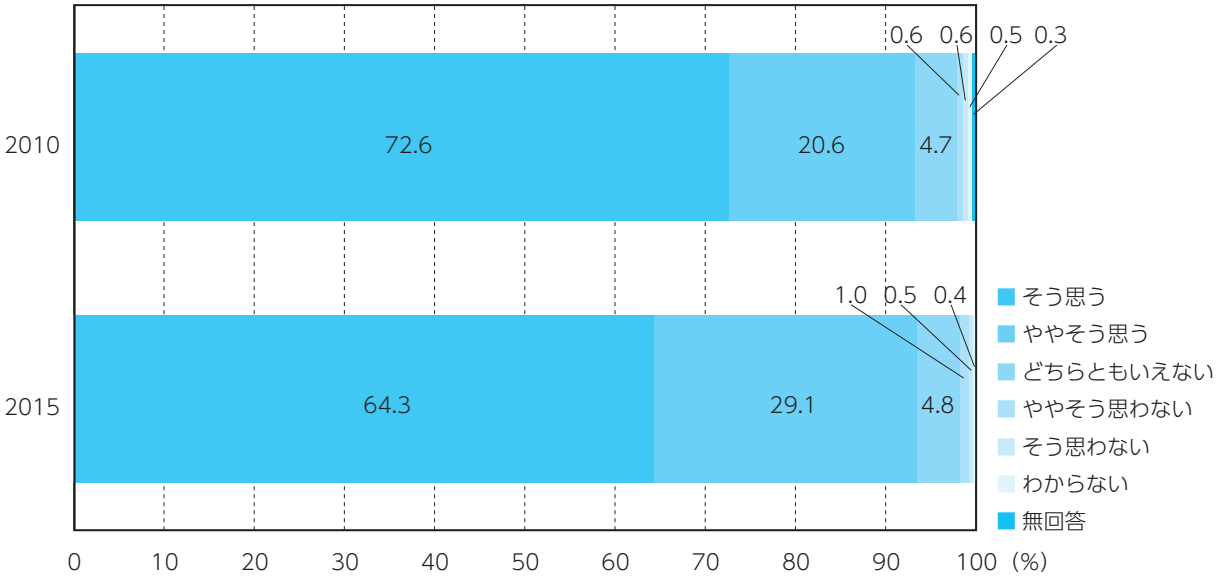
1 職業選択のきっかけ（複数回答）



注：2010 年調査時は、質問紙調査のため、未記入の回答を「無回答」としたが、2015 年調査時は、WEB 調査のため、「無回答」は存在しない
資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2010 年・2015 年度実施）

やりがいのある仕事、手に職をつけたいの順に多く、その割合は 2010 年よりも増えている。影響は自分自身や身近な方のリハビリ経験、アドバイスが大きい。

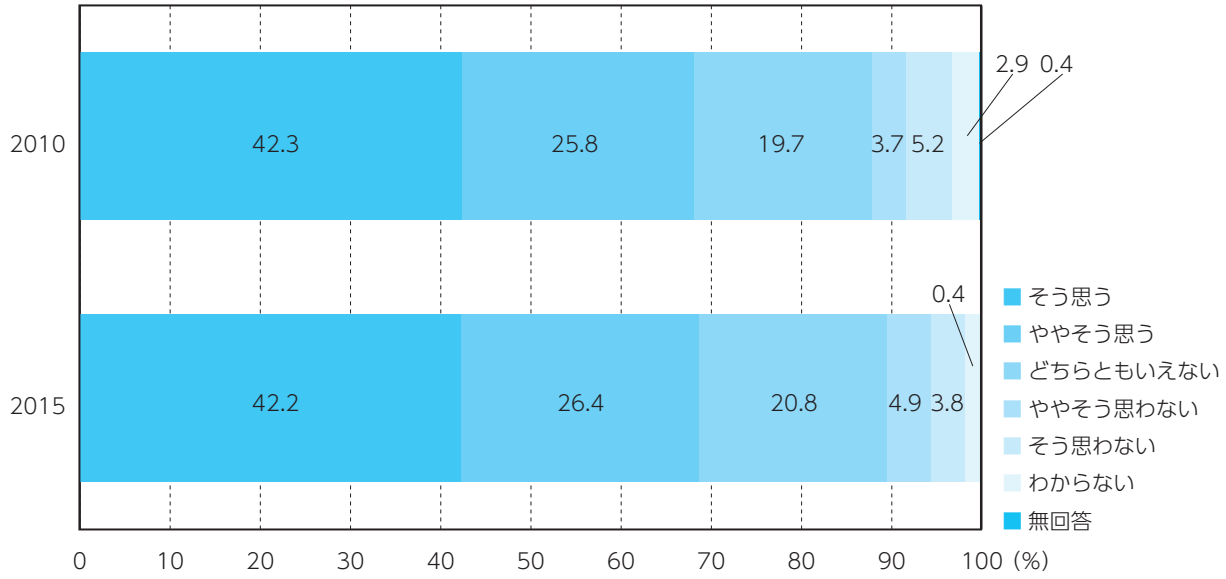
2 理学療法士はやりがいのある仕事かどうか



注：2010 年：n=11,900、2015 年：n=5,662
注：2010 年調査時は、質問紙調査のため、未記入の回答を「無回答」としたが、2015 年調査時は、WEB 調査のため、「無回答」は存在しない
資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2010 年・2015 年度実施）

やりがいのある仕事と回答したものは、2010 年より減少しており、そう思わない割合が増加している。

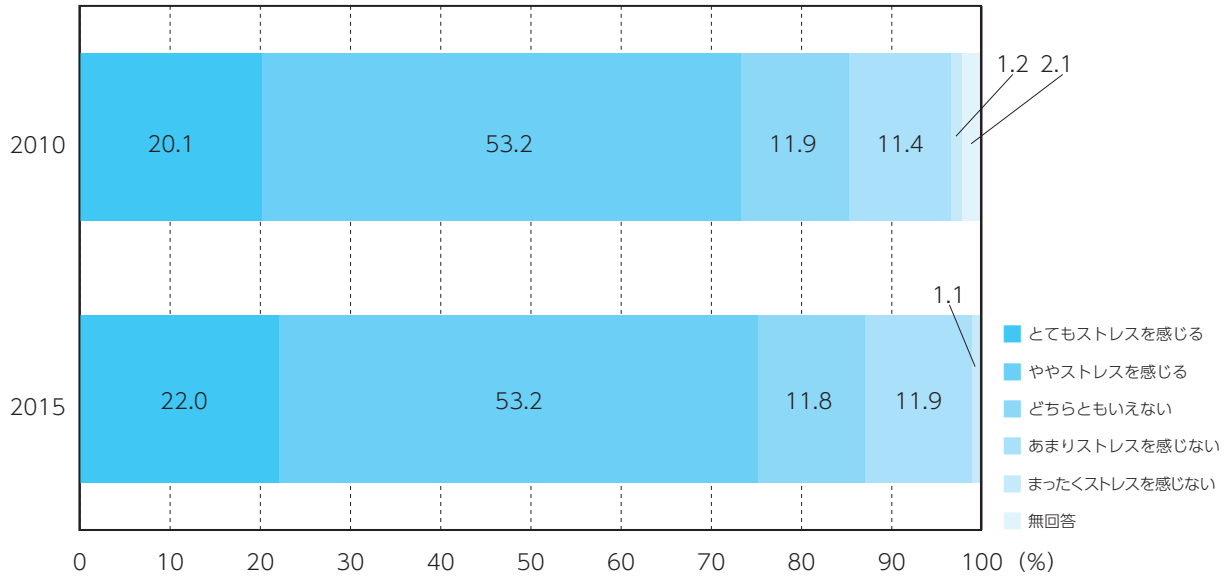
3　理学療法士を一生続けたいか



注：2010 年：n=11,900、2015 年：n=5,662
注：2010 年調査時は、質問紙調査のため、未記入の回答を「無回答」としたが、2015 年調査時は、WEB 調査のため、「無回答」は存在しない
資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2010 年・2015 年度実施）

そう思う、ややそう思う割合が7割近くあり、2010年と割合の変化はみられない。

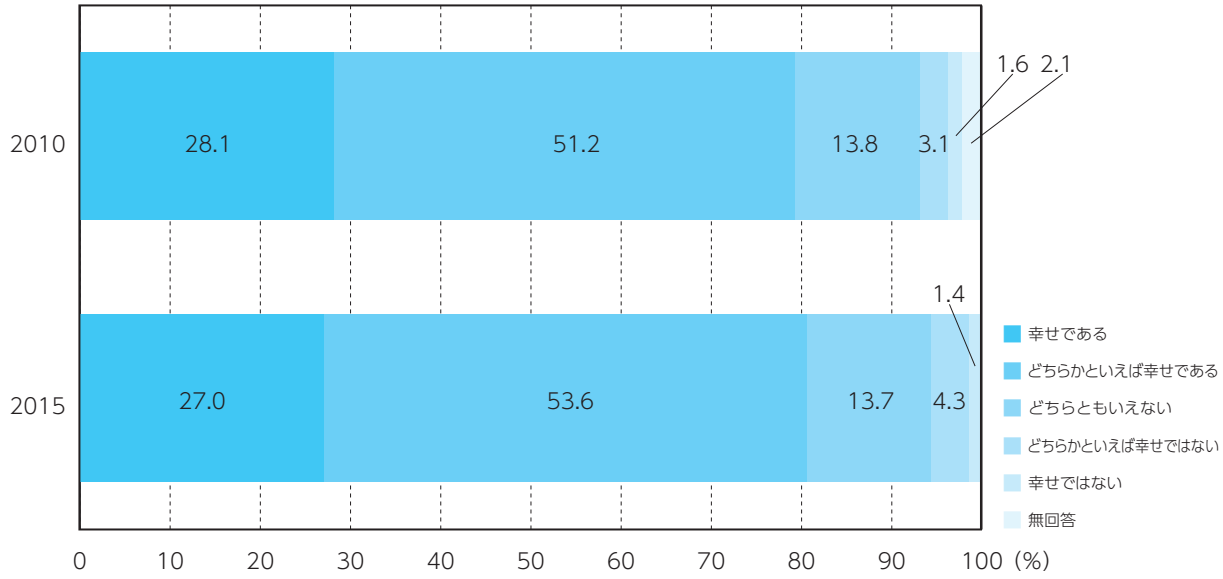
4　ストレスの有無



注：2010 年：n=11,900、2015 年：5,662
注：2010 年調査時は、質問紙調査のため、未記入の回答を「無回答」としたが、2015 年調査時は、WEB 調査のため、「無回答」は存在しない
資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2010 年・2015 年度実施）

約75%のものが、「とてもストレスを感じる」「ややストレスを感じる」と回答している。

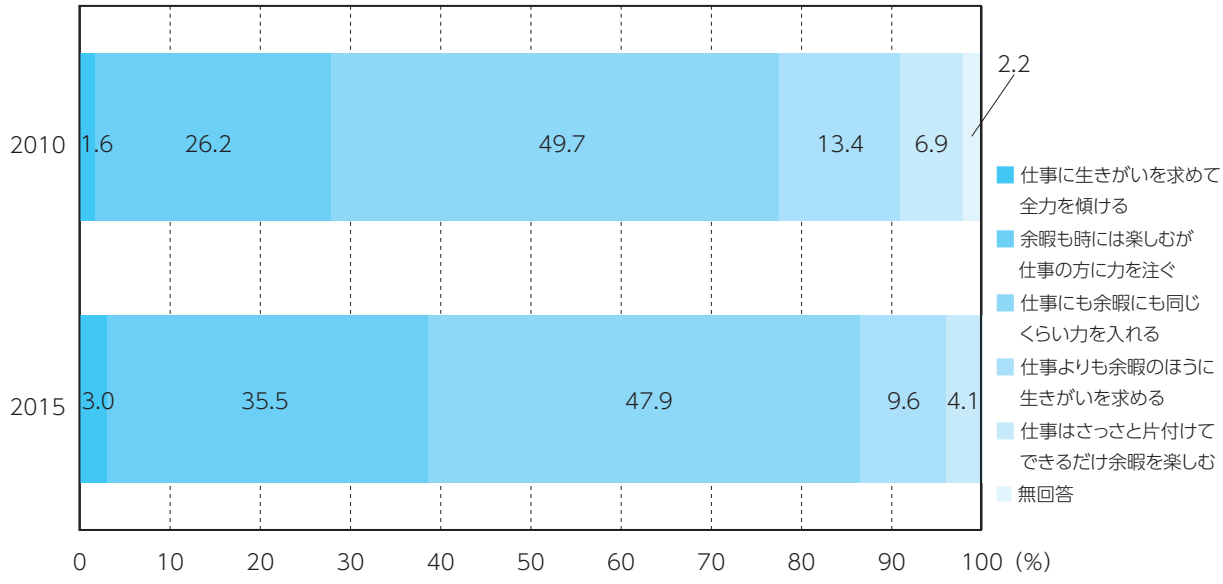
5　自分のことをどの程度幸せと感じているか



注：2010 年：n=11,900、2015 年：n=5,662
注：2010 年調査時は、質問紙調査のため、未記入の回答を「無回答」としたが、2015 年調査時は、WEB 調査のため、「無回答」は存在しない
資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2010 年・2015 年度実施）

幸せである、どちらかというと幸せである割合は 80% を越えているが、幸せでないと回答した割合も 5%ほどある。

6　仕事と余暇のあり方



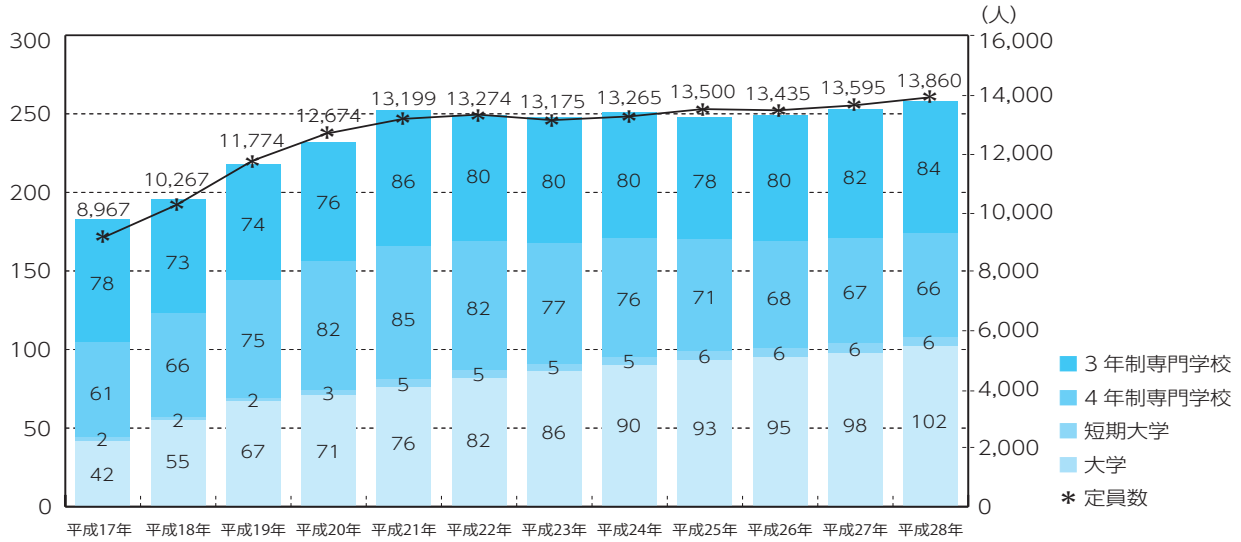
注：2010 年：n=11,900、2015 年：n=5,662
注：2010 年調査時は、質問紙調査のため、未記入の回答を「無回答」としたが、2015 年調査時は、WEB 調査のため、「無回答」は存在しない
資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2010 年・2015 年度実施）

仕事にも余暇にも同じくらい力を入れる、余暇も時には楽しむが仕事の方に力注ぐ割合の順に多く、いずれも 2010 年と比較して増加している。

第 4 節　理学療法士の教育

1　養成の実態

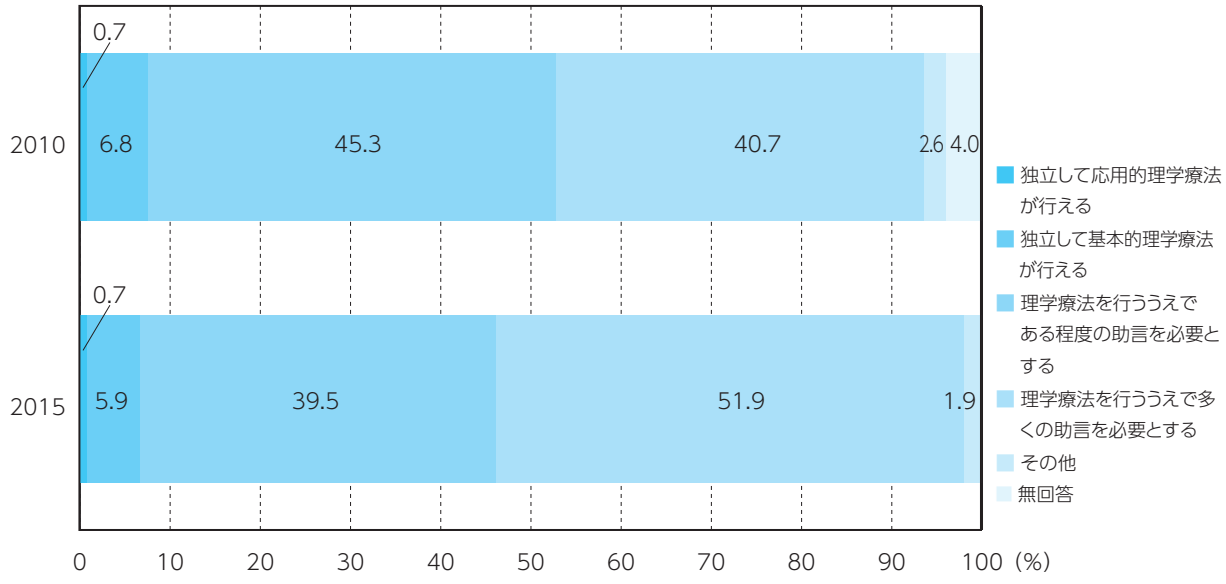
1　養成校数と入学定員数



資料：公益社団法人日本理学療法士協会　統計情報

養成校数と収容定員の推移を示し、平成 21 年に伸びが一段落するが、それ以降も収容定員は増えている。
近年、専門学校や短期大学からの大学への移行が目立つが、数字上は 4 年制専門学校が平成 21 年に 85 校から平成 28 年に 66 校に減った事と大学が 76 校から 102 校に増えた事で示される。
養成校数で大学、短大が占める割合は、平成 17 年度に 24%（183 校中 44 校）だったものが 41.9%（258 校中 108 校）となっている。

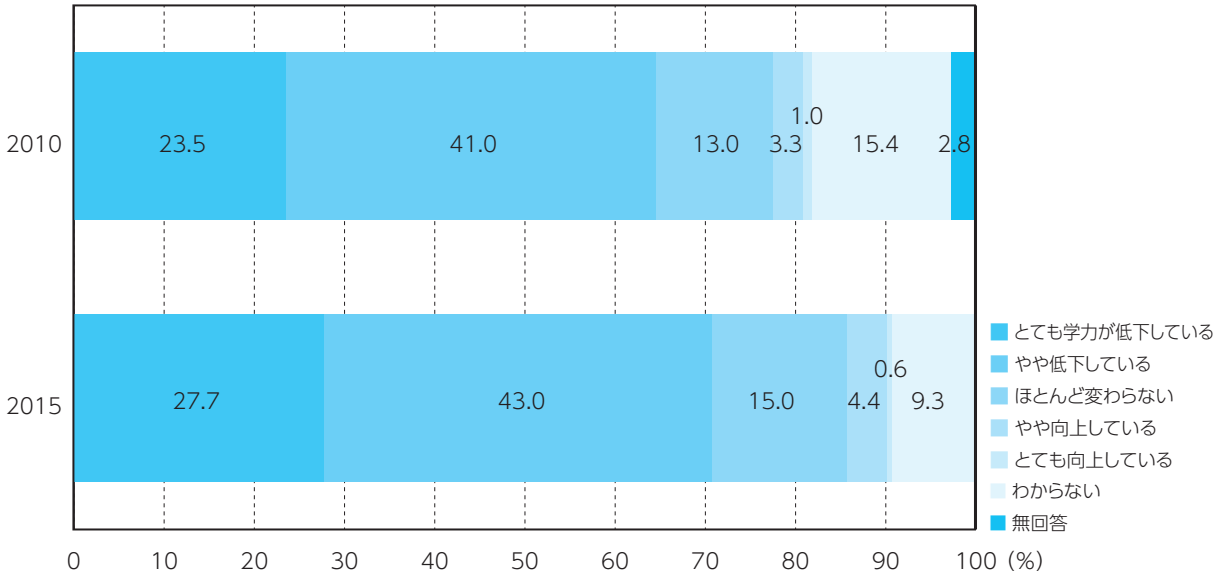
2　卒業直後の理学療法士の臨床能力をどの程度であると感じるか



注：2010 年：n=11,900、2015 年：n=5,662
注：卒業直後の理学療法士の臨床能力についての感じ方を調査
注：2010 年調査時は、質問紙調査のため、未記入の回答を「無回答」としたが、2015 年調査時は、WEB 調査のため、「無回答」は存在しない
資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2010 年・2015 年度実施）

独立して理学療法が行えると回答したものは、応用的、基本的合わせて 7%前後であった。2010 年と比較し 2015 年は、顕著に何らかの助言を要すると回答したものが増えている。

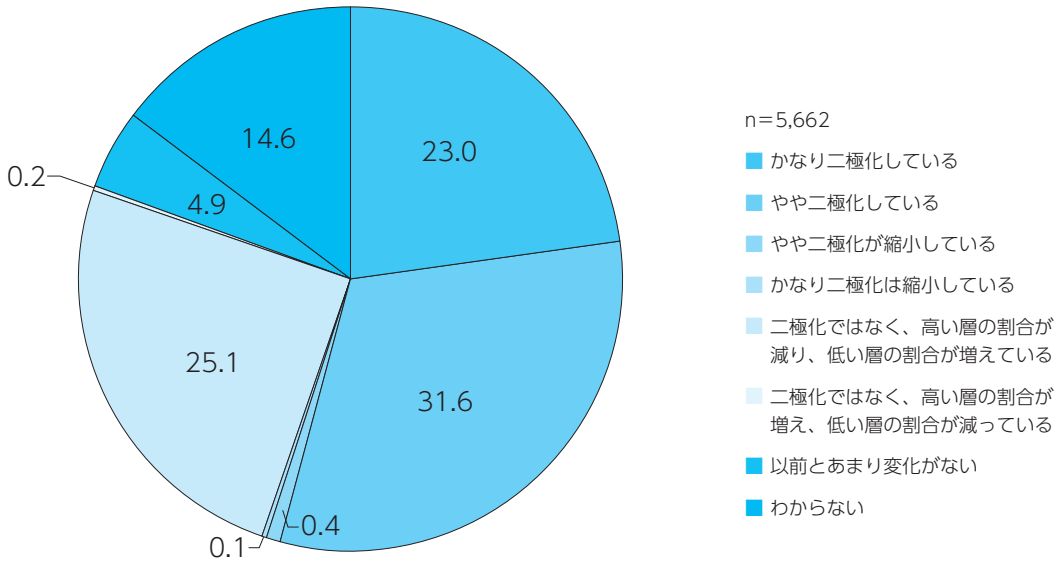
3　理学療法学生の学力についてどのように感じるか



注：2010 年：n=11,900、2015 年：n=5,662
注：卒業直後の理学療法士の臨床能力についての感じ方を調査
注：2010 年調査時は、質問紙調査のため、未記入の回答を「無回答」としたが、2015 年調査時は、WEB 調査のため、「無回答」は存在しない
資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2010 年・2015 年度実施）

低下していると回答したものは64%から70.7%へ増加している。

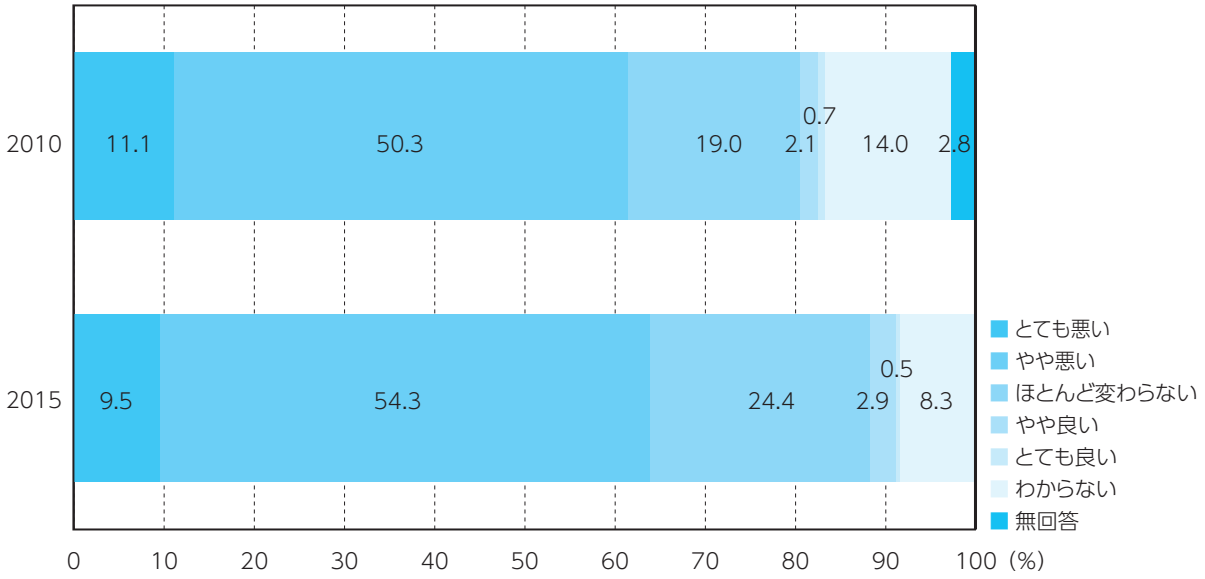
4　理学療法学生の学力の二極化についてどのように感じるか



資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2015年度実施）

二極化していると考えるものが54.6%、高い層の割合が減り低い層の割合が増えていると考えるものが25.1%、あわせて約8割のものが、学力が低下していると感じている。

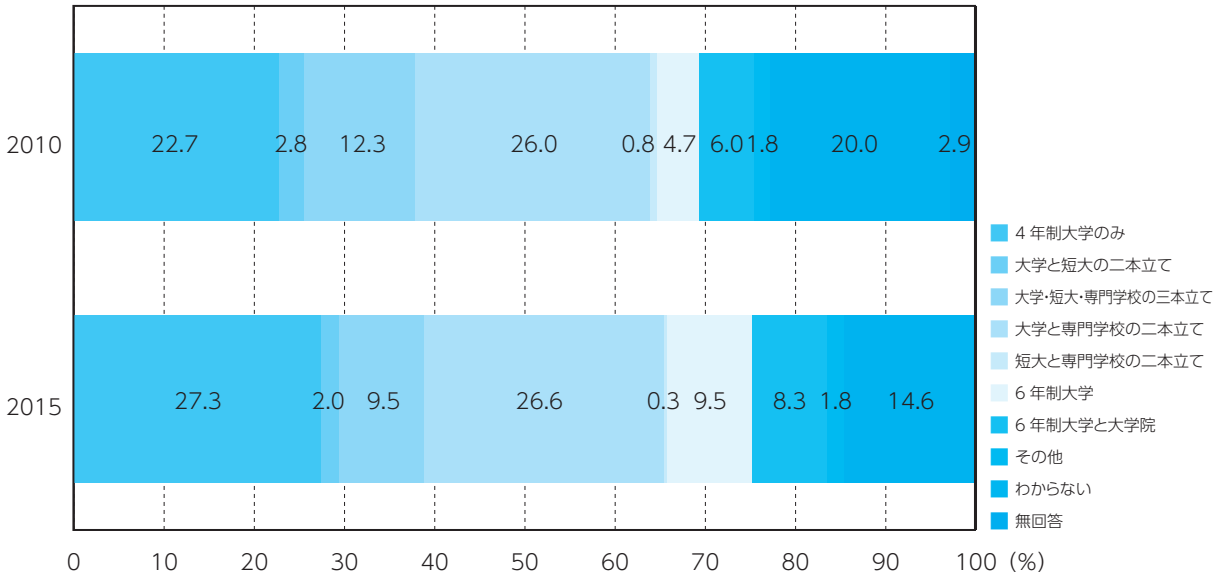
5　理学療法学生の社会人としての態度面についてどのように感じるか



注：2010 年：n=11,900、2015 年：n=5,662
注：2010 年調査時は、質問紙調査のため、未記入の回答を「無回答」としたが、2015 年調査時は、WEB 調査のため、「無回答」は存在しない
資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2010 年・2015 年度実施）

2010年と2015年共に、「とても悪い」「やや悪い」の合計が60%を超えている。

6　将来の理学療法士養成校制度のあり方をどのように考えるか

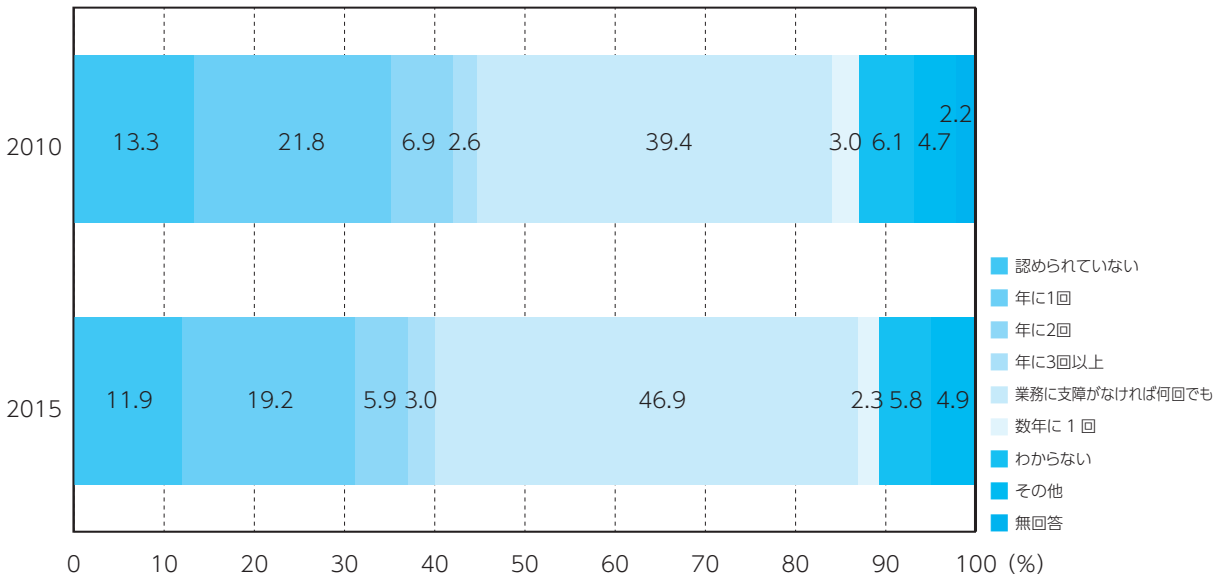


注：2010 年：n=11,900、2015 年：n=5,662
注：2010 年調査時は、質問紙調査のため、未記入の回答を「無回答」としたが、2015 年調査時は、WEB 調査のため、「無回答」は存在しない
資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2010 年・2015 年度実施）

2010年と比較して大学のみが22.7%から27.3%と５%増加している。
また6年制大学を望むものも4.7%から9.5%とほぼ倍増している。理学療法士の高学歴化を考えるものが増加している。

2　学術活動への参加

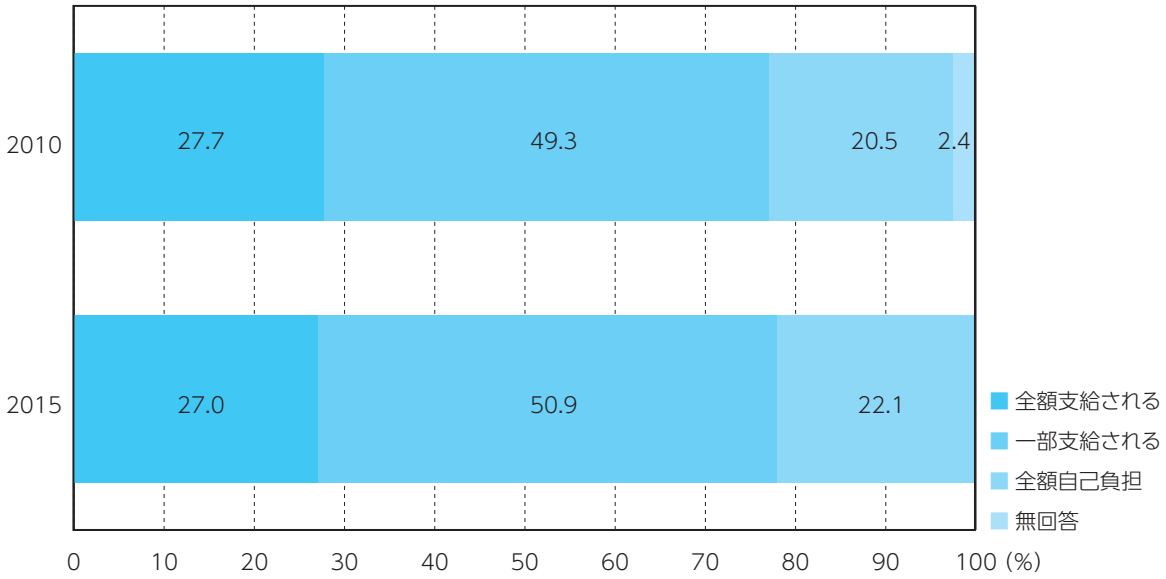
1　学会・研修会参加に対する出張・公休の許可有無



注：2010 年：n=11,900、2015 年：n=5,541
資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2010 年・2015 年度実施）

学会研修会に対する出張・公休は業務に支障がなければ何回でも認められている割合が最も多く、次いで年に１回が多くみられた。認められていない職場が10%以上存在する。

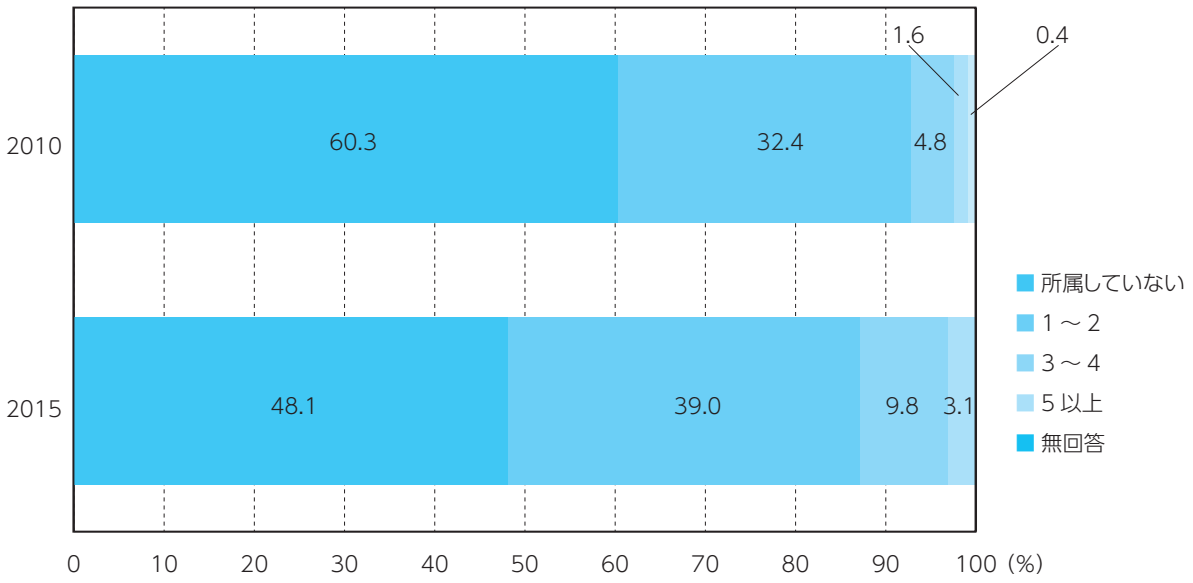
2　学会・研修会参加に対する職場からの旅費・参加費等の負担有無



注：2010 年：n=11,900、2015 年：n=5,541
資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2010 年・2015 年度実施）

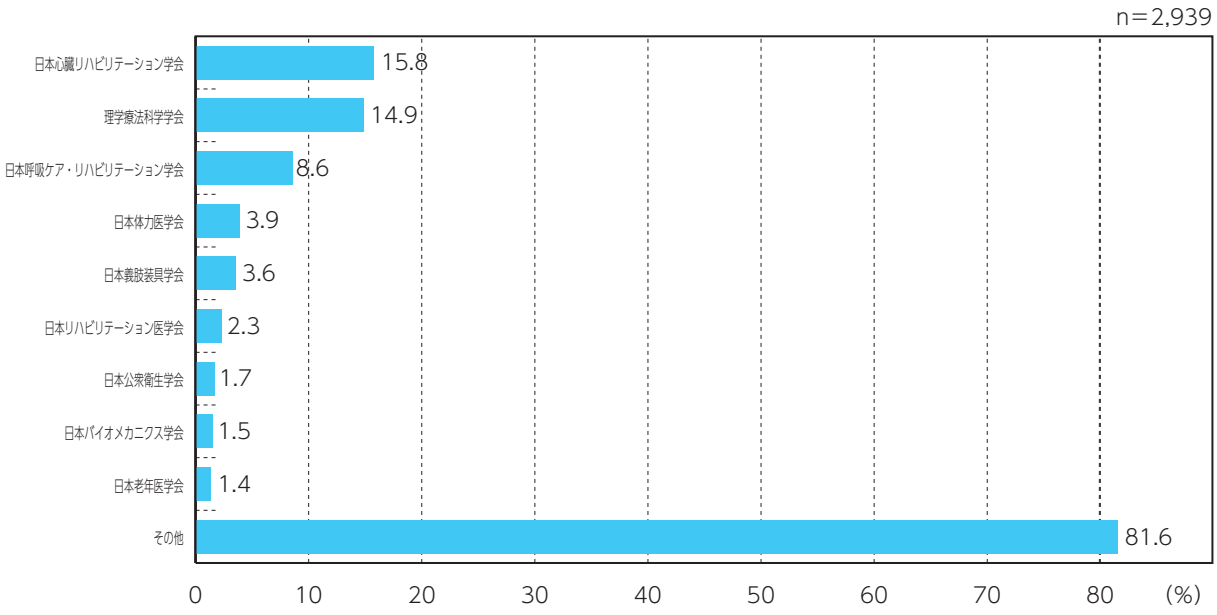
学会・研修会に対する職場からの旅費・参加費等の費用負担は一部支給され割合が最も多く、次いで全額支給されるである。

3　本会以外の団体への所属有無



注：2010 年：n＝11,900、2015 年：n＝5,662
資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2010 年・2015 年度実施）

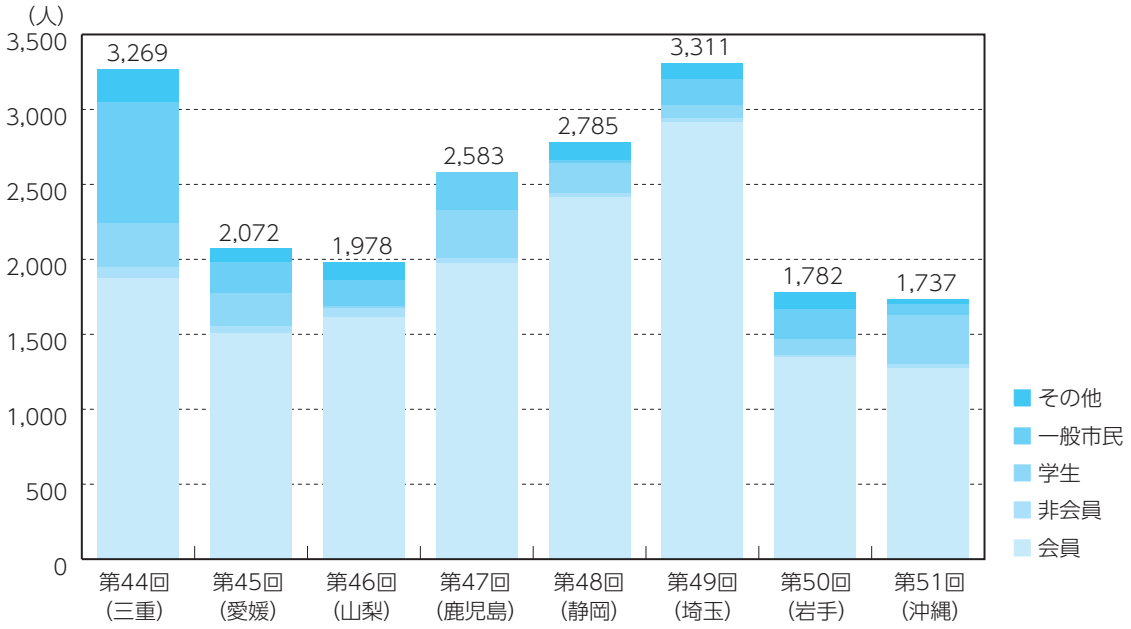
本会以外に所属する団体（複数回答）



資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査結果（2015 年度実施）

本会以外で所属する団体は、日本心臓リハビリテーション学会、理学療法科学学会、日本呼吸ケア・リハビリテーション学会の順で割合が多い。

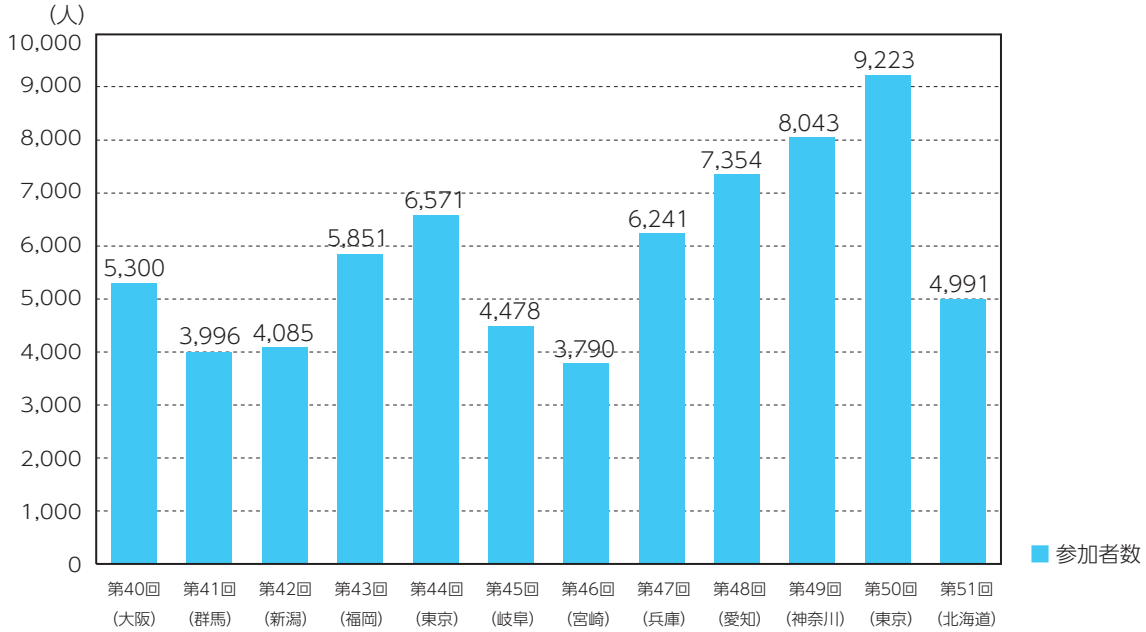
4　日本理学療法士協会 全国学術研修大会の参加者数



資料：公益社団法人日本理学療法士協会　学術大会報告書

ここ近々の2回は1,700人強の参加者であるが、最高は第49回大会（埼玉）の3,311人である。また第44回大会（三重）も3,269人と続いている。

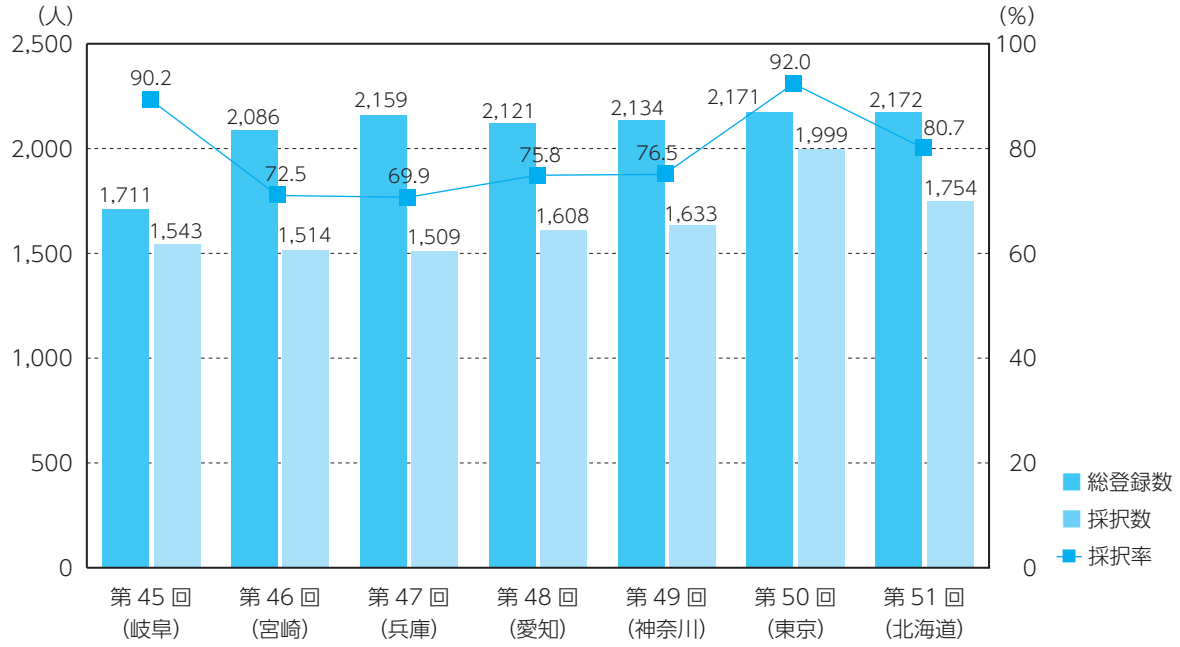
5　日本理学療法学術大会の参加者数



資料：公益社団法人日本理学療法士協会　統計資料、学術大会報告書

開催場所による参加者数の差が大きいことがわかる。

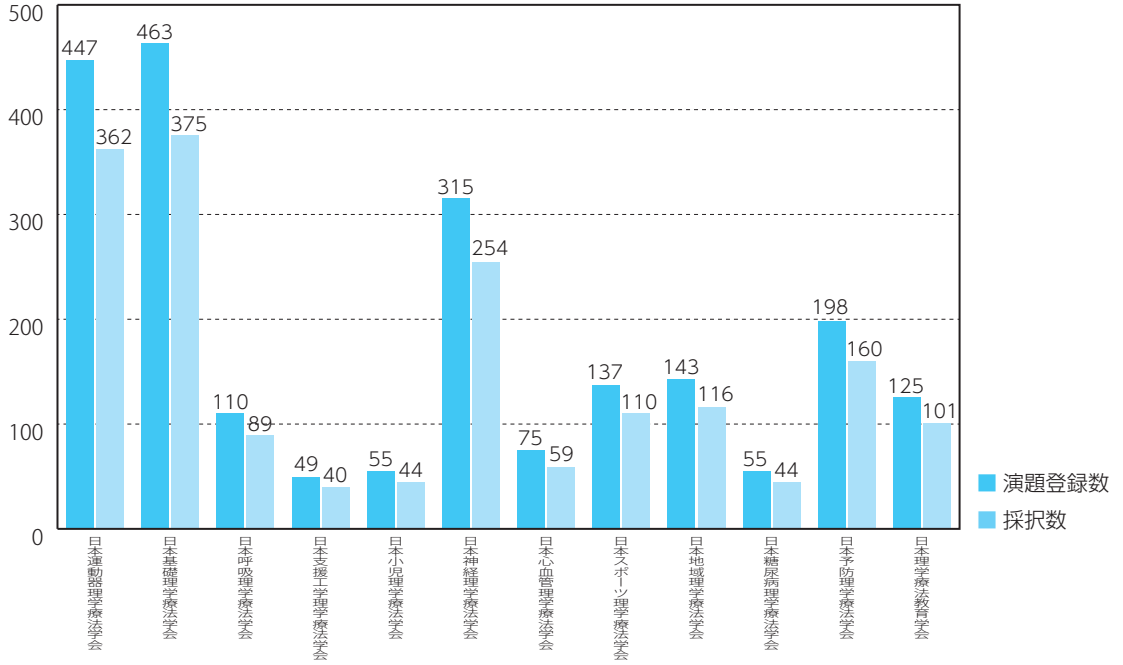
5　日本理学療法学術大会の登録演題数、採択数、採択率



資料：公益社団法人日本理学療法士協会　統計資料、学術大会報告書

2,100 前後の演題登録で推移している。一方、採択率は 8 割前後で推移している。

第 51 回日本理学療法学術大会の登録演題数、採択数



資料：公益社団法人日本理学療法士協会　学術大会報告書

運動器および基礎の 2 分野が占める割合が大きく、次に神経、予防、教育と続く。

理学療法白書 2016

第2部
資　料　編

公益社団法人 日本理学療法士協会

第１節　理学療法士に関する基礎資料

１）理学療法関連承認施設数

	平成13年7月 (2001)	平成14年7月 (2002)	平成15年7月 (2003)	平成16年7月 (2004)	平成17年7月 (2005)
総合リハビリテーションA	514	605	719	812	929
B		23	46	68	88
理学療法 (㈱)	3,599	4,397	4,474	4,550	4,636
理学療法 (㈲)	749	1,314	1,419	1,500	1,555
心疾患リハビリテーション料	100	114	129	165	215
難病患者リハビリテーション料	15	20	19	19	20
回復期リハビリテーション病棟　一般病棟	115	93	195	255	281
療養病棟		178	274	401	446

数は病院数診療所数を合算。
総合リハビリテーションは平成13年までは理学療法 (特) と表記。
回復期リハビリテーション病棟は平成14年から表示変更
平成13年7月データは日本医事新報No.4056 (2000年1月19日) p.93から引用
平成14年以降のデータは日本医事新報No.4230 (2005年5月21日) p.76、No.4232 (2005年6月4日) p.73,74
No.4289 (2006年7月8日) p.28、No.4290 (2006年7月15日) p.29,30から引用

	平成18年7月 (2006)	平成19年7月 (2007)	平成20年7月 (2008)	平成21年7月 (2009)	平成22年 (2010)	平成23年 (2011)	平成24年 (2012)	平成25年 (2013)	平成26年 (2014)	平成27年 (2015)
心大血管疾患リハビリテーション料 Ⅰ	161	218	291	356	475	576	626	709	860	974
Ⅱ	127	139	127	120	96	87	101	115	126	128
脳血管疾患リハビリテーション料 Ⅰ	1,544	1,868	2,041	2,159	2,273	2,358	2,454	2,541	2,627	2,696
Ⅱ	4,844	4,765	1,319	1,498	1,701	1,788	1,846	1,863	1,893	1,946
Ⅲ			3,322	3,143	3013	2930	2901	2911	2,914	2,904
運動器リハビリテーション料 Ⅰ	6,902	7,569	8,029	8,195	3,977	4,128	4,333	4,428	5,063	5,261
Ⅱ	1,812	1,706	1,620	1,610	5,156	4,932	4,850	4,859	4,468	4,491
Ⅲ					1,498	1,508	1,444	1,449	1,432	1,432
呼吸器リハビリテーション料 Ⅰ	2,504	2,648	2,824	2,944	3,090	3,167	3,246	3,309	3,474	3,582
Ⅱ	1,191	1,165	1,132	1,091	1,058	966	904	873	860	838
難病患者リハビリテーション料	103	96	92	84	81	76	71	72	66	63
障害児（者）リハビリテーション料	289	271	314	316	327	334	338	343	347	357
がん患者リハビリテーション料	-	-	-	-	11	223	448	582	815	1,302
認知症患者リハビリテーション料	-	-	-	-	-	-	-	-	83	108
回復期リハビリテーション病棟１ 一般病棟							97	203	-	-
療養病棟							151	326	-	-
回復期リハビリテーション病棟２ 一般病棟			115	430	480	490	428	342	-	-
療養病棟			140	755	696	731	628	486	-	-
回復期リハビリテーション病棟３ 一般病棟	326	366	311	78	72	67	68	79	-	-
療養病棟	470	598	561	218	102	108	94	73	-	-

医事新報 No.4322（2007年2月24日）p30、No.4323（2007年3月3日）p31、No.4509（2010年9月25日）p24、
No.4510（2010年10月2日）p25から引用
平成22年以降のデータは厚生労働省 中央社会保険医療協議会資料より引用
回復期リハビリテーション病棟は平成20年より新規入院患者のうち重症の患者の割合等に応じて１及び２に区分
回復期リハビリテーション病棟は平成24年より新規入院患者のうち重症患者の割合、在宅復帰率等に応じて１～３に区分
認知症患者リハビリテーション料は平成26年４月より新設

2）一般病院に従事する理学療法士数の年次推移

年　度	昭和50年 (1975)	昭和55年 (1980)	昭和60年 (1985)	平成2年 (1990)	平成7年 (1995)	平成12年 (2000)	平成21年 (2009)	平成22年 (2010)	平成25年 (2013)	平成26年 (2014)
開設者別（総数）	1,827	2,552	4,612	8,545	12,211	19,025	42,664	47,385	61,720	66,154
国（厚生労働省）	95	189	271	364	391	472	76	43	47	48
国（その他）	228	284	349	401	455	473	1,432	1,591	1,981	2,812
都道府県	303	388	546	722	907	1,050	1,194	1,145	1,292	1,299
市町村	223	344	558	980	1,447	1,956	3,055	3,254	3,977	4,156
地方独立行政法人	－	－	－	－	－	－	－	－	597	822
その他の公的医療機関	156	199	366	670	927	1,255	2,545	2,833	3,190	3,399
社会保険関係団体	85	108	169	288	373	495	850	897	1,029	432
公益法人	93	118	261	442	632	1,009	2,481	2,816	3,086	2,576
医療法人	244	365	1,081	2,863	4,879	9,788	27,078	30,586	40,294	43,232
学校法人・他	202	307	534	861	1,140	1,576	3,024	3,281	5,179	6,333
会社	35	36	72	124	179	207	369	393	502	523
個人	162	224	410	832	875	744	559	545	546	515
医育機関（再掲）	176	261	391	536	671		1,300	1,390	1,743	1,866

（注 1）平成 14 年度からは常勤換算値
資料：医療施設調査病院報告（総数は Web ページ、その他は冊子体）

3）社会福祉施設に従事する理学療法士数の年次推移

年　度		昭和50年 (1975)	昭和55年 (1980)	昭和60年 (1985)	平成2年 (1990)	平成7年 (1995)	平成12年 (2000)	平成21年 (2009)	平成22年 (2010)	平成23年 (2011)	平成24年 (2012)	平成25年 (2013)	平成26年 (2014)	平成27年 (2015)
総数	総数	764	1,154	1,617	2,608	2,775	1,965	1,529	1,481	1,670	1,571	1,682	1,759	1,859
	専任	602	830	1,074	1,416	1,258								
	兼任	162	324	543	1,192	1,517								
保護施設	総数	1	2	0	9	14	13	2	2	3	3	4	3	3
	専任	1	2	0	0	0								
	兼任	0	0	0	9	14								
老人福祉施設	総数	163	335	670	1,188	1,171	102	38	18	23	33	30	30	32
	専任	72	154	344	435	191								
	兼任	91	181	326	763	980								
身体障害者支援施設・更生援護施設・社会参加支援施設	総数	141	195	290	463	605	739	341	371	394	375	432	445	440
	専任	112	152	176	267	315								
	兼任	29	43	114	196	290								
児童福祉施設	総数	435	587	646	789	895	1,032	1,015	933	1,057	860	891	920	946
	専任	393	507	549	679	722								
	兼任	42	80	97	110	173								
知的障害者援護施設	総数	0	2	7	23	35	70	8	7	3	－	－	－	－
	専任	0	0	5	13	10								
	兼任	0	2	2	10	25								
母子福祉施設	総数	0	0	0	0	0	0	－	－	－	－	－	－	－
	専任	0	0	0	0	0								
	兼任	0	0	0	0	0								
精神障害者社会復帰施設	総数	－	－	－	1	0	0	－	－	－	－	－	－	－
	専任	－	－	－	1	0								
	兼任	－	－	－	0	0								
その他の社会福祉施設等	総数	24	33	4	135	55	9	125	150	190	271	313	334	438
	専任	24	15	0	31	20								
	兼任	0	18	4	104	35								

資料：社会福祉施設等調査報告
（注 1）老人福祉施設では機能回復訓練指導員も含む（平成 3 年度まで）
（注 2）平成 9 年以降は総数のみ
（注 3）平成 14 年調査以前は理学療法員数
（注 4）平成 18 年度以降は老人福祉施設には特別養護老人ホーム，老人デイサービスセンター，老人短期入所施設は含まない

4）施設別理学療法士の就業比率

2015	
主たる職場　n=5,541	単位：%
A：医療施設	
大学病院	4.1
総合病院	18.9
老人病院	0.9
小児病院	0.4
一般病院（上記以外）一般病床	25.9
一般病院（上記以外）療養型病床	5.4
感染症病院	0
精神病院	0.3
結核病院	0
ハンセン病病院	0
地域支援病院	0.9
その他の病院	2.4
診療所	8.1
療養型病床群	0.5
その他の診療所	0.3
その他	0.1
B：医療福祉中間施設	
介護老人保健施設	6.5
老人訪問看護ステーション	1
老人デイサービス	0.8
老人デイケア	2.1
その他	0.1
C：老人福祉施設	
養護老人ホーム	0.1
特別養護老人ホーム	0.8
軽費老人ホーム	0
老人デイサービス	1.2
老人福祉センター	0
老人短期入所施設	0
有料老人ホーム	0
介護付き有料老人ホーム	0.2
在宅介護支援センター	0
高齢者総合相談センター	0
その他	0
D：介護保険法関連施設	
地域包括支援センター	0.1

2015	
主たる職場　n=5,541	単位：%
E：身体障害者福祉施設	
肢体不自由者更生施設	0
重度身体障害者更生養護施設	0
重度障害者授産施設	0
身体障害者療護施設	0.2
重度身体障害者授産施設	0
身体障害者福祉センターA型	0
身体障害者福祉センターB型	0
在宅障害者デイ・サービス施設	0
身体障害者更生相談所	0.1
F：児童福祉施設	
知的障害児施設	0
知的障害児通園施設	0.1
肢体不自由児施設	0.3
肢体不自由児通園施設	0.2
肢体不自由児療護施設	0
重症心身障害児施設	0.5
情緒障害児短期治療施設	0
児童相談所	0
心身障害児総合通園センター	0.1
G：精神障害者社会復帰施設	
精神障害者生活訓練施設	0
精神障害者授産施設	0
精神障害者地域生活支援センター	0
精神保健福祉センター	0
精神障害者社会復帰促進センター	0
精神障害者グループホーム	0
精神障害者小規模作業所	0
H：知的障害者福祉施設	
知的障害者更生施設	0
知的障害者授産施設	0
知的障害者更生相談所	0

2015	
主たる職場　n=5,541	単位：%
Ⅰ：障害者自立支援施設	
生活介護事業所	0.2
自立訓練（機能訓練）事業所	0
多機能型事業所	0
生活介護支援事業所	0.1
自立訓練（機能訓練）支援事業所	0
指定相談支援事業所	0
指定地域活動支援センター	0
Ｊ：教育・研究施設	
a．特別支援学校	
肢体不自由児	0.1
知的障害児	0
b．その他	
理学療法３年制専門学校教員	2.5
理学療法４年制専門学校教員	1.9
理学療法短期大学教員	0.3
理学療法大学教員	5.2
理学療法以外の大学教員	0.3
研究施設	0.1
その他	0.1
Ｋ：行政関係施設	
保健所	0
市町村保健センター	0.1
国	0.1
都道府県	0.1
市・区	0.4
町	0.1
村	0
社会福祉協議会	0.1
身体障害者福祉協議会	0
その他	0.1
Ｌ：健康産業	
スポーツ関係施設	0.1
フィットネス施設	0

2015	
主たる職場　n=5,541	単位：%
Ｍ：その他	
職業センター	0
リハ関連企業	0.1
一般企業	0.2
補装具作成施設	0
訪問看護ステーション	4
介護サービス企業	0.3
自営・開業	0.4
自宅（勤務しているが自宅会員登録）	0.1
休業中（会員だが休業しているもの）	0.1
海外	0.1
その他	0.4

資料：公益社団法人日本理学療法士協会　白書小委員会　アンケート調査（2015年度実施）

5）職場構成員による施設数

年　度	平成2年 (1990)	平成7年 (1995)	平成12年 (2000)	平成17年 (2005)	平成18年 (2006)	平成19年 (2007)	平成20年 (2008)	平成21年 (2009)	平成22年 (2010)	平成23年 (2011)	平成24年 (2012)	平成25年 (2013)	平成26年 (2014)	平成27年 (2015)
1人	1,385	2,095	3,345	4,111	4,353	4,440	4,458	4,512	4,762	5,232	5,251	5,679	5,907	6,088
2人	756	920	1,337	1,752	1,856	1,932	1,919	2,075	2,292	2,369	2,417	2,457	2,534	2,677
3人	428	618	845	1,089	1,124	1,152	1,163	1,206	1,427	1,447	1,527	1,538	1,531	1,565
4人	252	411	596	752	749	798	798	820	941	971	1,006	1,021	1,056	1,048
5人	140	241	450	591	574	565	579	609	678	675	702	695	682	720
6－10人	211	401	773	1,262	1,437	1,525	1,510	1,551	1,719	1,746	1,791	1,854	1,912	1,880
11－15人	34	53	124	366	424	531	527	567	658	672	696	742	733	809
16－20人	9	12	32	111	134	176	165	252	309	337	376	402	454	482
21－30人	3	9	17	65	98	125	126	143	257	274	344	362	387	422
31人以上	2	3	5	30	34	56	54	75	130	181	251	296	328	366
合計	3,220	4,763	7,542	10,129	10,783	11,300	11,299	11,810	13,173	13,904	14,361	15,046	15,524	16,057
自宅	268	663	1,546	3,070	3,599	4,053	4,077	4,483	5,471	6,357	11,185	16,180	16,462	18,681

資料：公益社団法人日本理学療法士協会　定時総会資料

6）職種別、年齢層別平均給与月額

職種	年齢階層		平均給与月額 きまって支給する給与（A）	うち時間外手当（B）	（A－B）	うち通勤手当
医師	歳以上　歳未満		円	円	円	円
	～20		－	－	－	－
	20～24		－	－	－	－
	24～28	＊	555,761	45,945	509,816	3,178
	28～32		791,373	190,908	600,465	9,466
	32～36	△	898,625	185,805	712,820	13,745
	36～40	◎	1,031,730	161,668	870,062	15,317
	40～44		1,146,972	200,694	946,278	21,179
	44～48	▽	1,223,350	128,620	1,094,730	20,500
	48～52		1,239,358	125,872	1,113,486	17,681
	52～56		1,279,455	144,774	1,134,681	15,116
	56～		1,317,881	84,601	1,233,280	19,760
	計（42.0歳）		1,062,214	159,442	902,772	16,065
看護師	歳以上　歳未満		円	円	円	円
	～20		－	－	－	－
	20～24		288,606	39,133	249,473	6,503
	24～28		317,309	44,274	273,035	8,473
	28～32	△	330,848	43,858	286,990	9,030
	32～36		341,216	41,676	299,540	9,752
	36～40	◎	348,535	36,616	311,919	9,464
	40～44		363,723	39,716	324,007	9,137
	44～48	▽	378,462	42,782	335,680	11,012
	48～52		383,232	38,229	345,003	8,495
	52～56		382,624	38,184	344,440	10,242
	56～		375,515	31,479	344,036	9,221
	計（38.0歳）		348,342	40,393	307,949	9,217
薬剤師	歳以上　歳未満		円	円	円	円
	～20		－	－	－	－
	20～24		－	－	－	－
	24～28		304,877	35,182	269,695	13,430
	28～32	△	338,158	42,338	295,820	15,439
	32～36	◎	358,151	37,019	321,132	13,944
	36～40		376,112	32,142	343,970	12,651
	40～44	▽	408,526	31,156	377,370	16,584
	44～48		415,573	34,110	381,463	15,216
	48～52		418,473	26,131	392,342	9,236
	52～56		443,961	31,238	412,723	12,947
	56～		434,344	18,407	415,937	12,785
	計（36.3歳）		363,053	34,876	328,177	14,091
診療放射線技師	歳以上　歳未満		円	円	円	円
	～20		－	－	－	－
	20～24		259,599	22,230	237,369	15,641
	24～28		293,834	36,113	257,721	13,915
	28～32	△	321,222	40,183	281,039	15,117
	32～36		342,197	35,429	306,768	12,796
	36～40	◎	376,046	43,610	332,436	13,741
	40～44		407,742	42,050	365,692	19,862
	44～48	▽	431,990	48,474	383,516	15,642
	48～52		463,418	38,342	425,076	11,700
	52～56		477,598	28,722	448,876	14,882
	56～		478,516	22,971	455,545	13,366
	計（39.3歳）		381,088	37,654	343,434	14,700
臨床検査技師	歳以上　歳未満		円	円	円	円
	～20		－	－	－	－
	20～24		250,781	23,533	227,248	11,488
	24～28		270,531	26,775	243,756	11,588
	28～32	△	288,109	27,410	260,699	13,393
	32～36		312,622	31,527	281,095	13,849
	36～40	◎	331,740	32,019	299,721	17,726
	40～44		353,972	32,106	321,866	17,220
	44～48		390,371	39,203	351,168	12,880
	48～52	▽	407,522	38,249	369,273	11,037
	52～56		405,206	30,630	374,576	12,025
	56～		442,118	25,578	416,540	15,911
	計（40.2歳）		345,685	30,803	314,882	13,899
理学療法士	歳以上　歳未満		円	円	円	円
	～20		－	－	－	－
	20～24		241,563	8,485	233,078	8,922
	24～28	△	260,949	11,518	249,431	8,913
	28～32	◎	285,257	14,852	270,405	9,681
	32～36		308,861	19,458	289,403	12,260
	36～40	▽	323,859	14,511	309,348	9,937
	40～44		347,626	15,740	331,886	11,819
	44～48		380,206	18,816	361,390	9,558
	48～52		412,627	12,167	400,460	10,980
	52～56		456,489	11,385	445,104	7,789
	56～		436,073	11,722	424,351	9,713
	計（32.2歳）		296,769	14,084	282,685	9,923
看護師長	歳以上　歳未満		円	円	円	円
	～20		－	－	－	－
	20～24		－	－	－	－
	24～28	＊	270,000	40,500	229,500	4,100
	28～32		340,679	30,921	309,758	5,838
	32～36		380,724	42,799	337,925	11,351
	36～40		405,108	41,646	363,462	11,117
	40～44	△	417,665	40,197	377,468	9,019
	44～48		437,004	36,215	400,789	9,618
	48～52	◎	450,191	30,774	419,417	9,296
	52～56	▽	448,576	27,111	421,465	9,552
	56～		451,690	24,271	427,419	8,241
	計（48.1歳）		434,850	33,158	401,692	9,413
作業療法士	歳以上　歳未満		円	円	円	円
	～20		－	－	－	－
	20～24		243,410	7,409	236,001	9,490
	24～28	△	257,180	9,907	247,273	8,383
	28～32	◎	277,067	10,506	266,561	9,293
	32～36		299,678	13,273	286,405	13,085
	36～40	▽	310,879	10,646	300,233	12,292
	40～44		322,330	10,812	311,518	9,852
	44～48		343,007	13,962	329,045	7,938
	48～52		356,876	11,204	345,672	8,758
	52～56		402,128	5,738	396,390	9,601
	56～	＊	430,407	2,702	427,705	4,817
	計（32.1歳）		286,275	10,602	275,673	9,969

民間給与の実態
（平成28年職種別民間給与実態調査の結果）
http://www.jinji.go.jp/kyuuyo/minn/minnhp/min28_index.htm
＊：調査実人員20人以下
△：第1四分位　◎：中位　▽：第3四分位　※：分位が重複している　ことを示す。

第 2 節　アンケート調査内容（2015 年度実施）

1）理学療法関連承認施設数

■問 1 ：年代

	度数	%
TOTAL	5662	100.0
25 歳以下	472	8.3
26 ～ 30 歳	1234	21.8
31 ～ 35 歳	1107	19.6
36 ～ 40 歳	1075	19.0
41 ～ 45 歳	717	12.7
46 ～ 50 歳	484	8.5
51 ～ 55 歳	352	6.2
56 ～ 60 歳	130	2.3
61 ～ 65 歳	58	1.0
66 ～ 70 歳	26	0.5
71 ～ 75 歳	4	0.1
76 ～ 99 歳	3	0.1

■問 2 ：あなたの性別をお答えください。

	度数	%
TOTAL	5662	100.0
男性	3808	67.3
女性	1854	32.7

■問 3 ：性別・年代

	度数	%
TOTAL	5662	100.0
男性 25 歳以下	278	4.9
男性 26-30 歳	842	14.9
男性 31-35 歳	749	13.2
男性 36-40 歳	703	12.4
男性 41-45 歳	481	8.5
男性 46-50 歳	311	5.5
男性 51-55 歳	247	4.4
男性 56-60 歳	112	2.0
男性 61-65 歳	54	1.0
男性 66-70 歳	25	0.4
男性 71-75 歳	4	0.1
男性 76-99 歳	2	0.0
女性 25 歳以下	194	3.4
女性 26-30 歳	392	6.9
女性 31-35 歳	358	6.3
女性 36-40 歳	372	6.6
女性 41-45 歳	236	4.2
女性 46-50 歳	173	3.1
女性 51-55 歳	105	1.9
女性 56-60 歳	18	0.3
女性 61-65 歳	4	0.1
女性 66-70 歳	1	0.0
女性 71-75 歳	0	0.0
女性 76-99 歳	1	0.0

■問 4 ：あなたの家族構成をお答えください。（複数回答）

	度数	%
TOTAL	5662	100.0
配偶者	3710	65.5
子ども（妊娠中含む）	2973	52.5
配偶者の父親	539	9.5
配偶者の母親	667	11.8
配偶者の兄弟姉妹	500	8.8
自分の父親	1820	32.1
自分の母親	2175	38.4
自分の兄弟姉妹	1684	29.7
その他　　具体的に：	267	4.7
上記の家族はいない	455	8.0

■問 5 ：あなたの家族で、現在同居している方をお答えください。（複数回答）

	度数	%
TOTAL	5207	100.0
配偶者	3631	69.7
子ども（妊娠中含む）	2814	54.0
配偶者の父親	102	2.0
配偶者の母親	169	3.2
配偶者の兄弟姉妹	15	0.3
自分の父親	759	14.6
自分の母親	979	18.8
自分の兄弟姉妹	331	6.4
問 4「その他」で記入したもの	154	3.0
現在、同居している家族はいない	713	13.7

■問 6 ：家族についてお聞きします。同居する家族は何人いますか。※自分自身を含めない人数でお答えください。

	度数	%
TOTAL	4494	100.0
1 人	960	21.4
2 人	1258	28.0
3 人	1388	30.9
4 人	556	12.4
5 人以上	332	7.4

■問７：同居家族のうち、収入のある家族は何人いますか。※自分自身も含めた人数をお答えください。

	度数	%
TOTAL	4494	100.0
0人	103	2.3
1人	950	21.1
2人	2714	60.4
3人	478	10.6
4人	207	4.6
5人以上	42	0.9

■問８：扶養者はいますか。(複数回答)

	度数	%
TOTAL	5207	100.0
いない	2456	47.2
配偶者	1044	20.0
子ども	2206	42.4
自身の父親	54	1.0
自身の母親	133	2.6
配偶者の父親	4	0.1
配偶者の母親	20	0.4
自身の兄弟姉妹	6	0.1
配偶者の兄弟姉妹	0	0.0
問４「その他」で記入したもの	14	0.3
自分自身	283	5.4

■問９：そのうち同居している人はいますか。(複数回答)

	度数	%
TOTAL	2555	100.0
いない	104	4.1
配偶者	1023	40.0
子ども	2098	82.1
自身の父親	39	1.5
自身の母親	111	4.3
配偶者の父親	3	0.1
配偶者の母親	14	0.5
自身の兄弟姉妹	3	0.1
配偶者の兄弟姉妹	0	0.0
問４「その他」で記入したもの	12	0.5

■問10：免許取得経験年数

	度数	%
TOTAL	5662	100.0
1-4年	1026	18.1
5-9年	1514	26.7
10-14年	1112	19.6
15-19年	758	13.4
20-24年	419	7.4
25-29年	404	7.1
30-34年	298	5.3
35年以上	131	2.3

■問11：理学療法士の免許取得の経緯はどれですか。

	度数	%
TOTAL	5662	100.0
特別経過措置	9	0.2
各種・専門学校（盲学校専攻科を含む）３年制	2367	41.8
各種・専門学校（盲学校専攻科を含む）４年制	1516	26.8
短期大学	489	8.6
大学	1280	22.6
外国	1	0.0

■問12：文部科学省教育制度における最終学歴はどれですか（理学療法士養成施設に限りません）。

	度数	%
TOTAL	5662	100.0
中学（旧制小学・高等小学校含む）	1	0.0
高等学校（旧制中学校含む）	1656	29.2
短期大学（旧制高等学校含む）	359	6.3
大学（学位授与機構含む）	2122	37.5
大学院修士課程（博士課程前期）	598	10.6
大学院博士課程（博士課程後期）	293	5.2
高等専門学校	523	9.2
その他	110	1.9

■問13：現在有している学位または称号について、該当するものをすべてお答えください。(複数回答)

	度数	%
TOTAL	5662	100.0
学位または称号は有していない	1762	31.1
学士	2298	40.6
修士	872	15.4
博士	298	5.3
準学士	261	4.6
専門士	801	14.1
高度専門士	554	9.8
その他	39	0.7

■問 14：現在有している国内資格について、該当するものをすべてお答えください。（複数回答）

	度数	%
TOTAL	5662	100.0
作業療法士	6	0.1
言語聴覚士	6	0.1
看護師	7	0.1
保健師	3	0.1
准看護師	17	0.3
臨床工学技士	5	0.1
診療放射線技師	4	0.1
薬剤師	2	0.0
臨床検査技師	9	0.2
あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師	78	1.4
柔道整復師	19	0.3
介護福祉士	80	1.4
社会福祉士	53	0.9
義肢装具士	8	0.1
歯科衛生士	1	0.0
医師・歯科医師	2	0.0
介護支援専門員	900	15.9
管理栄養士	3	0.1
栄養士	7	0.1
社会福祉主事	116	2.0
この中にはない	4525	79.9

■問 15：新人教育プログラムを修了しましたか。

	度数	%
TOTAL	5662	100.0
修了している	4816	85.1
履修中	568	10.0
履修する予定がない／履修していない	278	4.9

■問 16：あなたの所属する都道府県士会等はどれですか。

	度数	%		度数	%
TOTAL	5662	100.0			
北海道	342	6.0	石川県	68	1.2
青森県	60	1.1	福井県	34	0.6
岩手県	74	1.3	山梨県	49	0.9
宮城県	76	1.3	長野県	97	1.7
秋田県	48	0.8	岐阜県	79	1.4
山形県	48	0.8	静岡県	177	3.1
福島県	89	1.6	愛知県	241	4.3
茨城県	127	2.2	三重県	69	1.2
栃木県	73	1.3	滋賀県	46	0.8
群馬県	164	2.9	京都府	118	2.1
埼玉県	246	4.3	大阪府	343	6.1
千葉県	189	3.3	兵庫県	214	3.8
東京都	414	7.3	奈良県	58	1.0
神奈川県	334	5.9	和歌山県	54	1.0
新潟県	108	1.9	鳥取県	42	0.7
富山県	33	0.6	島根県	50	0.9
岡山県	119	2.1	佐賀県	44	0.8
広島県	154	2.7	長崎県	97	1.7
山口県	84	1.5	熊本県	114	2.0
徳島県	35	0.6	大分県	75	1.3
香川県	59	1.0	宮崎県	72	1.3
愛媛県	83	1.5	鹿児島県	113	2.0
高知県	53	0.9	沖縄県	86	1.5
福岡県	304	5.4	海外	6	0.1

■問 17：あなたの就業状況についてお答えください。

	度数	%
TOTAL	5662	100.0
現在就業中	5541	97.9
現在無職（以前は就業していた）	115	2.0
就業経験なし	6	0.1

■問 18：あなたが主たる職場として勤務する施設の常勤従業員数をお書きください。

	度数	%
TOTAL	5541	100.0
1 ～ 50 名未満	1313	23.7
50 ～ 100 名未満	926	16.7
100 ～ 300 名未満	1708	30.8
300 名以上	1594	28.8

■問 19：職場の就業形態はどれですか（現在就業中の方に主たる職場についてお聞きします）。

	度数	%
TOTAL	5541	100.0
常勤（期限の定めなし）	4981	89.9
常勤（期限の定めあり）	378	6.8
非常勤	159	2.9
自営	23	0.4

■問 20：1 週間の勤務時間

	度数	%		度数	%
TOTAL	159	100.0			
1 時間	0	0.0	16 時間	3	1.9
2 時間	0	0.0	17 時間	2	1.3
3 時間	0	0.0	18 時間	6	3.8
4 時間	7	4.4	19 時間	2	1.3
5 時間	2	1.3	20 時間	10	6.3
6 時間	6	3.8	21 時間	2	1.3
7 時間	5	3.1	22 時間	0	0.0
8 時間	12	7.5	23 時間	1	0.6
9 時間	2	1.3	24 時間	6	3.8
10 時間	7	4.4	25 時間	4	2.5
11 時間	2	1.3	26 時間	2	1.3
12 時間	2	1.3	27 時間	1	0.6
13 時間	2	1.3	28 時間	6	3.8
14 時間	0	0.0	29 時間	3	1.9
15 時間	5	3.1	30 時間	15	9.4
31 時間	0	0.0	44 時間	0	0.0
32 時間	9	5.7	45 時間	3	1.9
33 時間	0	0.0	46 時間	0	0.0
34 時間	2	1.3	47 時間	0	0.0
35 時間	13	8.2	48 時間	2	1.3
36 時間	1	0.6	49 時間	1	0.6

	度数	%		度数	%
37時間	0	0.0	50時間	2	1.3
38時間	2	1.3	51時間	0	0.0
39時間	0	0.0	52時間	0	0.0
40時間	8	5.0	53時間	1	0.6
41時間	0	0.0	54時間	0	0.0
42時間	0	0.0	55時間	0	0.0
43時間	0	0.0			

■問21：あなたの職場は次のどの分類に該当しますか。複数の職場を兼務している場合は、すべてお答えください。(複数回答)

	度数	%
TOTAL	5541	100.0
大学病院	253	4.6
総合病院	1115	20.1
老人病院	90	1.6
小児病院	38	0.7
一般病院（上記以外）一般病床	1699	30.7
一般病院（上記以外）療養型病床	657	11.9
感染症病院	4	0.1
精神病院	43	0.8
結核病院	14	0.3
ハンセン病病院	3	0.1
地域支援病院	142	2.6
その他の病院	171	3.1
診療所	594	10.7
療養型病床群	116	2.1
その他の診療所	20	0.4
【医療施設】その他	15	0.3
介護老人保健施設	528	9.5
老人訪問看護ステーション	161	2.9
【医療福祉中間施設】老人デイサービス	147	2.7
老人デイケア	355	6.4
【医療福祉中間施設】その他	23	0.4
養護老人ホーム	16	0.3
特別養護老人ホーム	113	2.0
軽費老人ホーム	5	0.1
【老人福祉施設】老人デイサービス	117	2.1
老人福祉センター	4	0.1
老人短期入所施設	22	0.4
有料老人ホーム	35	0.6
介護付き有料老人ホーム	36	0.6
在宅介護支援センター	12	0.2
高齢者総合相談センター	2	0.0
【老人福祉施設】その他	13	0.2
地域包括支援センター	70	1.3
肢体不自由者更生施設	9	0.2
重度身体障害者更生養護施設	4	0.1
重度障害者授産施設	3	0.1
身体障害者療護施設	18	0.3
重度身体障害者授産施設	3	0.1
身体障害者福祉センターA型	3	0.1
身体障害者福祉センターB型	7	0.1
在宅障害者デイ・サービス施設	5	0.1
身体障害者更生相談所	12	0.2
知的障害児施設	0	0.0
知的障害児通園施設	12	0.2
肢体不自由児施設	35	0.6
肢体不自由児通園施設	33	0.6
肢体不自由児療護施設	6	0.1
重症心身障害児施設	54	1.0
情緒障害児短期治療施設	4	0.1
児童相談所	1	0.0
心身障害児総合通園センター	13	0.2
精神障害者生活訓練施設	0	0.0
精神障害者授産施設	2	0.0
精神障害者地域生活支援センター	1	0.0
精神保健福祉センター	0	0.0
精神障害者社会復帰促進センター	0	0.0
精神障害者グループホーム	4	0.1
精神障害者小規模作業所	1	0.0
知的障害者更生施設	3	0.1
知的障害者授産施設	1	0.0
知的障害者更生相談所	3	0.1
生活介護事業所	31	0.6
自立訓練（機能訓練）事業所	16	0.3
多機能型事業所	8	0.1
生活介護支援事業所	7	0.1
自立訓練（機能訓練）支援事業所	7	0.1
指定相談支援事業所	4	0.1
指定地域活動支援センター	3	0.1
肢体不自由児	8	0.1
知的障害児	3	0.1
【教育・研究施設】特別支援学校　その他	2	0.0
理学療法３年制専門学校教員	156	2.8
理学療法４年制専門学校教員	127	2.3
理学療法短期大学教員	17	0.3
理学療法大学教員	304	5.5
理学療法以外の大学教員	24	0.4
研究施設	13	0.2
【教育・研究施設】教育・研究施設　その他	21	0.4
保健所	5	0.1
市町村保健センター	17	0.3
国	4	0.1
都道府県	33	0.6
市・区	74	1.3
町	20	0.4
村	4	0.1
社会福祉協議会	4	0.1
身体障害者福祉協議会	0	0.0
【行政関係施設】その他	8	0.1
スポーツ関係施設	21	0.4
フィットネス施設	22	0.4
職業センター	0	0.0
リハ関連企業	10	0.2
一般企業	13	0.2
補装具作成施設	7	0.1
訪問看護ステーション	357	6.4
介護サービス企業	29	0.5
自営・開業	31	0.6
自宅（勤務しているが自宅会員登録）	29	0.5
休業中（会員だが休業しているもの）	6	0.1
海外	5	0.1
【その他】その他	43	0.8

■問 22：あなたの主たる職場の施設分類を一つだけ選んでお答えください。

	度数	%
TOTAL	5541	100.0
大学病院	227	4.1
総合病院	1046	18.9
老人病院	52	0.9
小児病院	21	0.4
一般病院（上記以外）一般病床	1434	25.9
一般病院（上記以外）療養型病床	301	5.4
感染症病院	0	0.0
精神病院	17	0.3
結核病院	0	0.0
ハンセン病病院	2	0.0
地域支援病院	48	0.9
その他の病院	133	2.4
診療所	447	8.1
療養型病床群	29	0.5
その他の診療所	15	0.3
【医療施設】その他	5	0.1
介護老人保健施設	360	6.5
老人訪問看護ステーション	54	1.0
【医療福祉中間施設】老人デイサービス	45	0.8
老人デイケア	114	2.1
【医療福祉中間施設】その他	5	0.1
養護老人ホーム	3	0.1
特別養護老人ホーム	45	0.8
軽費老人ホーム	2	0.0
【老人福祉施設】老人デイサービス	66	1.2
老人福祉センター	0	0.0
老人短期入所施設	0	0.0
有料老人ホーム	2	0.0
介護付き有料老人ホーム	9	0.2
在宅介護支援センター	1	0.0
高齢者総合相談センター	0	0.0
【老人福祉施設】その他	1	0.0
地域包括支援センター	4	0.1
肢体不自由者更生施設	1	0.0
重度身体障害者更生養護施設	0	0.0
重度障害者授産施設	0	0.0
身体障害者療護施設	9	0.2
重度身体障害者授産施設	0	0.0
身体障害者福祉センター A型	0	0.0
身体障害者福祉センター B型	2	0.0
在宅障害者デイ・サービス施設	1	0.0
身体障害者更生相談所	4	0.1
知的障害児施設	0	0.0
知的障害児通園施設	4	0.1
肢体不自由児施設	15	0.3
肢体不自由児通園施設	11	0.2
肢体不自由児療護施設	1	0.0
重症心身障害児施設	27	0.5
情緒障害児短期治療施設	0	0.0
児童相談所	0	0.0
心身障害児総合通園センター	4	0.1
精神障害者生活訓練施設	0	0.0
精神障害者授産施設	0	0.0
精神障害者地域生活支援センター	0	0.0
精神保健福祉センター	0	0.0
精神障害者社会復帰促進センター	0	0.0
精神障害者グループホーム	0	0.0
精神障害者小規模作業所	0	0.0
知的障害者更生施設	2	0.0
知的障害者授産施設	0	0.0
知的障害者更生相談所	0	0.0
生活介護事業所	11	0.2
自立訓練（機能訓練）事業所	2	0.0
多機能型事業所	2	0.0
生活介護支援事業所	3	0.1
自立訓練（機能訓練）支援事業所	2	0.0
指定相談支援事業所	0	0.0
指定地域活動支援センター	0	0.0
肢体不自由児	4	0.1
知的障害児	1	0.0
【教育・研究施設】特別支援学校　その他	0	0.0
理学療法３年制専門学校教員	138	2.5
理学療法４年制専門学校教員	104	1.9
理学療法短期大学教員	15	0.3
理学療法大学教員	288	5.2
理学療法以外の大学教員	15	0.3
研究施設	8	0.1
【教育・研究施設】教育・研究施設　その他	5	0.1
保健所	2	0.0
市町村保健センター	5	0.1
国	3	0.1
都道府県	7	0.1
市・区	24	0.4
町	3	0.1
村	1	0.0
社会福祉協議会	3	0.1
身体障害者福祉協議会	0	0.0
【行政関係施設】その他	3	0.1
スポーツ関係施設	3	0.1
フィットネス施設	2	0.0
職業センター	0	0.0
リハ関連企業	5	0.1
一般企業	9	0.2
補装具作成施設	0	0.0
訪問看護ステーション	223	4.0
介護サービス企業	18	0.3
自営・開業	24	0.4
自宅（勤務しているが自宅会員登録）	7	0.1
休業中（会員だが休業しているもの）	5	0.1
海外	3	0.1
【その他】その他	24	0.4

■問 23：職制上の地位はどれに該当（または相当）しますか。

	度数	%
TOTAL	5541	100.0
一般職員	3039	54.8
主任級	829	15.0
係長級	171	3.1
係長級（ライン職）	21	0.4
課長補佐級	80	1.4
科長・課長級	481	8.7
部長級	166	3.0
副施設長級	31	0.6
施設長級	52	0.9
【文部科学省管轄の教育機関以外】その他	255	4.6
助手	16	0.3
助教	66	1.2
講師	79	1.4
准教授	87	1.6
教授	69	1.2
学科長	20	0.4
学部長	7	0.1
副学長	2	0.0
学長	0	0.0
【文部科学省管轄の教育機関】その他	70	1.3

■問 24：理学療法部門の責任者は男性ですか、それとも女性ですか。

	度数	%
TOTAL	5541	100.0
男性	4398	79.4
女性	1143	20.6

■問 25：理学療法士の必要数（患者や必要な業務量に見合った）は何割程度満たされていると思いますか。

	度数	%
TOTAL	5541	100.0
十分満たされている	1242	22.4
9～8割	1776	32.1
7～6割	1687	30.4
5割程度	456	8.2
4～3割	113	2.0
2割以下	52	0.9
わからない	215	3.9

■問 26：通勤時間は往復どのくらいかかりますか。

	度数	%
TOTAL	5541	100.0
30分以内	2522	45.5
31～60分	1818	32.8
61～90分	599	10.8
91～120分	383	6.9
121～150分	139	2.5
151～180分	48	0.9
181分以上	32	0.6

■問 27：免許取得2年目以上の方にお聞きします。昨年は有給休暇を何日取得しましたか。

	度数	%
TOTAL	5336	100.0
0日	454	8.5
1日	215	4.0
2日	316	5.9
3日	423	7.9
4日	300	5.6
5日	606	11.4
6日	243	4.6
7日	397	7.4
8日	247	4.6
9日	210	3.9
10～14日	1297	24.3
15～19日	392	7.3
20～24日	178	3.3
25～29日	24	0.4
30～39日	18	0.3
40日以上	16	0.3

■問 28：免許取得2年目以上の方にお聞きします。昨年は無休休暇（例：生理休暇等）を何日取得しましたか。

	度数	%
TOTAL	5336	100.0
0日	4843	90.8
1日	56	1.0
2日	56	1.0
3日	67	1.3
4日	36	0.7
5日	62	1.2
6日	24	0.4
7日	36	0.7
8日	12	0.2
9日	12	0.2
10～14日	83	1.6
15～19日	15	0.3
20～24日	9	0.2
25～29日	2	0.0
30～39日	5	0.1
40日以上	18	0.3

■問 29：在宅における理学療法サービスは1週間のうち何日程度実施しましたか。

	度数	%
TOTAL	5541	100.0
0日	4389	79.2
半日	173	3.1
1日	144	2.6
2日	104	1.9
3日	74	1.3
4日	72	1.3
5日	495	8.9
6日	90	1.6

■問 30：あなたは現在、介護認定の調査業務を行っていますか。

	度数	%
TOTAL	5541	100.0
行っている（定期的）	79	1.4
行っている（不定期）	104	1.9
行っていない	5358	96.7

■問 31：介護認定の認定審査員を行っていますか。

	度数	%
TOTAL	5541	100.0
行っている（定期的）	251	4.5
行っている（不定期）	21	0.4
行っていない	5269	95.1

■問 32：次の職種のうち、事業所において実際にチームを構成している職種はどれですか。該当する職種をすべてあげてください。（複数回答）

	度数	%
TOTAL	5541	100.0
医師（リハ専門医）	2060	37.2
医師（リハ専門医以外）	3778	68.2
作業療法士	4120	74.4
言語聴覚士	3251	58.7
ソーシャルワーカー	2907	52.5
義肢装具士	772	13.9
看護師・保健師・助産師	4346	78.4
保育士	262	4.7
特別支援または養護教諭	82	1.5
心理関係職種	529	9.5
介護福祉士	2179	39.3
社会福祉士・社会福祉主事	1225	22.1
家庭介護員（ヘルパー）	553	10.0
あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師	312	5.6
柔道整復師	186	3.4
（管理）栄養士	2159	39.0
臨床工学技士	774	14.0
工学関係者	101	1.8
介護支援専門員	1519	27.4
精神保健福祉士	134	2.4
薬剤師	1655	29.9
歯科衛生士	617	11.1
その他　　具体的に：	452	8.2

■問 33：患者の治療・指導の時間／平均的 1 週間（予定外または他の日と比べて過度な施行予定がない週）の勤務時間内であなたは下記の事項にどの程度の時間をとっていますか。

	度数	%
TOTAL	5541	100.0
4 時間未満	751	13.6
～ 8 時間	1465	26.4
～ 16 時間	250	4.5
～ 24 時間	424	7.7
～ 32 時間	1069	19.3
～ 40 時間	1256	22.7
41 時間以上	326	5.9

■問 34：義肢・装具（ブレースクリニック・チェックアウト・副子作製等）の時間

	度数	%
TOTAL	5541	100.0
0 分	3018	54.5
30 分未満	1852	33.4
～ 1 時間	494	8.9
～ 2 時間	118	2.1
～ 3 時間	27	0.5
～ 4 時間	14	0.3
～ 5 時間	12	0.2
6 時間以上	6	0.1

■問 35：記録・報告書作成の時間

	度数	%
TOTAL	5541	100.0
0 分	264	4.8
30 分未満	514	9.3
～ 1 時間	1398	25.2
～ 2 時間	981	17.7
～ 3 時間	661	11.9
～ 4 時間	342	6.2
～ 5 時間	592	10.7
6 時間以上	789	14.2

■問 36：カンファレンス（ミニカンファレンス）の時間

	度数	%
TOTAL	5541	100.0
0 分	687	12.4
30 分未満	1653	29.8
～ 1 時間	1838	33.2
～ 2 時間	899	16.2
～ 3 時間	290	5.2
～ 4 時間	84	1.5
～ 5 時間	48	0.9
6 時間以上	42	0.8

■問37：研究の時間

	度数	%
TOTAL	5541	100.0
0分	2982	53.8
1時間未満	1519	27.4
～2時間	428	7.7
～3時間	142	2.6
～4時間	135	2.4
～8時間	151	2.7
～16時間	78	1.4
～24時間	47	0.8
～32時間	17	0.3
33時間以上	42	0.8

■問38：管理・運営のための時間（連絡会議・ミーティング等も含む）

	度数	%
TOTAL	5541	100.0
0分	470	8.5
30分未満	1444	26.1
～1時間	1563	28.2
～2時間	936	16.9
～3時間	396	7.1
～4時間	267	4.8
～8時間	216	3.9
～16時間	84	1.5
17時間以上	165	3.0

■問39：学生教育のための時間

	度数	%
TOTAL	5541	100.0
0分	3054	55.1
1時間未満	1193	21.5
～2時間	391	7.1
～4時間	236	4.3
～8時間	224	4.0
～16時間	133	2.4
～24時間	92	1.7
～32時間	78	1.4
～40時間	66	1.2
41時間以上	74	1.3

■問40：勉強のための時間（問39に該当しないもの）

	度数	%
TOTAL	5541	100.0
0分	783	14.1
1時間未満	2391	43.2
～2時間	1198	21.6
～3時間	371	6.7
～4時間	243	4.4
～6時間	205	3.7
～8時間	172	3.1
～16時間	90	1.6
17時間以上	88	1.6

■問41：2015年12月の1ヵ月間の残業時間は何時間でしたか（業務命令による実残業時間）。

	度数	%
TOTAL	5541	100.0
0時間	1444	26.1
1時間	344	6.2
2時間	343	6.2
3時間	298	5.4
4時間	168	3.0
5時間	249	4.5
6時間	146	2.6
7時間	89	1.6
8時間	168	3.0
9時間	79	1.4
10～14時間	737	13.3
15～19時間	364	6.6
20～24時間	346	6.2
25～29時間	195	3.5
30～39時間	224	4.0
40～49時間	146	2.6
50～59時間	65	1.2
60～69時間	55	1.0
70～79時間	10	0.2
80時間以上	71	1.3

■問42：残業時間に対する手当の支給はどの程度ですか。

	度数	%
TOTAL	5541	100.0
100%支給	2213	39.9
75%程度支給	603	10.9
50%程度支給	487	8.8
25%程度支給	508	9.2
まったく支給されない	1730	31.2

■問43：2年目以上の方にお聞きします。あなたの昨年の年間総所得（税込み）をお答えください。

	度数	%
TOTAL	5336	100.0
50万円以下	20	0.4
51～100万円	17	0.3
101～150万円	34	0.6
151～200万円	36	0.7
201～250万円	136	2.5
251～300万円	313	5.9
301～350万円	594	11.1
351～400万円	779	14.6
401～450万円	880	16.5
451～500万円	558	10.5
501～550万円	463	8.7
551～600万円	264	4.9
601～650万円	282	5.3
651～700万円	209	3.9
701～800万円	310	5.8
801～900万円	152	2.8
901～1000万円	68	1.3
1001～1100万円	46	0.9
1101～1200万円	25	0.5
1201～1300万円	9	0.2
1301～1400万円	4	0.1
1401～1500万円	4	0.1
1501万円以上	4	0.1
答えたくない	129	2.4

■問44：配偶者がいる方にお聞きします。配偶者の昨年の年間総所得（税込み）をお答えください。

	度数	%
TOTAL	3710	100.0
50万円以下	614	16.5
51～100万円	275	7.4
101～150万円	205	5.5
151～200万円	141	3.8
201～250万円	147	4.0
251～300万円	219	5.9
301～350万円	325	8.8
351～400万円	351	9.5
401～450万円	326	8.8
451～500万円	200	5.4
501～550万円	150	4.0
551～600万円	104	2.8
601～650万円	88	2.4
651～700万円	81	2.2
701～800万円	84	2.3
801～900万円	48	1.3
901～1000万円	14	0.4
1001～1100万円	16	0.4
1101～1200万円	9	0.2
1201～1300万円	7	0.2
1301～1400万円	0	0.0
1401～1500万円	1	0.0
1501万円以上	6	0.2
わからない／答えたくない	299	8.1

■問45：あなたの主な理学療法実施場所（理学療法業務の半分以上）はどこですか。

	度数	%
TOTAL	5541	100.0
理学療法専用施設	3311	59.8
病棟、病室、居室など	1071	19.3
在宅	549	9.9
その他	610	11.0

■問46：通常の出勤体制で以下に該当するものがありますか。（複数回答）

	度数	%
TOTAL	5536	100.0
遅番	492	8.9
夜間（22時以降）	46	0.8
早朝	402	7.3
日曜	1844	33.3
祝祭日	2721	49.2
土曜	3978	71.9
不明	1220	22.0

■問47：施設内に理学療法士が利用できる保育所がありますか。

	度数	%
TOTAL	5541	100.0
ある（希望すれば利用できる）	1575	28.4
あるが利用できるとは限らない	502	9.1
あるが理学療法士は利用できない	180	3.2
ない	3145	56.8
わからない	139	2.5

■問48：育児休業は就業規則上どの位取得が可能ですか。

	度数	%
TOTAL	5541	100.0
取れない	272	4.9
半年未満	193	3.5
半年から1年未満	2439	44.0
1年以上2年未満	769	13.9
2年以上3年未満	419	7.6
3年以上～小学校入学まで	61	1.1
わからない	1388	25.0

■問49：あなたは育児休業を取った、あるいは取るつもりありますか？（男性もお答えください）

	度数	%
TOTAL	5541	100.0
取った	542	9.8
取っていない	4999	90.2
取らない	3129	56.5
取りたい	1640	29.6
取る	263	4.7
取りたいけれども取れない	487	8.8
取らされる（就業規則等により）	22	0.4

■問50：理学療法士として主たる職場以外から給与・報酬を得ていますか。

	度数	%
TOTAL	5541	100.0
得ている	1489	26.9
得ていない	4052	73.1

■問51：あなたは理学療法士として、現在までに何回自己都合による退職をしましたか。

	度数	%
TOTAL	5541	100.0
退職なし	2761	49.8
1回	1561	28.2
2回	679	12.3
3回	308	5.6
4回	135	2.4
5回	57	1.0
6回	25	0.5
7回	7	0.1
8回	4	0.1
9回以上	4	0.1

■問52：直近の退職理由は以下のうちのどれですか。

	度数	%
TOTAL	2780	100.0
地元に戻るため	562	20.2
結婚	245	8.8
妊娠・出産	73	2.6
育児	97	3.5
介護のため	28	1.0
給料が安い	343	12.3
仕事がきつい	203	7.3
職場の人間関係	497	17.9
拘束時間が長い	222	8.0
労働条件が違った	290	10.4
健康上の理由	132	4.7
精神的にきつい	314	11.3
今の職場を紹介された	698	25.1
職場に魅力がない	568	20.4
進学	155	5.6
家族の都合（転勤等）	99	3.6
家族の希望	100	3.6
その他	693	24.9

■問53：あなたはこの5年間で同一法人内の転勤（ローテーション）は何回ありましたか（出向を含み退職を除く）。

	度数	%
TOTAL	5541	100.0
0回	3738	67.5
1回	1116	20.1
2回	444	8.0
3回	150	2.7
4回	53	1.0
5回	26	0.5
6回	8	0.1
7回	2	0.0
8回	1	0.0
9回以上	3	0.1

■問54：あなたの主たる職場は、医療保険（診療報酬）診療、介護保険（介護報酬）診療を実施しますか。（複数回答）

	度数	%
TOTAL	5541	100.0
医療保険（診療報酬）診療を実施する	4086	73.7
介護保険（介護報酬）診療を実施する	2175	39.3
どちらも実施しない	732	13.2

■問55：あなたが勤務する施設の許可病床数を選んでください（問54で「医療保険診療を実施する」と選択した回答者のみ）。

	度数	%
TOTAL	4086	100.0
無床	569	13.9
1～19床	150	3.7
20～49床	105	2.6
50～99床	437	10.7
100～199床	1136	27.8
200～299床	601	14.7
300～499床	620	15.2
500床以上	468	11.5

■問56：該当する施設基準はどれですか（問54で「医療保険診療を実施する」と選択した回答者のみ）。（複数回答）

	度数	%
TOTAL	4086	100.0
心大血管疾患Ⅰ	1041	25.5
心大血管疾患Ⅱ	96	2.3
脳血管疾患等Ⅰ	2582	63.2
脳血管疾患等Ⅱ	602	14.7
脳血管疾患等Ⅲ	341	8.3
運動器Ⅰ	3219	78.8
運動器Ⅱ	565	13.8
運動器Ⅲ	188	4.6
呼吸器Ⅰ	2113	51.7
呼吸器Ⅱ	207	5.1
この中にはない	281	6.9

■問57：あなたはいずれの診療科に所属していますか（問54で「医療保険診療を実施する」と選択した回答者のみ）。

	度数	%
TOTAL	4086	100.0
リハビリテーション科	2710	66.3
整形外科	115	2.8
脳神経外科	14	0.3
神経内科	8	0.2
その他の内科	11	0.3
小児科	4	0.1
リウマチ科	3	0.1
精神科	2	0.0
その他の診療科	37	0.9
診療部門（診療科に属さない：リハビリテーション部など）	1081	26.5
その他（事務部門など）	60	1.5
管理部門	41	1.0

■問58：理学療法の処方箋はどの診療科より処方されていますか（問54で「医療保険診療を実施する」と選択した回答者のみ）。（複数回答）

	度数	%
TOTAL	4086	100.0
リハビリテーション科	1495	36.6
整形外科	2832	69.3
脳神経外科	1545	37.8
神経内科	1311	32.1
その他の内科	1903	46.6
小児科	643	15.7
リウマチ科	292	7.1
精神科	262	6.4
呼吸器科	1048	25.6
循環器科	1211	29.6
その他の診療科	1043	25.5
診療部門（診療科に属さない：リハビリテーション部など）	198	4.8
わからない	165	4.0

■問59：治療した患者の主たる疾患名を多い順に５つまで以下から列挙してください。12月の平均的な１週間（予定外または他の日と比べて過度な施行予定がない週）で、あなたが治療した原疾患、障害および年齢についてお聞きします（問54で「医療保険診療を実施する」と選択した回答者のみ）。

	n (TOTAL)	乳癌	脳腫瘍	その他の悪性新生物	糖尿病	血友病	認知症	認知症以外の精神疾患	パーキンソン病	筋萎縮性側索硬化症	脳性麻痺	脊髄小脳変性症	ギランバレー症候群	筋ジストロフィー症
第１位	4086	3	6	91	19	2	46	5	87	9	119	6	1	3
	100.0	0.1	0.1	2.2	0.5	0.0	1.1	0.1	2.1	0.2	2.9	0.1	0.0	0.1
第２位	4086	8	36	83	54	0	145	6	114	18	34	25	2	12
	100.0	0.2	0.9	2.0	1.3	0.0	3.5	0.1	2.8	0.4	0.8	0.6	0.0	0.3
第３位	4086	11	41	91	98	2	257	6	159	21	25	33	10	14
	100.0	0.3	1.0	2.2	2.4	0.0	6.3	0.1	3.9	0.5	0.6	0.8	0.2	0.3
第４位	4086	5	41	117	151	2	331	16	205	19	26	38	13	24
	100.0	0.1	1.0	2.9	3.7	0.0	8.1	0.4	5.0	0.5	0.6	0.9	0.3	0.6
第５位	4086	14	47	97	179	1	280	20	222	27	38	55	21	18
	100.0	0.3	1.2	2.4	4.4	0.0	6.9	0.5	5.4	0.7	0.9	1.3	0.5	0.4

■問60：治療した患者の最も問題となった障害について、多いものから順に下記より５つ選んでください。12月の平均的な１週間（予定外または他の日と比べて過度な施行予定がない週）で、あなたが治療した原疾患、障害および年齢についてお聞きします（問54で「医療保険診療を実施する」と選択した回答者のみ）。

	n (TOTAL)	関節可動域障害	筋力低下	異常姿勢	呼吸障害	感覚障害	平衡機能障害	嚥下障害	疼痛	四肢切断	片麻痺	四肢麻痺	対麻痺
第１位	4086	536	774	96	165	13	31	3	685	3	795	78	14
	100.0	13.1	18.9	2.3	4.0	0.3	0.8	0.1	16.8	0.1	19.5	1.9	0.3
第２位	4086	768	1099	174	136	97	81	25	320	3	266	68	26
	100.0	18.8	26.9	4.3	3.3	2.4	2.0	0.6	7.8	0.1	6.5	1.7	0.6
第３位	4086	511	823	281	212	152	138	47	488	4	283	49	21
	100.0	12.5	20.1	6.9	5.2	3.7	3.4	1.2	11.9	0.1	6.9	1.2	0.5
第４位	4086	357	352	345	245	198	185	78	453	13	358	43	19
	100.0	8.7	8.6	8.4	6.0	4.8	4.5	1.9	11.1	0.3	8.8	1.1	0.5
第５位	4086	287	211	237	272	223	221	94	367	17	287	46	30
	100.0	7.0	5.2	5.8	6.7	5.5	5.4	2.3	9.0	0.4	7.0	1.1	0.7

■問61：対象年齢の最も頻度の高い年齢区分はどれですか。12月の平均的な1週間（予定外または他の日と比べて過度な施行予定がない週）で、あなたが治療した原疾患、障害および年齢についてお聞きします。

	度数	%
TOTAL	4086	100.0
0～3歳未満	33	0.8
3～10歳未満	62	1.5
10歳代	51	1.2
20歳代	21	0.5
30歳代	16	0.4
40歳代	28	0.7
50歳代	80	2.0
60歳代	313	7.7
70歳代	1415	34.6
80歳代	1831	44.8
90歳以上	97	2.4
12月は働いていない	139	3.4

■問62：あなたの主たる職場に、ICU、CCU、NICU、地域包括ケア病棟、脳卒中ケア病棟または回復期リハビリテーション病棟がありますか。（複数回答）

	度数	%
TOTAL	4086	100.0
ない	1112	27.2
ICU	1229	30.1
CCU	480	11.7
NICU	445	10.9
地域包括ケア病棟	886	21.7
脳卒中ケア病棟（SCU）	279	6.8
回復期リハビリテーション病棟	1634	40.0
療養型病棟	1024	25.1

心疾患	脳血管障害	呼吸器疾患	泌尿器系疾患	関節リウマチ	その他の膠原病	変形性関節症	筋骨格系その他の疾患（腰痛等）	骨折	頭部外傷	熱傷	脊髄損傷	末梢神経損傷	切断	その他	この中にはない／12月は働いていない
168	1226	184	6	8	1	627	442	786	2	0	13	3	2	81	140
4.1	30.0	4.5	0.1	0.2	0.0	15.3	10.8	19.2	0.0	0.0	0.3	0.1	0.0	2.0	3.4
108	578	288	7	24	4	722	595	826	51	0	50	8	4	105	179
2.6	14.1	7.0	0.2	0.6	0.1	17.7	14.6	20.2	1.2	0.0	1.2	0.2	0.1	2.6	4.4
142	488	356	10	59	13	537	374	637	103	1	99	30	16	201	252
3.5	11.9	8.7	0.2	1.4	0.3	13.1	9.2	15.6	2.5	0.0	2.4	0.7	0.4	4.9	6.2
201	409	366	19	135	18	348	250	274	89	1	138	110	23	314	403
4.9	10.0	9.0	0.5	3.3	0.4	8.5	6.1	6.7	2.2	0.0	3.4	2.7	0.6	7.7	9.9
197	236	293	32	132	22	206	195	166	70	5	162	75	53	640	583
4.8	5.8	7.2	0.8	3.2	0.5	5.0	4.8	4.1	1.7	0.1	4.0	1.8	1.3	15.7	14.3

その他の麻痺	運動発達遅滞	知的障害	全身体力低下	高次脳機能障害	認知症	精神障害	その他	この中にはない／12月は働いていない
14	50	2	348	83	173	13	60	150
0.3	1.2	0.0	8.5	2.0	4.2	0.3	1.5	3.7
22	39	15	345	211	173	26	29	163
0.5	1.0	0.4	8.4	5.2	4.2	0.6	0.7	4.0
27	33	19	378	153	227	21	36	183
0.7	0.8	0.5	9.3	3.7	5.6	0.5	0.9	4.5
40	24	14	535	176	334	31	69	217
1.0	0.6	0.3	13.1	4.3	8.2	0.8	1.7	5.3
64	32	19	527	185	413	43	230	281
1.6	0.8	0.5	12.9	4.5	10.1	1.1	5.6	6.9

■問63：問62で『「ICU」「CCU」「NICU」がある』と回答した方にお聞きします。あなたはICU、CCUまたはNICUで理学療法業務を行っていますか。

	度数	%
TOTAL	1279	100.0
はい	851	66.5
いいえ	428	33.5

■問64：問62で『「ICU」「CCU」「NICU」がある』と回答した方にお聞きします。平均的な1日で、あなたの受け持ち患者数のうち、ICU、CCUまたはNICUで理学療法業務を行っている患者数はどれくらいの割合ですか。

	度数	%
TOTAL	851	100.0
ほぼ100%	13	1.5
75%以上	25	2.9
50%以上	28	3.3
25%以上	104	12.2
25%未満	681	80.0

■問65：理学療法のクリニカルパスを使用していますか。

	度数	%
TOTAL	4086	100.0
使用している	1792	43.9
使用していない	2294	56.1

■問69：理学療法を実施した利用者の主たる疾患名を多い順に5つまで以下から列挙してください。12月の平均的な1週間（予定外または他の日と比べて過度な施行予定がない週）で、あなたが理学療法を実施した利用者の原疾患、障害および年齢についてお聞きします。

	n (TOTAL)	乳癌	脳腫瘍	その他の悪性新生物	糖尿病	血友病	認知症	認知症以外の精神疾患	パーキンソン病	筋萎縮性側索硬化症	脳性麻痺	脊髄小脳変性症	ギランバレー症候群	筋ジストロフィー症
第1位	2175	3	0	10	11	0	163	1	54	8	9	1	0	2
	100.0	0.1	0.0	0.5	0.5	0.0	7.5	0.0	2.5	0.4	0.4	0.0	0.0	0.1
第2位	2175	0	12	7	31	0	228	4	105	13	9	9	0	2
	100.0	0.0	0.6	0.3	1.4	0.0	10.5	0.2	4.8	0.6	0.4	0.4	0.0	0.1
第3位	2175	0	10	11	78	0	278	7	162	15	12	17	2	3
	100.0	0.0	0.5	0.5	3.6	0.0	12.8	0.3	7.4	0.7	0.6	0.8	0.1	0.1
第4位	2175	1	8	28	103	0	251	8	203	8	14	29	5	7
	100.0	0.0	0.4	1.3	4.7	0.0	11.5	0.4	9.3	0.4	0.6	1.3	0.2	0.3
第5位	2175	1	7	41	154	2	226	15	209	20	12	40	2	7
	100.0	0.0	0.3	1.9	7.1	0.1	10.4	0.7	9.6	0.9	0.6	1.8	0.1	0.3

■問70：理学療法を実施した利用者のもっとも問題となった障害について多いものから順に下記より5つ選んでください。12月の平均的な1週間（予定外または他の日と比べて過度な施行予定がない週）で、あなたが理学療法を実施した利用者の原疾患、障害および年齢についてお聞きします。

	n (TOTAL)	関節可動域障害	筋力低下	異常姿勢	呼吸障害	感覚障害	平衡機能障害	嚥下障害	疼痛	四肢切断	片麻痺	四肢麻痺	対麻痺
第1位	2175	211	427	60	25	14	21	5	286	3	520	21	2
	100.0	9.7	19.6	2.8	1.1	0.6	1.0	0.2	13.1	0.1	23.9	1.0	0.1
第2位	2175	328	568	95	33	38	73	26	212	1	173	22	4
	100.0	15.1	26.1	4.4	1.5	1.7	3.4	1.2	9.7	0.0	8.0	1.0	0.2
第3位	2175	273	405	132	50	70	90	25	277	2	203	21	8
	100.0	12.6	18.6	6.1	2.3	3.2	4.1	1.1	12.7	0.1	9.3	1.0	0.4
第4位	2175	213	202	171	83	86	105	36	244	3	222	22	9
	100.0	9.8	9.3	7.9	3.8	4.0	4.8	1.7	11.2	0.1	10.2	1.0	0.4
第5位	2175	194	118	117	108	74	130	64	255	3	201	11	7
	100.0	8.9	5.4	5.4	5.0	3.4	6.0	2.9	11.7	0.1	9.2	0.5	0.3

■問66：問65で「使用している」と回答した方にお聞きします。クリニカルパスを使用している対象疾患をあげてください。(複数回答)

	度数	%
TOTAL	1792	100.0
脳卒中	894	49.9
頭部外傷	61	3.4
脊髄損傷	62	3.5
大腿骨頚部骨折	1302	72.7
人工股関節置換術	997	55.6
人工膝関節置換術	958	53.5
下肢切断	26	1.5
呼吸器疾患	115	6.4
心筋梗塞	328	18.3
胸部外科術後	206	11.5
腹部等外科術後	169	9.4
その他	287	16.0

■問67：あなたの主たる職場では、電子カルテが導入されていますか。

	度数	%
TOTAL	4086	100.0
導入されている	2545	62.3
導入準備中	234	5.7
導入されていない	1307	32.0

■問68：該当する施設基準はどれですか。(複数回答)

	度数	%
TOTAL	2175	100.0
訪問リハビリテーション事業者	957	44.0
通所リハビリテーション	1131	52.0
訪問看護事業者	505	23.2
介護老人保健施設	450	20.7
介護老人保健施設・リハビリテーション機能強化加算	225	10.3
介護老人福祉施設	44	2.0
介護老人福祉施設・機能訓練指導員加算	47	2.2
介護療養型医療施設	199	9.1
居宅介護支援事業者	249	11.4
通所介護・機能訓練加算	282	13.0
特定施設入所者生活介護・機能訓練加算	36	1.7
その他	214	9.8

心疾患	脳血管障害	呼吸器疾患	泌尿器系疾患	関節リウマチ	その他の膠原病	変形性関節症	筋骨格系その他の疾患(腰痛等)	骨折	頭部外傷	熱傷	脊髄損傷	末梢神経損傷	切断	その他	この中にはない
11	956	40	4	3	1	340	215	243	1	0	2	0	1	96	0
0.5	44.0	1.8	0.2	0.1	0.0	15.6	9.9	11.2	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	4.4	0.0
39	376	61	2	13	1	418	306	389	8	0	24	1	1	42	74
1.8	17.3	2.8	0.1	0.6	0.0	19.2	14.1	17.9	0.4	0.0	1.1	0.0	0.0	1.9	3.4
78	269	94	1	30	4	373	216	310	19	0	26	3	3	55	99
3.6	12.4	4.3	0.0	1.4	0.2	17.1	9.9	14.3	0.9	0.0	1.2	0.1	0.1	2.5	4.6
111	198	151	3	62	5	249	160	244	17	0	39	16	4	97	154
5.1	9.1	6.9	0.1	2.9	0.2	11.4	7.4	11.2	0.8	0.0	1.8	0.7	0.2	4.5	7.1
148	91	156	6	58	5	147	125	145	21	2	48	21	18	209	239
6.8	4.2	7.2	0.3	2.7	0.2	6.8	5.7	6.7	1.0	0.1	2.2	1.0	0.8	9.6	11.0

その他の麻痺	運動発達遅滞	知的障害	全身体力低下	高次脳機能障害	認知症	精神障害	その他	この中にはない
3	5	0	241	39	206	4	82	0
0.1	0.2	0.0	11.1	1.8	9.5	0.2	3.8	0.0
6	3	0	240	95	146	21	24	67
0.3	0.1	0.0	11.0	4.4	6.7	1.0	1.1	3.1
9	5	4	246	70	176	11	25	73
0.4	0.2	0.2	11.3	3.2	8.1	0.5	1.1	3.4
9	12	4	248	92	267	15	38	94
0.4	0.6	0.2	11.4	4.2	12.3	0.7	1.7	4.3
9	12	10	240	101	273	27	84	137
0.4	0.6	0.5	11.0	4.6	12.6	1.2	3.9	6.3

■問71：対象年齢の最も頻度の高い年齢区分はどれですか。12月の平均的な1週間（予定外または他の日と比べて過度な施行予定がない週）で、あなたが理学療法を実施した利用者の原疾患、障害および年齢についてお聞きします。

	度数	%
TOTAL	2175	100.0
40歳代	16	0.7
50歳代	17	0.8
60歳代	94	4.3
70歳代	571	26.3
80歳代	1384	63.6
90歳代以上	93	4.3

■問72：あなたの施設では今年度に理学療法学科の臨床実習生を受け入れますか。

	度数	%
TOTAL	5541	100.0
受けいれていない	1738	31.4
最終学年以外のみ受け入れている	302	5.5
最終学年のみ受け入れている	311	5.6
最終学年と最終学年以外を受け入れている	3190	57.6

■問73：あなたは今年度に臨床実習指導者（実習指導補助者としての指導は除く）として何名の学生を担当する予定ですか。

	度数	%
TOTAL	3803	100.0
0名	1669	43.9
1名	1111	29.2
2名	575	15.1
3名	196	5.2
4名	104	2.7
5名	43	1.1
6名	32	0.8
7名	8	0.2
8名	15	0.4
9名	4	0.1
10名以上	46	1.2

■問74：現在の理学療法士養成教育の内容からみて、卒業直後の臨床における理学療法士としてのレベルはどの程度だと考えますか。

	度数	%
TOTAL	5662	100.0
独立して応用的理学療法が行える	42	0.7
独立して基本的理学療法が行える	335	5.9
理学療法を行ううえである程度の助言を必要とする	2235	39.5
理学療法を行ううえで多くの助言を必要とする	2941	51.9
その他	109	1.9

■問75：将来の理学療法士養成校制度はどうあるべきだと思いますか。

	度数	%
TOTAL	5662	100.0
4年制大学のみ	1545	27.3
大学と短大の二本立て	115	2.0
大学・短大・専門学校の三本立て	537	9.5
大学と専門学校の二本立て	1504	26.6
短大と専門学校の二本立て	19	0.3
6年制大学	538	9.5
6年制大学と大学院	472	8.3
その他	104	1.8
わからない	828	14.6

■問76：日本国内の理学療法士養成校の数および入学定員についてどう思いますか。

※学校総数253校（現在募集校250校、定員13,635名）2015年5月22日現在※18歳の人口（119万6千人）2014年10月1日現在

	度数	%
TOTAL	5662	100.0
かなり過剰である	2817	49.8
やや過剰である	2294	40.5
ほぼ適正	263	4.6
やや不足している	56	1.0
かなり不足している	9	0.2
わからない	223	3.9

■問77：あなたの所属する都道府県における理学療法士養成校の数および入学定員についてどう思いますか。

	度数	%
TOTAL	5662	100.0
かなり過剰である	1718	30.3
やや過剰である	2239	39.5
ほぼ適正	1047	18.5
やや不足している	246	4.3
かなり不足している	53	0.9
わからない	359	6.3

■問78：最近の理学療法学生の学力についてどのように感じますか。

	度数	%
TOTAL	5662	100.0
とても学力が低下している	1566	27.7
やや低下している	2436	43.0
ほとんど変わらない	852	15.0
やや向上している	249	4.4
とても向上している	34	0.6
わからない	525	9.3

■問79：最近の理学療法学生について学力が高い層と低い層のいわゆる二極化が進行しているという意見があります。この意見についてどのように感じますか。

	度数	%
TOTAL	5662	100.0
かなり二極化している	1301	23.0
やや二極化している	1789	31.6
やや二極化が縮小している	22	0.4
かなり二極化は縮小している	7	0.1
二極化ではなく、高い層の割合が減り、低い層の割合が増えている	1423	25.1
二極化ではなく、高い層の割合が増え、低い層の割合が減っている	13	0.2
以前とあまり変化がない	279	4.9
わからない	828	14.6

■問80：最近の理学療法学生の社会人としての態度面についてどのように感じますか。

	度数	%
TOTAL	5662	100.0
とても悪い	538	9.5
やや悪い	3077	54.3
ほとんど変わらない	1382	24.4
やや良い	165	2.9
とても良い	28	0.5
わからない	472	8.3

■問81：あなたの施設では、今年度実習生を受け入れて、身体的、精神的理由から実習を途中で中断せざるを得えなかった学生はいましたか（最終学年の実習生の数でお答えください）。

	度数	%
TOTAL	3501	100.0
いた	660	18.9
いなかった	2841	81.1

■問82：現在在学中の学校がありますか。

	度数	%
TOTAL	5662	100.0
ない	5325	94.0
大学	40	0.7
大学院修士課程（博士課程前期）	122	2.2
大学院博士課程（博士課程後期）	156	2.8
各種・専門学校	3	0.1
その他	16	0.3

■問83：前問で、現在在学中の学校があるとお答えの方にお聞きします。在学している理由は以下のどれですか。（複数回答）

	度数	%
TOTAL	337	100.0
理学療法士として現在および将来的に役立てるため	288	85.5
理学療法士以外の仕事として役立てるため	74	22.0
一般教養として	53	15.7
学歴を高めるため	127	37.7
その他	32	9.5

■問84：現在在学中の学校があると回答した方にお聞きします。どのような専門領域を専攻していますか。

	度数	%
TOTAL	337	100.0
理学療法	146	43.3
作業療法	0	0.0
医科学	60	17.8
その他の医療・保健関連	44	13.1
薬学	0	0.0
体育・スポーツ	16	4.7
福祉	12	3.6
心理学・人間科学	23	6.8
理工学	6	1.8
情報・メディア	0	0.0
社会学・マスコミ	1	0.3
法律・政治	2	0.6
経済・商学・経営	6	1.8
家政・生活科学	2	0.6
あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師	0	0.0
柔道整復師	1	0.3
その他	18	5.3

■問85：希望する学会・研修会への参加について出張や公休が認められていますか（旅費、参加費等の支給の有無は問いません）。

	度数	%
TOTAL	5541	100.0
認められていない	661	11.9
年に1回	1063	19.2
年に2回	325	5.9
年に3回	88	1.6
年に4回	24	0.4
年に5回以上	57	1.0
業務に支障がなければ何回でも	2601	46.9
数年に1回	129	2.3
わからない	324	5.8
その他	269	4.9

■問86：学会・研修会への参加時における職場からの旅費、参加費等の費用負担はどのようになっていますか。

	度数	%
TOTAL	5541	100.0
全額支給される	1496	27.0
一部支給される	2822	50.9
全額自己負担	1223	22.1

■問87：過去５年間に、日本理学療法学術大会へどのくらい出席していましたか。

	度数	%
TOTAL	5662	100.0
毎年出席した	322	5.7
３～４回は出席した	681	12.0
１～２回は出席した	2356	41.6
出席しなかった	2303	40.7

■問88：過去５年間に、本会全国学術研修大会へどのくらい出席していましたか。

	度数	%
TOTAL	5662	100.0
毎年出席した	48	0.8
３～４回は出席した	168	3.0
１～２回は出席した	1703	30.1
出席しなかった	3743	66.1

■問89：昨年１年間に本会、都道府県理学療法士会、ブロック主催の学会・講習会、研修会に何回参加しましたか（ただし全国学術研修会は除く）。

	度数	%
TOTAL	5662	100.0
参加していない	1102	19.5
１回	1129	19.9
２回	1111	19.6
３回	885	15.6
４回	312	5.5
５回以上	1123	19.8

■問90：昨年１年間に日本理学療法学術大会以外の学会に何回参加しましたか（本会主催は除く）。

	度数	%
TOTAL	5662	100.0
参加していない	2132	37.7
１回	1523	26.9
２回	1036	18.3
３回	472	8.3
４回	122	2.2
５回以上	377	6.7

■問91：本会（および都道府県理学療法士会）関連以外の学会、研究会に会員として所属していますか。

	度数	%
TOTAL	5662	100.0
所属していない	2723	48.1
１～２の団体に所属している	2207	39.0
３～４の団体に所属している	555	9.8
５～６の団体に所属している	127	2.2
７～８の団体に所属している	26	0.5
９以上の団体に所属している	24	0.4

■問92：昨年度に学会・研究会等筆頭研究者として発表した演題数（所属学会は問いません）はいくつですか。

	度数	%
TOTAL	5662	100.0
0	4137	73.1
1	902	15.9
2	361	6.4
3	156	2.8
4	54	1.0
5	25	0.4
6	8	0.1
7	4	0.1
8	3	0.1
９以上	12	0.2

■問93：昨年度に筆頭研究者として査読のある学術雑誌に採用された論文数はいくつですか。

	度数	%
TOTAL	5662	100.0
0	5156	91.1
1	362	6.4
2	92	1.6
3	30	0.5
4	11	0.2
5	6	0.1
6	1	0.0
7	1	0.0
8	0	0.0
９以上	3	0.1

■問94：昨年１年間に本会、都道府県理学療法士会、ブロックの主催以外の講習会、研修会に何回参加しましたか。

	度数	%
TOTAL	5662	100.0
参加していない	1639	28.9
１回	976	17.2
２回	988	17.4
３回	665	11.7
４回	193	3.4
５回以上	1201	21.2

■問95：問91で所属団体数は問わず「所属している」と回答した方にお聞きします。所属している学会はどこですか。(複数回答)

	度数	%
TOTAL	2939	100.0
理学療法科学学会	439	14.9
日本リハビリテーション医学会	68	2.3
日本公衆衛生学会	51	1.7
日本体力医学会	115	3.9
日本義肢装具学会	106	3.6
日本心臓リハビリテーション学会	463	15.8
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会	254	8.6
日本老年医学会	40	1.4
日本バイオメカニクス学会	43	1.5
その他	2399	81.6

■問96：日本理学療法学術大会の参加費として妥当な額はいくらだと思いますか。学会は2日間とお考えください。

	度数	%
TOTAL	5662	100.0
5,000円以下	2111	37.3
10,000円以下	3110	54.9
15,000円以下	372	6.6
20,000円以下	58	1.0
20,001円以上	11	0.2

■問97：本会主催の研修会・講習会参加費として払える上限額はいくらですか。1日当たりでお考えください。

	度数	%
TOTAL	5662	100.0
1,000円以下	312	5.5
2,000円以下	405	7.2
3,000円以下	1093	19.3
5,000円以下	2218	39.2
8,000円以下	589	10.4
10,000円以下	894	15.8
15,000円以下	127	2.2
15,001円以上	24	0.4

■問98：本会主催の研修会の情報は、主にどこで知りましたか。

	度数	%
TOTAL	5662	100.0
マイページ	1366	24.1
協会ホームページ	2601	45.9
FAX通信	551	9.7
JPTANews	1039	18.4
その他　　具体的に：	105	1.9

■問99：本会主催の研修会を受講するきっかけは何ですか。

	度数	%
TOTAL	5662	100.0
認定・専門理学療法士の取得のため	1381	24.4
自己研鑽のため	3692	65.2
勤務先からの指示のため	46	0.8
その他	150	2.6
受講したことがない	393	6.9

■問100：現行の新人教育プログラムは会員にとって意義があると思いますか。

	度数	%
TOTAL	5662	100.0
強く思う	279	4.9
思う	1984	35.0
分からない	1893	33.4
思わない	1084	19.1
全く思わない	422	7.5

■問101：現行の認定・専門理学療法士制度は会員にとって意義があると思いますか。

	度数	%
TOTAL	5662	100.0
強く思う	310	5.5
思う	2049	36.2
分からない	2108	37.2
思わない	854	15.1
全く思わない	341	6.0

■問102：昨年1年間に都道府県士会の運営にかかわる役務に就きましたか。該当するものをお答えください。複数の職を兼務されていた方は上位の職を一つ選んでください。

	度数	%
TOTAL	5662	100.0
就いていない	4538	80.1
理事	210	3.7
局長	17	0.3
部長・委員長	215	3.8
部員・委員	580	10.2
相談役・名誉職	15	0.3
監事	30	0.5
地区責任者	57	1.0

■問103：昨年1年間に学術にかかわる都道府県理学療法士会活動（新人教育プログラム、研修会、講習会等）に何回参加しましたか。

	度数	%
TOTAL	5662	100.0
参加していない	1939	34.2
年に1回	1292	22.8
年に2回	1007	17.8
年に3回	582	10.3
年に4回	204	3.6
年に5回以上	638	11.3

■問104：昨年1年間に都道府県理学療法士会行事や活動（総会、新人歓迎会、スポーツ大会、懇親会等）に何回参加しましたか。

	度数	%
TOTAL	5662	100.0
参加していない	3824	67.5
年に1回	1012	17.9
年に2回	391	6.9
年に3回	154	2.7
年に4回	42	0.7
年に5回以上	239	4.2

■問105：あなたは都道府県理学療法士会活動としてどのようなことを望みますか。該当するものすべてをお答えください。（複数回答）

	度数	%
TOTAL	5662	100.0
理学療法士を対象とする研修会の開催	4561	80.6
公開型の研修会やイベント等の行事	1820	32.1
保険診療報酬などの情報提供	2989	52.8
保険診療報酬改善への働きかけ	2148	37.9
身分保障（就業、産休、給与など）への相談や働きかけ	1630	28.8
士会員間の親睦の場の提供	920	16.2
理学療法（士）の国民等への啓発や情報発信	2085	36.8
スポーツ大会などへのサポート	1689	29.8
都道府県議会議員や地方行政への様々な働きかけ	2430	42.9
その他	293	5.2

■問106：あなたは日本理学療法士協会にどのようなことを望みますか。該当するものすべてをお答えください。（複数回答）

	度数	%
TOTAL	5662	100.0
理学療法士を対象とする研修会の開催	4344	76.7
公開型の研修会やイベント等の行事	1937	34.2
保険診療報酬などの情報提供	3385	59.8
保険診療報酬改善への働きかけ	3462	61.1
身分保障（就業、産休、給与など）への相談や働きかけ	2553	45.1
理学療法（士）の国民等への啓発や情報発信	2954	52.2
スポーツ大会などへのサポート	1738	30.7
国会議員に対するロビー活動	2644	46.7
その他	364	6.4

■問107：医療保険以外で理学療法士として関わる範囲はどれですか。（複数回答）

	度数	%
TOTAL	5662	100.0
介護予防	4545	80.3
企業等での産業理学療法	1648	29.1
特定保健指導	1088	19.2
学校保健（通常学級）	1257	22.2
ウィメンズヘルス	1343	23.7
健康増進	3222	56.9
その他	1124	19.9

■問108：理学療法士はやりがいのある仕事だと思いますか。

	度数	%
TOTAL	5662	100.0
そう思う	3642	64.3
ややそう思う	1645	29.1
どちらともいえない	272	4.8
ややそう思わない	57	1.0
そう思わない	26	0.5
わからない	20	0.4

■問109：理学療法士の給料は他職種と比較して恵まれていると思いますか。

	度数	%
TOTAL	5662	100.0
そう思う	172	3.0
ややそう思う	618	10.9
どちらともいえない	1675	29.6
ややそう思わない	1333	23.5
そう思わない	1812	32.0
わからない	52	0.9

■問110：理学療法士を一生続けたいと思いますか。

	度数	%
TOTAL	5662	100.0
そう思う	2390	42.2
ややそう思う	1495	26.4
どちらともいえない	1180	20.8
ややそう思わない	279	4.9
そう思わない	217	3.8
わからない	101	1.8

■問111：あなたの勤務する職場において、男性と女性で昇級・昇格に差があると思いますか。

	度数	%
TOTAL	5541	100.0
そう思う	245	4.4
ややそう思う	606	10.9
どちらともいえない	964	17.4
ややそう思わない	499	9.0
そう思わない	2977	53.7
わからない	250	4.5

■問112：男性と女性のどちらが有利と感じますか。

	度数	%
TOTAL	851	100.0
男性が有利	811	95.3
女性が有利	40	4.7

■問113：あなたの勤務する職場において、男性と女性で仕事の質に差があると思いますか。

	度数	%
TOTAL	5541	100.0
そう思う	363	6.6
ややそう思う	1055	19.0
どちらともいえない	1055	19.0
ややそう思わない	508	9.2
そう思わない	2426	43.8
わからない	134	2.4

■問114：あなたの勤務する職場において、男性と女性で仕事の量に差があると思いますか。

	度数	%
TOTAL	5541	100.0
そう思う	291	5.3
ややそう思う	821	14.8
どちらともいえない	1000	18.0
ややそう思わない	536	9.7
そう思わない	2773	50.0
わからない	120	2.2

■問115：近い将来、現在の職場を移りたいと思っていますか（あるいは移る予定がありますか）。

	度数	%
TOTAL	5541	100.0
はい	2342	42.3
いいえ	3199	57.7

■問116：問115で回答した理由は何ですか。もっとも近いもの一つをお答えください。

	度数	%
TOTAL	2342	100.0
経済的理由	325	13.9
さらなるやりがいを求めるため	716	30.6
理学療法士をやめたい	35	1.5
理学療法以外の分野に興味がある	91	3.9
家庭事情	334	14.3
キャリアアップ	458	19.6
その他	383	16.4

■問117：理学療法を職業として選択したきっかけは何ですか。該当するものすべてをお答えください。（複数回答）

	度数	%
TOTAL	5541	100.0
親・兄弟・親戚のアドバイス	1661	30.0
中学高校での先輩友人の影響	249	4.5
中学高校での進路指導	297	5.4
漫画や書籍・ドラマの影響	212	3.8
受験雑誌・情報誌	283	5.1
受験事情	180	3.2
身近な人がリハビリを受けた	866	15.6
自分がリハビリを受けた	1109	20.0
就職が有利	463	8.4
手に職をつけたい	2185	39.4
給料がよさそう	490	8.8
やりがいのある仕事	2529	45.6
その他	925	16.7

■問118：あなたは日ごろストレスを感じていますか。

	度数	%
TOTAL	5662	100.0
とてもストレスを感じる	1247	22.0
ややストレスを感じる	3010	53.2
どちらともいえない	667	11.8
あまりストレスを感じない	676	11.9
まったくストレスを感じない	62	1.1

■問119：あなたは現在、自分のことをどの程度幸せだと思いますか。

	度数	%
TOTAL	5662	100.0
幸せである	1531	27.0
どちらかといえば幸せである	3034	53.6
どちらともいえない	773	13.7
どちらかといえば幸せではない	242	4.3
幸せではない	82	1.4

■問120：仕事と余暇のあり方についてあなたの考えをお答えください。

	度数	%
TOTAL	5662	100.0
仕事に生きがいを求めて全力を傾ける	170	3.0
余暇も時には楽しむが仕事の方に力を注ぐ	2010	35.5
仕事にも余暇にも同じくらい力を入れる	2710	47.9
仕事よりも余暇のほうに生きがいを求める	541	9.6
仕事はさっさと片付けてできるだけ余暇を楽しむ	231	4.1

■問121：あなたはこれまで、離職した事はありますか。※勤務先を辞めることを「離職」と捉えてください。

	度数	%
TOTAL	5656	100.0
ある	2670	47.2
ない	2986	52.8

■問122：直近の離職は、おいくつの頃ですか。

	度数	%
TOTAL	2670	100.0
21～25歳	440	16.5
26～30歳	892	33.4
31～35歳	597	22.4
36～40歳	366	13.7
41～45歳	178	6.7
46～50歳	105	3.9
51～55歳	50	1.9
56～60歳	23	0.9
61歳以上	19	0.7

■問123：離職時の勤務先の種類をお答えください。(直近の離職時)

	度数	%
TOTAL	2670	100.0
病院	1717	64.3
診療所	256	9.6
介護老人保健施設、訪問看護、通所リハ、児童福祉施設	341	12.8
その他の社会福祉施設　具体的に：	57	2.1
養成校、養護学校	170	6.4
その他の教育・研究施設　具体的に：	23	0.9
保健所、国県市町村	15	0.6
その他の行政関係施設　具体的に：	2	0.1
スポーツ関係、自営	15	0.6
その他の健康産業施設・営業施設 具体的に：	3	0.1
その他　具体的に：	71	2.7

■問124：離職時の理学療法部門責任者の性別を教えてください。

	度数	%
TOTAL	2670	100.0
男性	2160	80.9
女性	510	19.1

■問125：離職時の雇用形態を教えてください。

	度数	%
TOTAL	2670	100.0
正規職員	2458	92.1
パート・アルバイト	143	5.4
契約	54	2.0
派遣社員	2	0.1
その他　　具体的に：	13	0.5

■問126：離職時のあなたの勤務先における立場を教えてください。

	度数	%
TOTAL	2670	100.0
一般職員	1954	73.2
主任級	366	13.7
係長級	64	2.4
課長級	144	5.4
部長級	49	1.8
副施設長級	11	0.4
施設長級	14	0.5
その他　具体的に：	68	2.5

■問127：離職時のあなたの年収を教えてください。年収は離職した勤務先における年収（税込み）でお答えください。

	度数	%
TOTAL	2670	100.0
50万円以下	18	0.7
51～100万円	22	0.8
101～150万円	26	1.0
151～200万円	43	1.6
201～250万円	88	3.3
251～300万円	198	7.4
301～350万円	405	15.2
351～400万円	512	19.2
401～450万円	463	17.3
451～500万円	229	8.6
501～550万円	186	7.0
551～600万円	83	3.1
601～650万円	96	3.6
651～700万円	73	2.7
701～800万円	70	2.6
801～900万円	42	1.6
901～1000万円	20	0.7
1001～1100万円	12	0.4
1101～1200万円	5	0.2
1201～1300万円	4	0.1
1301～1400万円	0	0.0
1401～1500万円	0	0.0
1501万円以上	0	0.0
答えたくない	75	2.8

■問128：配偶者がいる場合、離職時の配偶者の年収（税込み）を教えてください。

	度数	%
TOTAL	2670	100.0
50万円以下	291	10.9
51～100万円	74	2.8
101～150万円	71	2.7
151～200万円	33	1.2
201～250万円	42	1.6
251～300万円	86	3.2
301～350万円	131	4.9
351～400万円	149	5.6
401～450万円	123	4.6
451～500万円	87	3.3
501～550万円	54	2.0
551～600万円	34	1.3
601～650万円	49	1.8
651～700万円	23	0.9
701～800万円	31	1.2
801～900万円	14	0.5
901～1000万円	9	0.3
1001～1100万円	4	0.1
1101～1200万円	4	0.1
1201～1300万円	4	0.1
1301～1400万円	0	0.0
1401～1500万円	0	0.0
1501万円以上	0	0.0
わからない／答えたくない	178	6.7
直近の離職時に配偶者はいなかった	1179	44.2

■問129：離職の最も大きな理由を1つお答えください。

	度数	%
TOTAL	2670	100.0
仕事内容・待遇への不満	554	20.7
職場での人間関係	343	12.8
結婚のため	136	5.1
妊娠・出産のため	57	2.1
育児のため	67	2.5
介護のため	30	1.1
配偶者の都合（転勤等）	67	2.5
配偶者の理解不足	4	0.1
定年	20	0.7
大学・大学院などへの進学	106	4.0
健康上のため	79	3.0
キャリアアップのため	716	26.8
その他　　具体的に：	491	18.4

■問130：復職するための要因として最も重要視するものはどれですか。優先順位の高いものを1つお答え下さい。

	度数	%
TOTAL	2670	100.0
仕事内容・待遇	1869	70.0
労働条件の問題	444	16.6
短時間労働（パート・非常勤）	42	1.6
休日出勤の有無	27	1.0
育児上の問題	85	3.2
託児所・保育所の問題	31	1.2
配偶者の理解	48	1.8
健康上の問題	37	1.4
再就職の斡旋	11	0.4
その他　　具体的に：	76	2.8

■問131：今後、働きたいと考えていますか。

	度数	%
TOTAL	115	100.0
就職に向けて現在活動中	35	30.4
今すぐにではないが、いずれは働きたい	44	38.3
就職したい気持ちはあるが、困難	9	7.8
働くつもりがない	7	6.1
その他　　具体的に：	20	17.4

■問132：問131で『「就職に向けて現在活動中」「今すぐにではないが、いずれは働きたい」』と回答した方にお聞きします。どの就業形態を考えていますか。

	度数	%
TOTAL	79	100.0
正規職員	37	46.8
パート・アルバイト	34	43.0
契約	3	3.8
派遣社員	0	0.0
起業・自営	3	3.8
その他　　具体的に：	2	2.5

■問133：理学療法士として働きたいですか。

	度数	%
TOTAL	88	100.0
はい	71	80.7
いいえ	2	2.3
わからない	15	17.0

■問134：問133で「はい」と回答した方にお聞きします。理学療法士として働きたいと思うのは、どういう理由ですか。

	度数	%
TOTAL	71	100.0
理学療法士の仕事はやりがいのある仕事だと思うから	42	59.2
資格を生かしたいから	26	36.6
理学療法士の給料は他職種と比べて恵まれているから	2	2.8
理学療法士は他職種と比べて昇級・昇格に男女差が少ないと思うから	0	0.0
理学療法士は他職種と比べて仕事の質や量に男女差が少ないと思うから	0	0.0
その他　　具体的に：	1	1.4

■問135：これまで、復職を経験したことはありますか。

	度数	%
TOTAL	2670	100.0
ある	1563	58.5
ない	1107	41.5

■問136：復職のきっかけとなった要因をお答えください（複数回答）

	度数	%
TOTAL	1563	100.0
労働条件が合ったから	1204	77.0
育児が一段落したから	35	2.2
託児所・保育所の利用が可能になったから	50	3.2
配偶者・家族の理解・協力が得られたから	119	7.6
健康上の問題がなくなったから	56	3.6
金銭的な問題	207	13.2
その他　　具体的に：	210	13.4

■問137：今までに就業経験のある方にお聞きします。あなたの勤務先では生理休暇制度は利用できますか。または、利用している方はいますか。

【労働基準法第68条】・使用者は、生理日の就労が著しく困難な女性が休暇を請求したときは、その者を生理日に就業させてはならない。

※現在の職場の理学療法士の状況をご回答ください。

	度数	%
TOTAL	5656	100.0
利用できる	1975	34.9
利用できない	651	11.5
わからない	3030	53.6

■問138：問137で「利用できない」と回答した方にお聞きします。その理由をお答えください。

	度数	%
TOTAL	651	100.0
スタッフ数が少ないなど、利用できる環境でない	205	31.5
非常勤やパートだから	16	2.5
上司の承認を得られなかった	47	7.2
有給休暇を利用しているから	286	43.9
その他　　具体的に：	97	14.9

■問139：あなたの勤務先では産前産後休暇制度は利用できますか。または、利用している方はいますか。

【労働基準法第65条】・使用者は、6週間（多胎妊娠の場合にあっては、14週間）以内に出産する予定の女性が休業を請求した場合においては、その者を就業させてはならない。・使用者は、産後8週間を経過しない女性を就業させてはならない。ただし、産後6週間を経過した女性が請求した場合において、その者について医師が支障ないと認めた業務に就かせることは、差し支えない。

	度数	%
TOTAL	5541	100.0
利用できる	4658	84.1
利用できない	63	1.1
わからない	820	14.8

■問140：問139で「利用できない」と回答した方にお聞きします。その理由をお答えください。

	度数	%
TOTAL	63	100.0
退職したから	2	3.2
非常勤やパートだから	11	17.5
スタッフ数が少ないなど、利用できる環境でない	29	46.0
上司の承認を得られなかった	11	17.5
その他　　具体的に：	10	15.9

■問141：あなたの勤務先では、男性の育児休業制度を利用している方がいますか。

【育児休業法】・使用者は、1年以上雇用されている状態で、男女に関係なく休業を請求した場合においては、子どもが1歳（公務員は3歳）になるまではその者を就業させてはならない。（特別な場合は半年間延長可能）

	度数	%
TOTAL	5541	100.0
いる	916	16.5
いない	3231	58.3
わからない	1394	25.2

■問142：あなたの勤務先では、育児休業制度は利用できますか。または、利用している方はいますか。

【育児休業法】・使用者は、1年以上雇用されている状態で、男女に関係なく休業を請求した場合においては、子どもが1歳（公務員は3歳）になるまではその者を就業させてはならない。（特別な場合は半年間延長可能）

	度数	%
TOTAL	5541	100.0
利用できる	4054	73.2
利用できない	171	3.1
わからない	1316	23.8

■問143：問142で「利用できない」と回答した方にお聞きします。その理由をお答えください。

	度数	%
TOTAL	171	100.0
退職したから	8	4.7
非常勤やパートだから	6	3.5
スタッフ数が少ないなど、利用できる環境でない	101	59.1
上司の承認を得られなかった	32	18.7
その他　　具体的に：	24	14.0

■問144：あなたの勤務先では、育児時間制度は利用できますか。または、利用している方はいますか。

【労働基準法第67条】・生後満1年に達しない生児を育てる女性は、第34の休憩時間のほか、1日2回各々少なくとも30分、その生児を育てるための時間を請求することができる。・使用者は、前項の期間中は、その女性を使用してはならない。

	度数	%
TOTAL	5541	100.0
利用できる	3017	54.4
利用できない	214	3.9
わからない	2310	41.7

■問145：問144で「利用できない」と回答した方にお聞きします。その理由をお答えください。

	度数	%
TOTAL	214	100.0
退職したから	3	1.4
非常勤やパートだから	13	6.1
スタッフ数が少ないなど、利用できる環境でない	120	56.1
上司の承認を得られなかった	47	22.0
その他　　具体的に：	31	14.5

■問146：あなたの勤務先に託児所は設置されていますか。または、されていましたか。

	度数	%
TOTAL	5541	100.0
ある（あった）	2333	42.1
ない（なかった）	3047	55.0
わからない	161	2.9

■問147：問146で「ある（あった）」と回答した方にお聞きします。あなたの勤務先の託児所は利用できますか。または、できていましたか。

	度数	%
TOTAL	2333	100.0
利用できる（できていた）	1912	82.0
利用できない（できなかった）	264	11.3
わからない	157	6.7

■問148：問147で「利用できない（できなかった）」とお答えになった方にお聞きします。その理由をお答えください。

	度数	%
TOTAL	264	100.0
退職したから	2	0.8
非常勤やパートだから	2	0.8
看護職専用など利用できる環境でない	215	81.4
その他　　具体的に：	45	17.0

■問149：問146で「ない」・「わからない」、あるいは、問147（勤務先の託児所利用）で「わからない」と回答した方にお聞きします。あなたの勤務先もしくは自宅周辺にある託児可能な施設（認可・無認可保育所等）の利用はできますか。または、できていましたか。

	度数	%
TOTAL	3365	100.0
利用できる（できていた）	1549	46.0
利用できない（できなかった）	212	6.3
わからない	1604	47.7

■問150：問149で「利用できない（できなかった）」と回答した方にお聞きします。その理由をお答えください。

	度数	%
TOTAL	212	100.0
定員がいっぱいで受け入れ困難	86	40.6
利用時間の条件等が合わない	74	34.9
利用料金が高額で利用困難	17	8.0
その他　　具体的に：	35	16.5

■問151：問149で「利用できる（できていた）」と回答した方にお聞きします。その利用に当たって、勤務先から何らかの援助がありますか。または、ありましたか。

	度数	%
TOTAL	1549	100.0
ある（あった）	155	10.0
ない（なかった）	1065	68.8
わからない	329	21.2

■問152：妊娠・出産の経験がありますか。※男性会員は配偶者の妊娠・出産と置きかえて、ご回答ください。

	度数	%
TOTAL	4685	100.0
ある	2932	62.6
ない	1753	37.4

■問153：子どもが欲しいと思い不妊治療をした、もしくは、しようと思ったことはありますか。

	度数	%
TOTAL	4685	100.0
ある	965	20.6
ない	3720	79.4

■問154：妊娠期間中、仕事をしていますか。または、仕事をしますか。

	度数	%
TOTAL	4685	100.0
している（していた・すると思う）	3655	78.0
していない（しないと思う）	585	12.5
わからない	445	9.5

■問155：問154で「している（していた・すると思う）」と回答した方にお聞きします。雇用形態を教えてください。

	度数	%
TOTAL	3655	100.0
正規職員	3288	90.0
パート・アルバイト	298	8.2
派遣社員	10	0.3
契約	25	0.7
任期付き雇用	17	0.5
起業・自営	7	0.2
その他　　具体的に：	10	0.3

■問156：問155で「正規職員」と回答した方にお伺いします。正規職員で働くことができる理由を教えてください。

	度数	%
TOTAL	3288	100.0
配偶者の協力	2562	77.9
職場の協力	2803	85.2
保育施設の充実	1028	31.3
両親や兄弟の協力	1172	35.6
その他　　具体的に：	61	1.9

■問157：妊娠中・出産時のトラブルなどありますか。または、ありましたか。男性、妊娠・出産経験の無い方は、あると思うものを回答ください。（複数回答）

	度数	%
TOTAL	4685	100.0
特になし	2155	46.0
切迫流産	1334	28.5
流産	828	17.7
切迫早産	1057	22.6
早産	507	10.8
帝王切開	741	15.8
吸引分娩	329	7.0
その他　　具体的に：	203	4.3

■問158：妊娠中・出産時の不安などありますか。または、ありましたか。男性、妊娠・出産経験の無い方は、あると思うものを回答ください。(複数回答)

	度数	%
TOTAL	4685	100.0
特になし	753	16.1
妊娠・出産に伴う生理上の負担 (つわり、切迫流産、授乳など)	3316	70.8
妊娠･出産に伴う社会的負担(通勤､金銭面など)	2049	43.7
妊娠・出産に伴う身体上の負担 (トランスファーなど)	2656	56.7
妊娠・出産に伴う精神的負担 (勤務先、患者への迷惑感など)	2712	57.9
その他　　具体的に：	58	1.2

■問159：予定または現在そうしているライフコースをお答えください。

	度数	%
TOTAL	4685	100.0
結婚あるいは出産の機会に退職し、その後は仕事を持たない	119	2.5
結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持ちたい	828	17.7
結婚し子どもを持つが、仕事も続けたい	3372	72.0
結婚はするが子どもは持たず、仕事を続けたい	194	4.1
結婚はせず、仕事を続けたい	172	3.7

■問160：本会への要望がありましたらお答え下さい。(複数回答)

	度数	%
TOTAL	5662	100.0
講習会・学会での託児所併設	2639	46.6
出産・育児に関する情報提供	1503	26.5
女性が就労継続・再就労するための啓発	2315	40.9
求人情報・人材バンクの充実	2793	49.3
管理職に対し、妊娠・出産等への理解を深めるような啓発	2133	37.7
その他　　具体的に：	406	7.2

■問162：問161にて活用度が最も高いとした理由をお答えください。

	度数	%
TOTAL	5662	100.0
情報量	980	17.3
情報の質	749	13.2
情報速度	996	17.6
利便性	2687	47.5
その他	250	4.4

■問161：本会発行の情報媒体に日常的活用度の最も高い媒体と最も低い媒体をお答えください。

	n (TOTAL)	ホームページ	FAX通信	会報誌「JPTANEWS」	広報誌「笑顔をあきらめない。」	学術誌「理学療法学」	メールマガジン
最も高い	5662	2851	880	966	63	631	271
	100.0	50.4	15.5	17.1	1.1	11.1	4.8
最も低い	5662	411	1000	328	1322	570	2031
	100.0	7.3	17.7	5.8	23.3	10.1	35.9

■問163：本会発行の情報媒体に求める情報について、最も優先順位の高い情報と最も低い情報をお答えください。

	n (TOTAL)	学会・学術関係	生涯学習・研修会関係	政治的動向	医療・介護保険関係	理学療法士協会の活動	その他
最も高い	5662	1885	1954	347	1130	257	89
	100.0	33.3	34.5	6.1	20.0	4.5	1.6
最も低い	5662	307	346	1813	340	1289	1567
	100.0	5.4	6.1	32.0	6.0	22.8	27.7

■問164：今後、本会からの情報として望ましい発信形態ついて、最も優先順位の高い情報と最も低い情報をお答えください。

	n (TOTAL)	ホームページ	FAX通信	会報誌「JPTANEWS」	広報誌「笑顔をあきらめない。」	学術誌「理学療法学」	メールマガジン	その他
最も高い	5662	2929	722	821	53	451	641	45
	100.0	51.7	12.8	14.5	0.9	8.0	11.3	0.8
最も低い	5662	220	1158	241	1302	464	1740	537
	100.0	3.9	20.5	4.3	23.0	8.2	30.7	9.5

■問165:会報誌「JPTANEWS」を読んでいますか。

	度数	%
TOTAL	5662	100.0
毎号読む	2462	43.5
時々読む	2718	48.0
読まない	482	8.5

■問166：問165で「読まない」と回答した方にお聞きします。会報誌「JPTANEWS」を読まない理由は何ですか。

	度数	%
TOTAL	482	100.0
読む時間がない	155	32.2
読みたいと思う記事がない	218	45.2
会報誌が手元に届いていない	38	7.9
その他	71	14.7

■問167：会報誌「JPTANEWS」を主にどの媒体で読みますか。

	度数	%
TOTAL	5180	100.0
冊子	4980	96.1
協会ホームページ	176	3.4
その他	24	0.5

■問168：会報誌「JPTANEWS」の内容に満足していますか。

	度数	%
TOTAL	5180	100.0
非常に満足	78	1.5
満足	1825	35.2
どちらともいえない	3017	58.2
不満足	222	4.3
非常に不満足	38	0.7

■問169：本会ホームページを閲覧していますか。

	度数	%
TOTAL	5662	100.0
毎日している	100	1.8
定期的にしている	1514	26.7
必要なときのみしている	3289	58.1
ほとんどしていない	613	10.8
まったくしていない	146	2.6

■問170：本会ホームページを主にどの媒体で閲覧していますか。

	度数	%
TOTAL	4903	100.0
パソコン	3925	80.1
スマートフォン	833	17.0
スマートフォン以外の携帯電話	2	0.0
タブレットPC	143	2.9
その他	0	0.0

■問171：本会ホームページの内容に満足していますか。

	度数	%
TOTAL	4903	100.0
非常に満足	45	0.9
満足	1734	35.4
どちらともいえない	2621	53.5
不満足	451	9.2
非常に不満足	52	1.1

■問172：マイページの閲覧頻度は、どのくらいですか。

	度数	%
TOTAL	4903	100.0
ほぼ毎日	55	1.1
週に1～2回	716	14.6
月に1回	1743	35.5
2～3ヶ月に1回	1482	30.2
半年に1回	797	16.3
1年以上閲覧なし	95	1.9
閲覧したことがない	15	0.3

■問173：FAX通信の閲覧をしていますか。

	度数	%
TOTAL	5662	100.0
している	3801	67.1
届くがしていない	740	13.1
届いていない	1121	19.8

■問174：FAX通信を主にどのようなかたちで閲覧していますか。

	度数	%
TOTAL	3801	100.0
回覧	2377	62.5
掲示	1023	26.9
コピー配布	108	2.8
自分のみ閲覧	234	6.2
その他	59	1.6

■問175：FAX通信の内容に満足していますか。

	度数	%
TOTAL	3801	100.0
非常に満足	100	2.6
満足	1713	45.1
どちらともいえない	1783	46.9
不満足	181	4.8
非常に不満足	24	0.6

■問176：メール通信を受信していますか。

	度数	%
TOTAL	5662	100.0
している	2089	36.9
していない	3573	63.1

■問177：メール通信の内容に満足していますか。

	度数	%
TOTAL	2089	100.0
非常に満足	22	1.1
満足	529	25.3
どちらともいえない	1347	64.5
不満足	157	7.5
非常に不満足	34	1.6

■問178：介護予防・健康増進キャンペーンに関わる事業に参加していますか。

	度数	%
TOTAL	5662	100.0
はい	1473	26.0
いいえ	4189	74.0

■問179：問178以外の日程で理学療法週間事業に参加していますか。

	度数	%
TOTAL	5662	100.0
はい	648	11.4
いいえ	5014	88.6

白書小委員会

委員長　　仙波　浩幸
委　員　　河合　麻美、加茂　智彦、西山　知佐、目黒　　力
事務局　　齋藤　桃子

理学療法白書 2016

平成 29 年 3 月 31 日　2016 年版発行

編 集 発 行：公益社団法人 日本理学療法士協会
〒 151-0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷 3 丁目 8 番 5 号
TEL（03）5414-7911

印刷・製本：株式会社 日 相 印 刷
〒 252-0328　神奈川県相模原市南区麻溝台 8-2-7
TEL（042）748-6020


JPTA